

第4章 中世大友府内町跡第99次調査

第1節 調査に至る経緯

高架側道
顕徳町線

中世大友府内町跡第99次調査は、高架側道顕徳町線の建設に伴い実施した。旧 JR 日豊本線の線路敷内にあたり、大分市顕徳町2丁目に位置する。

中世大友府内町跡第10次調査

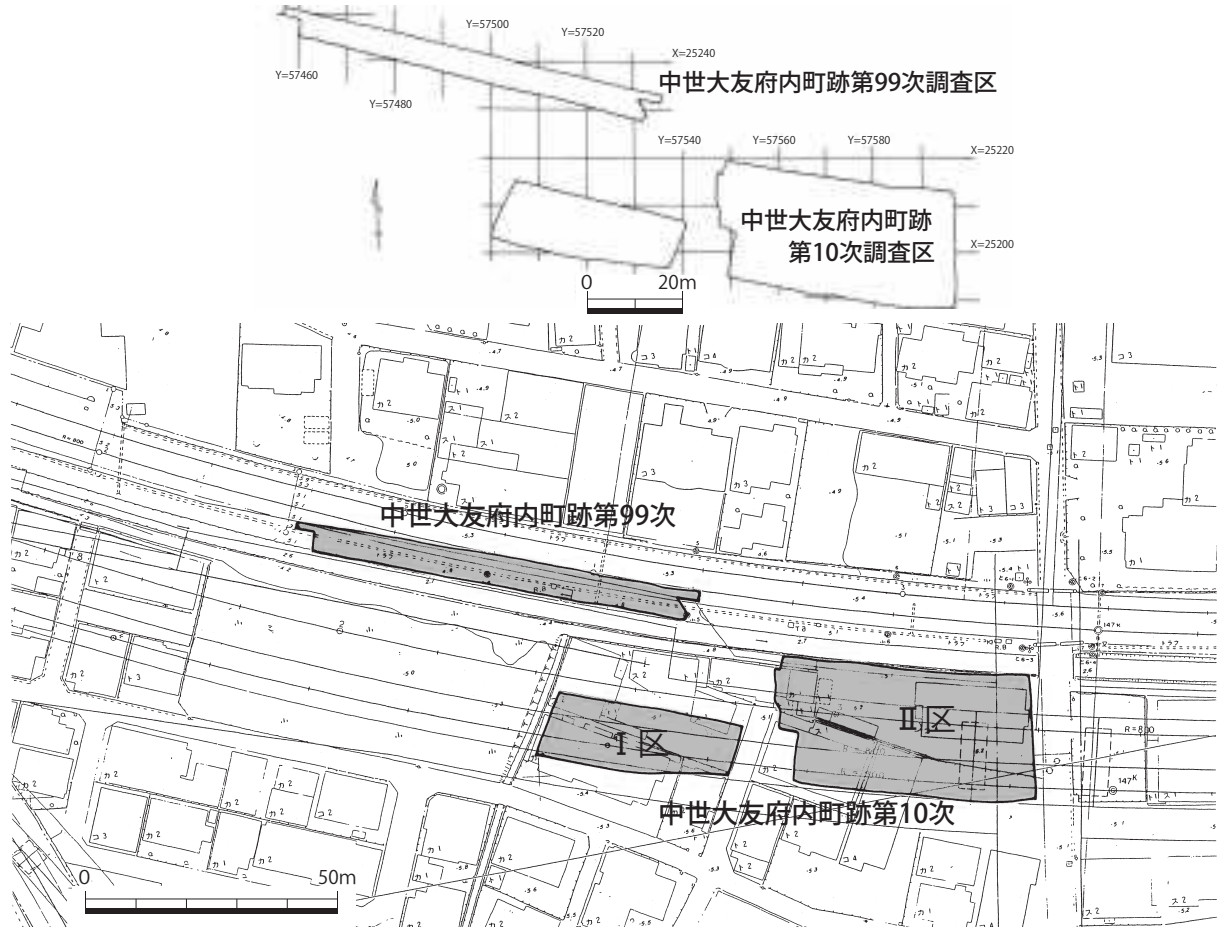
高架側道顕徳町線は、高架化された JR 日豊本線の北側を高架に沿い東西に走る。市道顕徳古国府線東新町踏切跡以西の約 300 m について、大分県土木建築部大分駅周辺総合整備事務所から平成 24 年度に確認調査依頼があった。側道予定地の内、東新町踏切跡から約 100m は周知遺跡の中世大友府内町跡にあたる。近接地に、JR 日豊本線高架線建設にあたり平成 13、14 年に調査が行われた中世大友府内町跡第 10 次調査区がある。10 次調査区からは、キリシタン墓が検出され注目を集めた。これにより、10 次調査区の北側一体に、「府内古図」に描かれるダイウス堂などのキリシタン施設が存在することが確認された。今回の側道予定地は、ダイウス堂推定地も含むため、調査着手前から重要遺構の検出が予想されるものであった。

確認調査

確認調査は、平成 24 年 7 月 5 日に実施した。梅雨期の雨天の間隙を縫った調査であったため、出水が激しく、遺構の確認に難渋した。調査の結果、造成土及び水田関連層の下部において、溝状の遺構を 2 箇所を確認することができた。しかし、東新町踏切跡から 150 m 地点以西は、青白色粘土層の厚い堆積が認められるのみであった。また、東新町踏切から約 70 m の間は、道路予定地が金池都市下水路と重なるため、確認調査は行わなかった。

本調査

以上の結果を踏まえ、幅 5.5m、長さ 70 m の調査区を設定し、平成 24 年 10 月 16 日～平成 25 年 2 月 21 日の間、本調査を実施した。



第194図 中世大友府内町跡第99次調査区位置図

第2節 調査区の位置と基本層序

1 調査区の位置と調査目的

99次調査区と
10次調査区

99次調査区(第194図)は、10次調査区の北～北西側に位置する。10次調査区はI区とII区に分かれており、II区においてキリシタン墓と両側に側溝を有する道路跡を確認している。道路跡は概ね東西方向に伸びるが、直線的ではなく、緩やかに北方向に湾曲している。キリシタン墓は道路跡の北側にあり、ダイウス堂推定地の南限をこの道路跡にあてている。また、ダイウス堂推定地の西限は、99次調査区内の位置に当たる南北方向の地籍界が想定されている。

調査目的

99次調査にあたり、以下の点に留意し調査を開始した。(1)10次調査区で検出している道路跡延伸部の確認、(2)ダイウス堂推定地の西限確認、(3)キリシタン墓などのダイウス堂推定地内の遺構分布確認、(4)ダイウス堂西側の土地利用の確認、以上である。

2 基本層序

調査区の基本層序(第195図)について、調査区北側の土層のうち、層位的に遺構・遺物を確認することができた東端に近い部分の土層図で説明する。

I層

I層 日豊本線敷設に伴う盛土層である。層厚は約1mを測るが、通信用ケーブルなど線路敷内における諸施設建設に伴う掘り込みなどが多数みられ、これらの中には、II層やIII層に及ぶものもあった。

II層

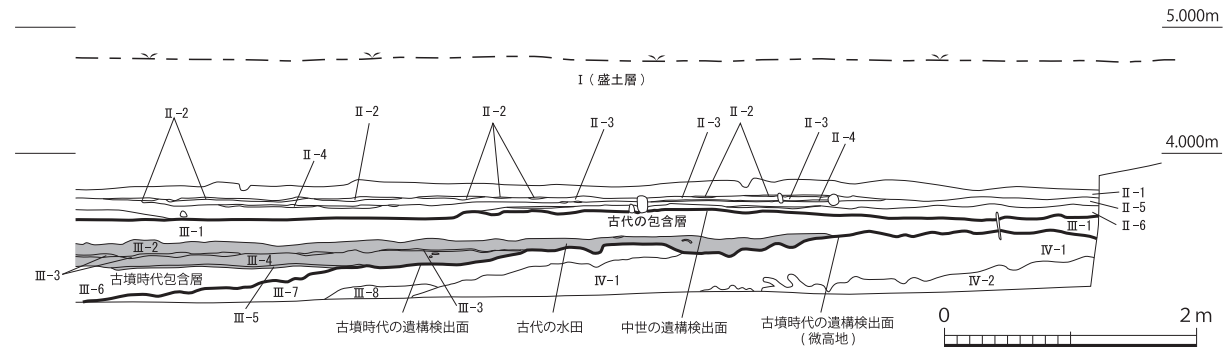
II層 近世から日豊本線が敷設される大正3年(1914年)までの水田層である。ここでは最低3枚の水田層が確認できる。しかし、調査区西側ではさらに多くに水田層が確認でき、5～7枚を数える。

III層

III層 最上層のIII-1層は、中世と古代の遺構検出面である。検出面の標高は、約3.5mを測る。このIII層はいくつかに細分でき、III-1層には古代の土器が包含される。また、III-2～III-5層は水田関連層と思われる。水田層の時期は、古墳時代後期から古代の間と考えられる。

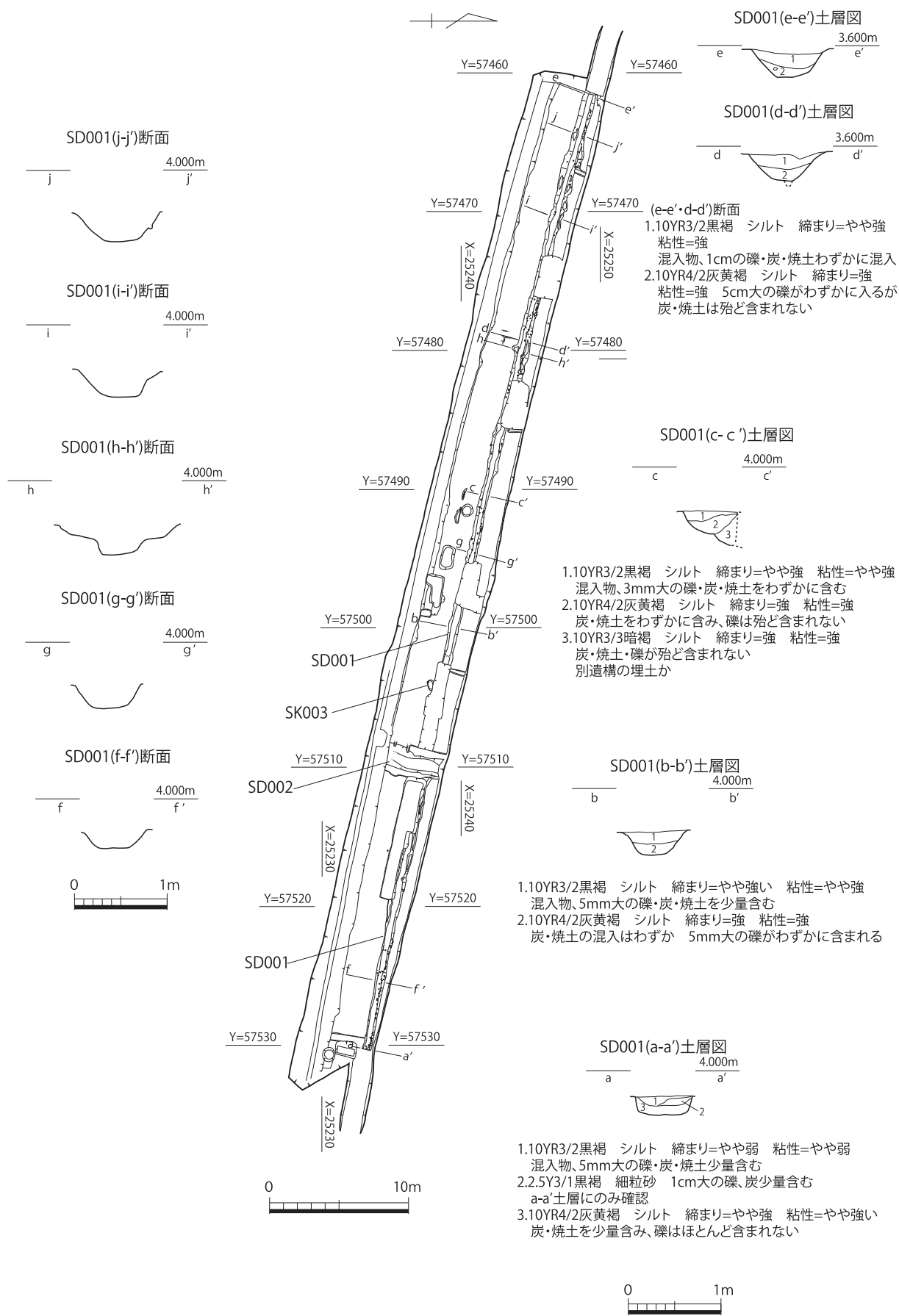
IV層

IV層 自然堆積層と考えられる層で、西に向かい低くなる。調査区周辺の現状地形が西に向かい若干低くなることと一致する。最上層にあたるIV-1層上面は、古墳時代の遺構検出面となる。



- (II層)
- II-1.10YR3/2黒褐 シルト 締まり=やや強 粘性=やや弱 白色粒混入 水田耕作土
 - II-2.10YR3/4暗褐 シルト 締まり=やや強 粘性=やや弱 白色粒混入 II-1の水田の床土
 - II-3.10YR3/3暗褐 シルト 締まり=やや強 粘性=やや弱 白色粒混入 水田耕作土
 - II-4.10YR3/2黒褐 シルト 締まり=やや弱 粘性=やや弱 白色粒混入 酸化して赤変する II-3の水田の床土
 - II-5.10YR3/2黒褐 シルト 締まり=やや強 粘性=やや弱 白色粒混入 水田耕作土
 - II-6.2.5Y4/3オリーブ褐 シルト 締まり=強 粘性=やや強 白色粒・黒色粒・焼土混入 中世遺構直上の包含層
- (III層)
- III-1.2.5Y3/2暗オリーブ褐 シルト 締まり=やや弱 粘性=弱 白色粒・黒色粒混入 古代の土器・須恵器が多く出土
 - III-2.10YR3/3暗褐 シルト 締まり=やや強 粘性=やや弱 白色粒・黒色粒混入 古代の水田耕作土か
 - III-3.2.5Y4/3オリーブ褐 シルト 締まり=やや強 粘性=やや弱 白色粒・黒色粒わずかに混入 水田耕作土の床土か
 - III-4.10YR4/2灰黄褐 シルト 締まり=やや強 粘性=やや強 白色粒・黒色粒混入 古代の水田耕作土か
 - III-5.2.5Y4/2暗灰黄 シルト 締まり=やや強 粘性=やや弱 白色粒・黒色粒混入 水田耕作土の床土か
 - III-6.2.5Y4/3暗オリーブ褐 締まり=強 粘性=やや強 白色粒・黒色粒混入 古墳時代の包含層
 - III-7.10YR3/3暗褐 シルト 締まり=強 粘性=やや強 白色粒・黒色粒混入 SK031,038(共に炉跡)は当層から検出
 - III-8.2.5Y4/2暗灰黄 シルト 締まり=強 粘性=やや強 白色粒・黒色粒混入
- (IV層)
- IV-1.2.5Y4/3暗オリーブ褐 シルト 締まり=強 粘性=やや強。白色粒・黒色粒混入 弥生～古墳時代の自然堆積土か
 - IV-2.10YR3/2黒褐 シルト 締まり=強 粘性=強 白色粒・黒色粒混入 当層の境目ではIV-1層がブロック状に混入

第195図 中世大友府内町跡第99次調査 調査区北壁土層実測図(1/60)



第196図 中世大友府内町跡第99次調査 近代遺構配置図(1/400・1/60)

第3節 遺構と遺物

1 近代

日豊本線敷設に伴う盛土層（I層）直下において、溝などの遺構を確認した（第196図）。

(1) 溝

2本の溝

2本の溝を検出した。

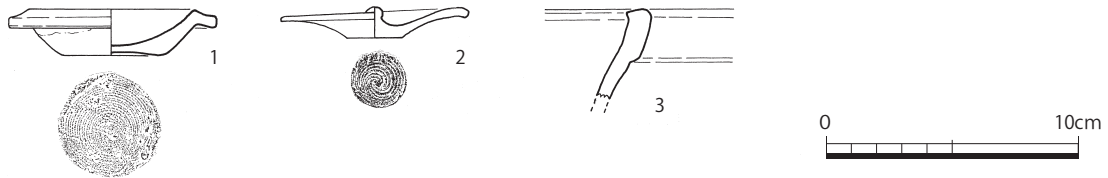
SD001

直線的な溝

SD001（第196図）は調査区に沿って東西方向にのびる。日豊本線に沿って直線的に走ることから、線路敷建設後に掘られた溝と理解される。溝の北側に線路敷があり、ある段階で線路敷が拡幅され埋没したものと考えられる。溝は幅0.6～0.8m、深さ0.2～0.3mで断面U字形を呈する。

遺物

遺物（第197図）は小破片が多く、器形が分かるものは少ない。1、2は関西系陶器土瓶蓋で、18世紀後半以降に比定できる。1は外面中位以下と底部に施釉がみられ、それ以外は露胎である。2には球状の撮みが付くもので、上面のみ施釉される。3は陶器鉢である。



第197図 中世大友府内町跡第99次調査 SD001出土遺物(1/3)

SD002

SD001に直交

SD002（第196図）はSD001に直交するもので、近世の所産であるSD004と同位置に掘られている。現在のヒューム管埋設に伴う掘削で大半が削平されている（第209図）。

2 近世

近世から近代にかけての畦畔、溝、水田層などを確認した（第199図）。

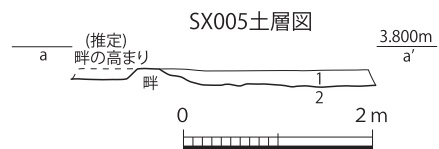
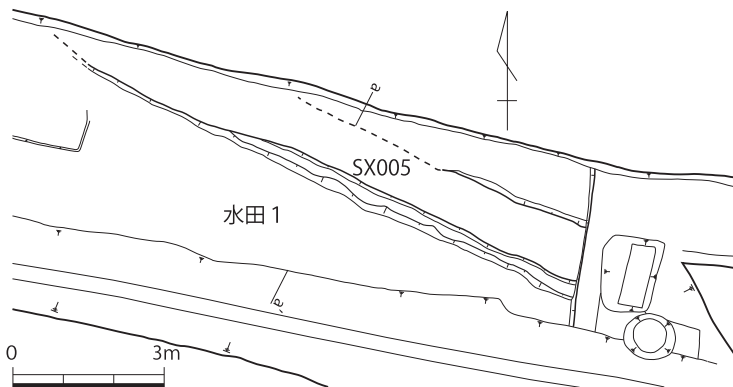
(1) 畦畔

SX005

地山削り出し

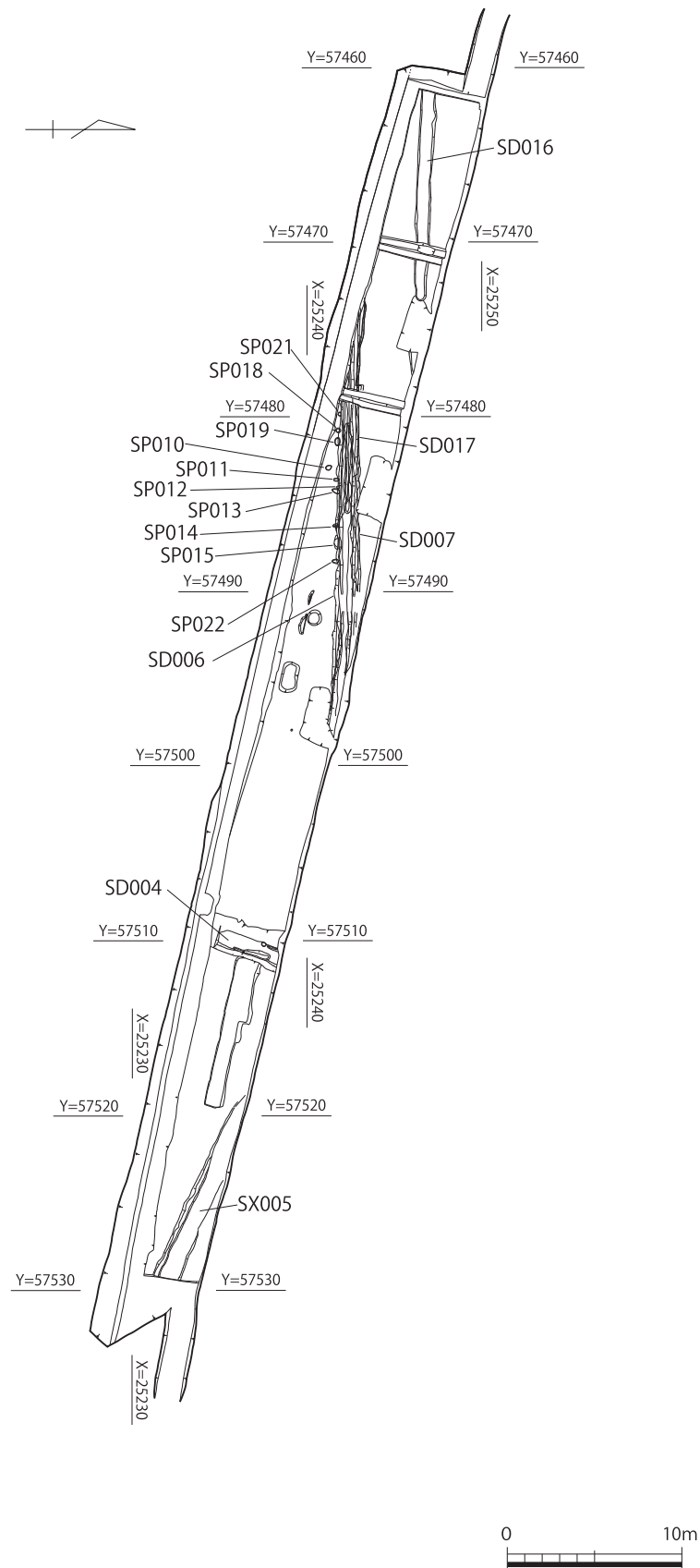
SX005（第198図）は地山削り出しによる畦畔で、上面の幅が約1mである。道を兼ねる大畦畔と思われ、ほぼ直線的にのびる。しかし、西に行くにつれ削り出しが顕著でなくなる。その方位はN60°Wである。本畦畔は、近世最古の水田に伴うもので、それ以降の水田の段階には、同位置に畦畔は作られない。

近世最古



1.10YR3/2黒褐 シルト 締まり=強 粘性=やや強
 白色粒 5mm大の礫、焼土がわずかに混入
 酸化による赤褐色の変色が至るところで目立つ
 畦の水田耕作土
 2.2.5Y4/3オリーブ褐 シルト 締まり=強 粘性=やや強
 地山の一部と思われ、マンガンの沈殿が目立つ
 上層の水田耕作土による影響を受け、黒く変色する

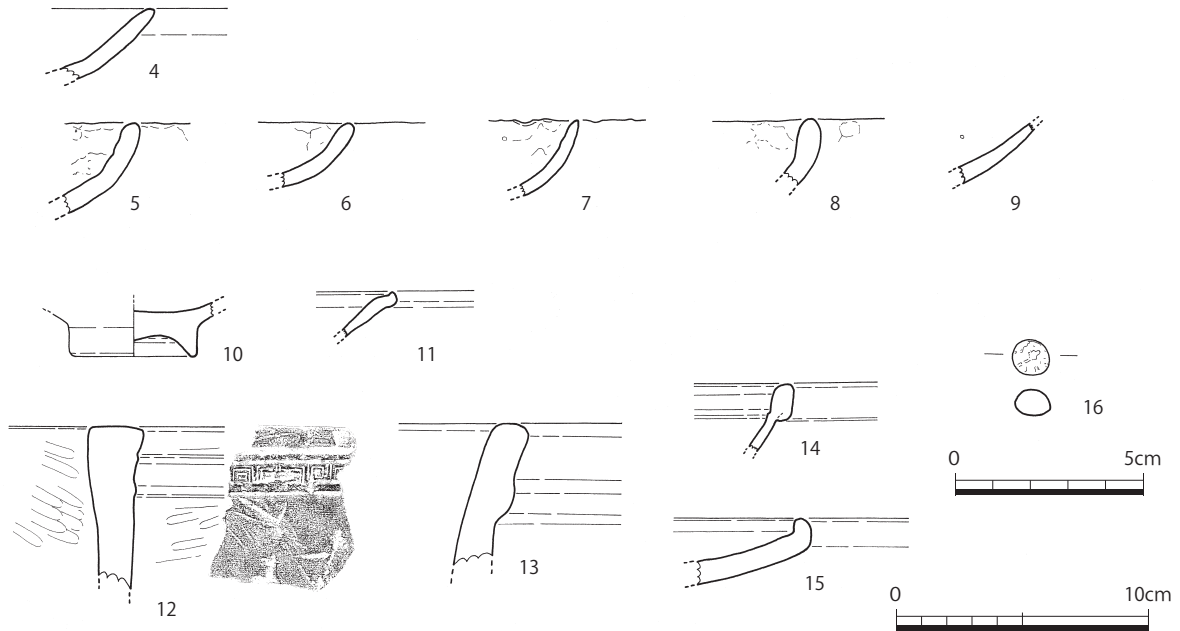
第198図 中世大友府内町跡第99次調査 SX005実測図(1/150・1/80)



第199図 中世大友府内町跡第99次調査 近世遺構配置図(1/400)

出土遺物

SX005に伴う水田層から出土した遺物(第200図)を紹介する。4は京都系土師器で16世紀後半の所産。5~9は埴塙である。表面に青緑色の滓が付着することから、青銅製品の製作に係わるものと考えられる。10は唐津系陶器碗である。畳付以外は灰白色の釉がかかる。11は唐津系の溝縁皿の口縁部である。12、13は瓦質土器である。12は16世紀代の火鉢で、スタンプ文様が施される。13は甕で、口縁部が肥厚する。14は陶器鉢、15は備前焼の皿である。16は鉄砲の弾である。



第200図 中世大友府内町跡第99次調査 SX005出土遺物(1/3,16のみ1/2)

(2) 溝

用排水路

水田に伴う用排水路の役割を担っていたと考えられる溝を確認した。これらは、同位置に重複するように作られており、近世から近代にかけての長期間にわたり、水田区画などが継承されてきたことが分かる。

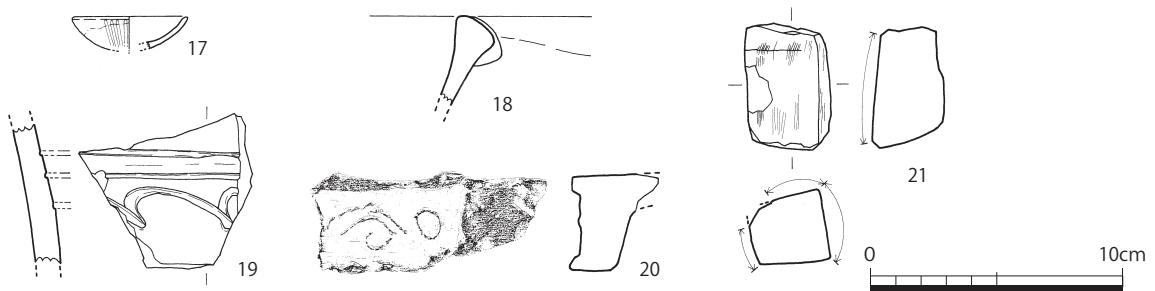
SD004

南北方向

SD004(第199図)は南北方向に走る溝である。現在のヒューム管理設による掘削で削平されているため全容は不明だが、幅1m程の規模があったものと思われる。数度にわたる掘り直しが確認でき(第209図)、長い期間機能したことが分かる。この場所は中世の道路側溝であるSD025があった場所で、これを引き継ぐかたちで作られ、近代にはほぼ同位置にSD002が掘られる。

長期間同位置

出土遺物(第201図)のうち、17は白磁紅皿である。外面下半は露胎となる。18は瓦質土器こね鉢である。19は唐津系陶器甕である。外面に褐灰色の釉が施される。20は軒平瓦で、唐草文様がみられる。21は砥石である。



第201図 中世大友府内町跡第99次調査 SD004出土遺物(1/3)

SD016

規模 SD016（第202図）は調査区西端に位置する。調査区内に始まり、直線的に西方向にのび調査区外に及ぶ。幅0.6～0.8mで、後述するSD006、SD007などに比べると若干規模が小さい。また、深さは上部がやや削平されている可能性があるものの、約0.1mと比較的浅い。また、溝の断面は逆台形ないしはU字形を呈する。

方位 溝は、中世の道路遺構（SF024）の北側側溝であるSD023のさらに北側の位置にあり、位置的には中世の溝を継承していないことが分かる。しかし、方位的にはN88°Wで、ほぼ同一方位をとっており、またSD006などとも平行するなど、全体として中世の地割の影響を強く受けている。

最下層水田 層位的には近世の最下層水田に伴うものである。南側約3mを平行するかたちで掘られた溝（SD017、SD007、SD006）のうち、最下層のSD017と同時存在していたものと思われる。しかし、南側の溝が同位置で継続的に継承されていったのに対し、SD016は継承されることなく、最古段階でその役割を終えてしまう。また、南側の溝は東方向に向け伸びるが、SD016は東に続くことなく、途中で終わっている。

用排水路 水田耕作に係わる用排水路としての性格を有すると考えられるが、強い関連性がうかがえる南側の溝（SD017、SD007、SD006）とは機能的に若干の差があった可能性もある。

SD006、SD007、SD017

SD006、SD007、SD017（第202、203図）は、同位置において継続的に掘られた溝である。年代的には、SD017→SD007→SD006と変遷する。

中世道路遺構 溝は中世の道路遺構であるSF024の上の位置に掘られており、南側の道路側溝であるSD025を位置的に継承していない。これについては、前述したSD016と同様である。また、SD006、SD007、SD017は概ね同位置であるが、時代が下るにつれ、重複しながらやや南に動く傾向にある。方位はN0°Wで、前述したSD016とほぼ平行する関係にある。以下、年代の古い順に説明する。

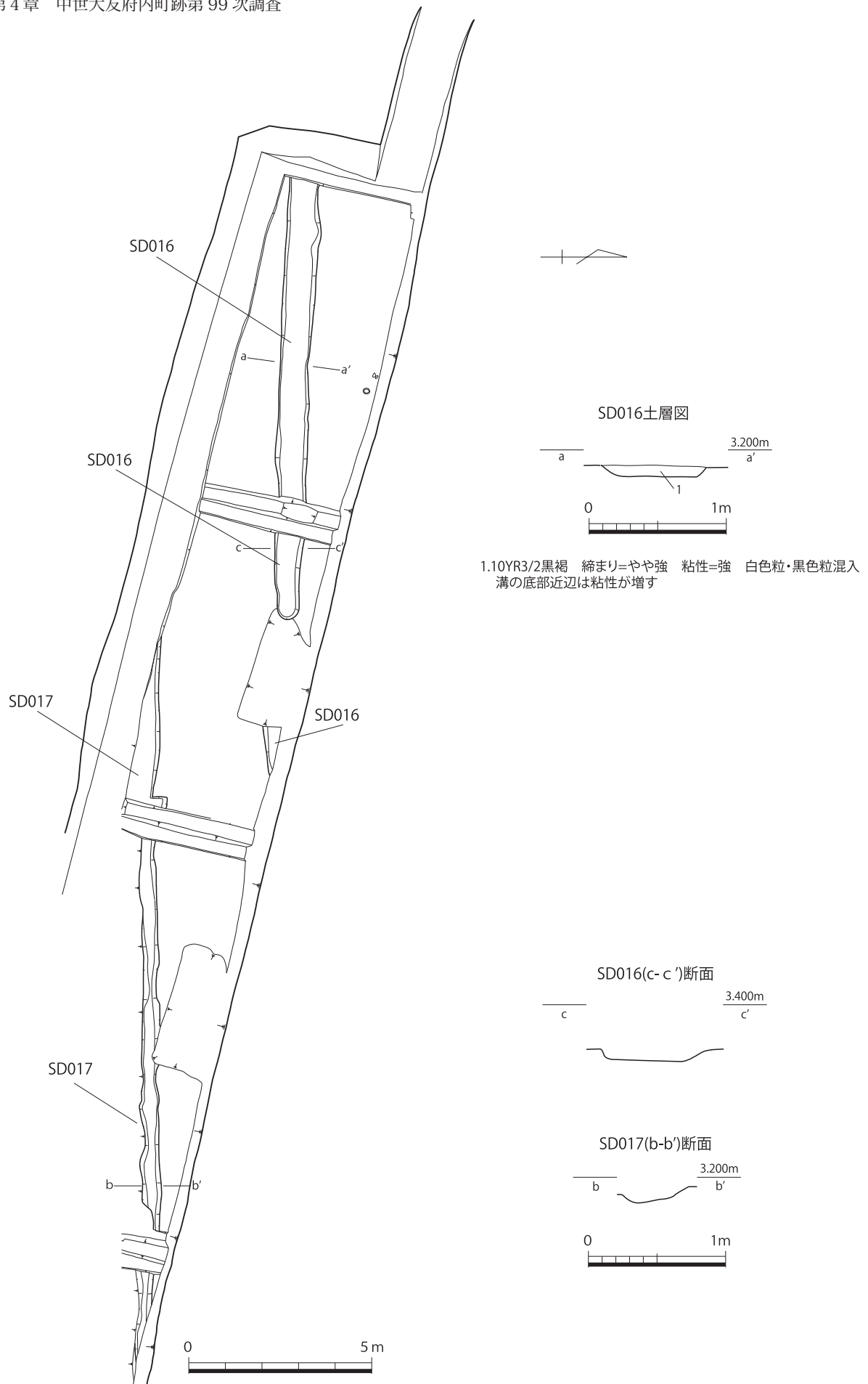
SD017 中世道路側溝 SD017（第202図）は、中世の道路遺構であるSF024の上に位置する。SD017が掘削される段階には、SF024に伴う両側の道路側溝（SD023、SD025）は完全に埋没している。SD017は、北側側溝であるSD023の南側の肩を一部切るかたちで掘られていることが、土層（第220図②）の観察で明らかである。溝は、次の段階の溝であるSD007により切られるため、一部において南側の肩が残存しない。残存部からその規模を推定すると、幅0.4～0.5m、深さ約0.1mである。断面はU字形を呈する。溝の北側はほとんど水田になっていたと思われるが、南側は水田がはじまるまでに約0.6mの間隔があったであろうことが分かる。SD017の南側に後続するSD007、SD006が掘削されているため、SD017掘削時の状況はそのまま残存しない。ただ、南側の水田層の状況から、SD017の南側に連続して水田が形成されたとは考えにくい。SD017の掘削時期を特定することはできないが、近世の比較的早い段階であったと思われる。この時、16世紀段階で存在した道路両側の側溝は完全に埋没していたが、道路遺構はまだ機能していた可能性が高い。そのため、概ね道路遺構と同方位の溝SD017が掘られ、周辺の水田化が図られたものであろう。従って、SD017の段階には、溝のすぐ南側に大畦畔の役割も有する幅約0.6mの道路が残っていたと推定される。SD017からの出土遺物は少量かつ小破片のものばかりで図示することはできなかった。

規模 SD017の南側に後続するSD007、SD006が掘削されているため、SD017掘削時の状況はそのまま残存しない。ただ、南側の水田層の状況から、SD017の南側に連続して水田が形成されたとは考えにくい。SD017の掘削時期を特定することはできないが、近世の比較的早い段階であったと思われる。この時、16世紀段階で存在した道路両側の側溝は完全に埋没していたが、道路遺構はまだ機能していた可能性が高い。そのため、概ね道路遺構と同方位の溝SD017が掘られ、周辺の水田化が図られたものであろう。従って、SD017の段階には、溝のすぐ南側に大畦畔の役割も有する幅約0.6mの道路が残っていたと推定される。SD017からの出土遺物は少量かつ小破片のものばかりで図示することはできなかった。

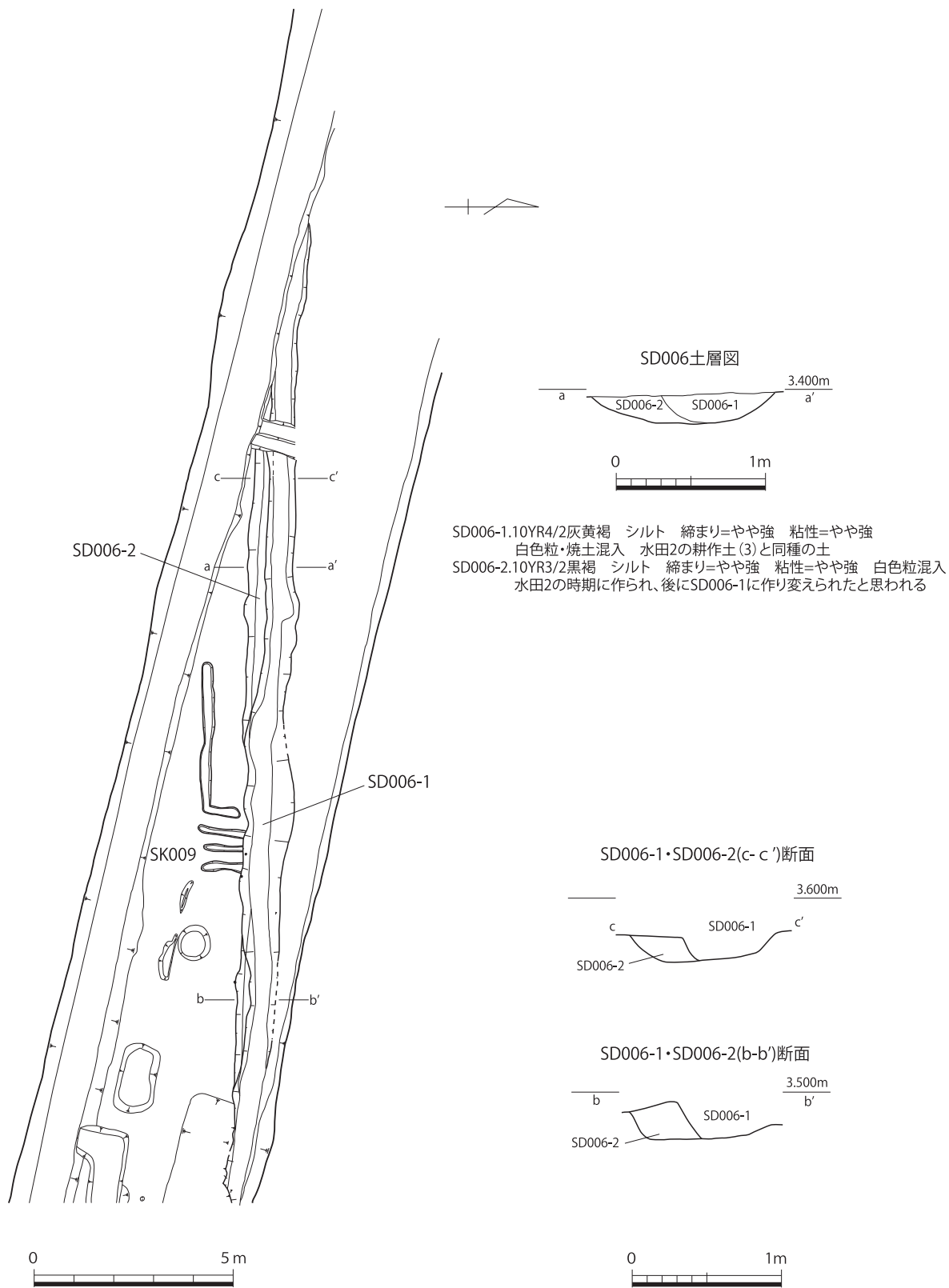
掘削時期 SD017の掘削時期を特定することはできないが、近世の比較的早い段階であったと思われる。この時、16世紀段階で存在した道路両側の側溝は完全に埋没していたが、道路遺構はまだ機能していた可能性が高い。そのため、概ね道路遺構と同方位の溝SD017が掘られ、周辺の水田化が図られたものであろう。従って、SD017の段階には、溝のすぐ南側に大畦畔の役割も有する幅約0.6mの道路が残っていたと推定される。SD017からの出土遺物は少量かつ小破片のものばかりで図示することはできなかった。

SD007 SD007は、前身のSD017と半分重複する。SD017が埋没した後、その南側の肩を切るように位置を若干南に移している。平面的な位置は、次段階の掘削であるSD006とほとんど重複する。SD006に切られるため全容は不明であるが、その規模は概ね幅0.8m、深さ0.2mで、断面形はU字形ないしは逆台形を呈する。前段階のSD017の時期には、溝と南側の水田の間に大畦畔を兼ねた道路が存在したと推測された。しかし、SD007はその位置がSD017に比べやや南に移り、か

規模 SD006に切られるため全容は不明であるが、その規模は概ね幅0.8m、深さ0.2mで、断面形はU字形ないしは逆台形を呈する。前段階のSD017の時期には、溝と南側の水田の間に大畦畔を兼ねた道路が存在したと推測された。しかし、SD007はその位置がSD017に比べやや南に移り、か

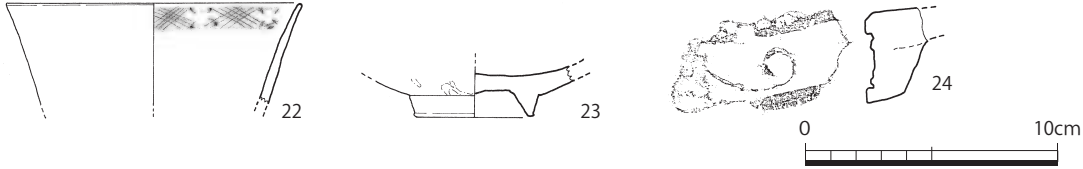


第202図 中世大友府内町跡第99次調査 SD016・SD017実測図(1/150・1/40)



第203図 中世大友府内町跡第99次調査 SD006・SK009実測図(1/150・1/40)

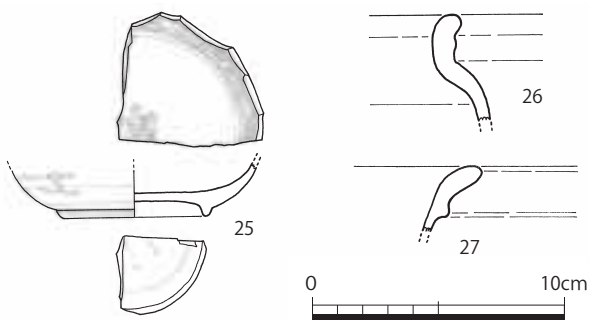
つ規模も大きいことから、道路は存在しないであろうことが土層の観察（第220図②）から推察される。溝の北側については、溝から連続して水田層となっている。出土遺物（第204図）は少量で、小破片が主であった。そのうち、図示可能なものについて紹介する。22は肥前染付碗である。外面は無文で、内面口縁部に四方櫛文が施される。23は白磁碗の底部である。高台は断面三角形で、外面は露胎である。24は軒平瓦で、唐草文が施される。



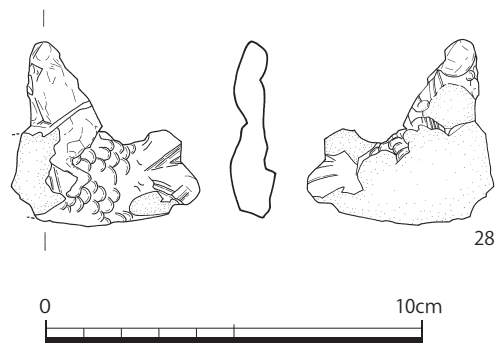
第204図 中世大友府内町跡第99次調査 SD007出土遺物(1/3)

SD006 掘り直し 規模 出土遺物 SD006の時期

SD006（第203図）は、前段階のSD007と重複するものの、全体をやや南に移して掘削が行われている。また、1回の掘り直しが認められ、SD006-1が古く、SD006-2が新しい。全体としては、ほぼ直線的に伸びるが、遺構ラインは大きく屈曲する箇所も多くあり、整然とした印象ではない。最終段階の溝の規模は、幅0.7～1.2m、深さ約0.3mである。断面形は、U字形ないしは緩やかな逆台形を呈する。幅については、場所により差が著しい。これは、溝の使用期間中に、幾度となく部分的な補修や改修が行われた結果であろう。溝の埋土は、シルト質で比較的粘性が強く、層には砂の堆積もみられる。土層観察（第220図②）によれば、最終のSD006-2は、前段階のSD006-1に伴うであろうと思われる水田層を切って掘られている。そして、溝の北側は溝から連続して水田層がある。南側は、SD001に切られているため、水田層とのつながりが不明であるが、おそらく溝から連続するように水田層になっていたものと思われる。前述したSD007の段階と同じように、溝に沿った道などは存在しなかったようである。出土遺物（第205、206図）は、やはり小破片が多い。ここでは、図示可能なものについて紹介する。25は肥前磁器染付皿で、口縁部を欠く。外面には唐草文に一部と思われるものがみられる。内面は、見込み部中央にコンニャク印判による五弁花文がある。また、圏線に続き体部には、呉須の中に白地線を残す文様が施される。墨弾きの技法を用いたものか。製作年代は18世紀と考えられる。26は備前焼壺である。撫で肩の体部から頸部が短く立ち、口縁部がわずかに外方に折れる。中世の所産と思われる、流れ込みであろう。27は唐津系陶器挿鉢である。口縁部資料であるが、小破片のため口径などは不明である。口縁端部は丸く肥厚し、外方に折れる。外面には断面三角形の突帯が付く。28は土人形である。破損や表面の剥落が著しいため、定かでない部分もあるが、魚に乗った人物であると思われる。魚部分には鱗状の文様が表現されている。頭部を欠くが、尾の形状は残る。この魚に人物が跨っている。顔はやや斜めを向いているようであるが、全体に破損が著しく詳細は不明である。以上から、SD006の掘削は18世紀以降と考えられ、近世のSD001との関係から、おそらく近世まで存続していたものと推察できる。



第205図 中世大友府内町跡第99次調査 SD006出土遺物(1) (1/3)



第206図 中世大友府内町跡第99次調査 SD006出土遺物(2) (1/2)

(3) 水田

旧地形 中世の遺構が埋没した後、調査区内は基本的に水田化される。これらは、先に示した基本層序のⅡ層にあたる。東西に長い調査区内では、場所により水田枚数が異なる。これは、旧地形が東から西へ、また北から南へと傾斜していることとも深く関係する。よって、調査区内の地点により水田の状況が異なるようである。また、前段で紹介した畦畔や用排水路と考えられる溝は、水田遺構と一体となって存在するものである。ここでは、調査区内での水田の変遷を整理する。

1 段階

畦畔：SX005、溝：SD004、SD016、SD017

初瀬井路 SD016 SD017 SD004 地籍図界 SX005 中世の遺構が埋没後、最初に造成される水田である。造成の時期をこれら遺構の出土遺物で特定することはできない。ただし、16世紀末には埋没したと思われる道路遺構(SF024)や道路側溝(SD025)を切り込むSK026よりも後出することが、遺構の切り合いや層位から確認できる。中世大友府内町跡が所在する地域の全面水田化は、近世の初瀬井路整備以後と一般的には考えられており、1段階の開田時期も、これ以後と考えるのが妥当であろう。溝のうちSD016は途中で切れているため、補助的あるいは一時的な溝と思われる。これに対しSD017は、2段階以後も同位置で溝が維持されることから、用排水路の機能を有するものであった可能性が高い。また、SD004も同位置での掘り直しが認められることから、SD017に接続する用排水路であったと推察される。SD017は中世道路遺構(SF024)上をトレースするように掘削されており、溝の南側には平行して大畦畔の役割をもつ道が付く。水田地割が中世の地割を見事に引き継いでいることが分かる。ちなみに、このラインは明治時代の地籍界としても確認することができる。SD017は北側調査区外にぬけるが、中世の道路遺構は屈曲し南側調査区外にぬける。よって、中世の遺構ラインが全てそのまま近世に継承されているわけでもない。また、畦畔のSX005についても中世遺構とは全く関係なく作られている。水田個別については平面的に捉える調査を行わず、土層で確認している。SD017及びこれに平行する大畦畔ないしは道の南側に広がるのが水田2(第220図)であるが、SD017の北側に広がる水田は次段階の掘削等で残存しない。また、SX005の北側にみられるのが水田1(第198図)である。

2 段階

溝：SD004、SD007

SD004 SD007 1段階でみられた畦畔のSX005はみられなくなり、水田1が拡張され1枚の水田となる。何らかの理由で水田区割りの変更がなされたものであろう。しかし、SD004は掘り直しが行われ当初の位置に、またSD007は1段階のSD017と重複しながらやや南に移動して掘削される。しかし、方位は前段階をそのまま引き継ぐ。よって、SD004以西の水田区割りは1段階のままであったことが分かる。ただ、大きく異なるのは、1段階のSD017の南側にあった大畦畔がなくなり、SD007に隣接して水田が広がる。この段階の水田を土層(第220図)で示すと、SD007の南側が水田2、北側が水田3である。

3 段階

溝：SD004、SD006

SD006 2本の溝とも2段階を引き継ぐ。よって、水田区割りは2段階のままである。SD006が18世紀以降の掘削と考えられることから、本段階の大凡の時期が推定できる。この段階の水田を土層(第220図)で示すと、SD006の南側が水田4、北側が水田5である。また、SD004の東側は2段階の水田が引き継がれる。

3 中世

Ⅲ層上面 中世の遺構は、Ⅱ層（近世水田層）除去後のⅢ層上面で確認することができた。本調査区は、キリシタン墓や道路遺構が出土した中世大友府内町跡第10次調査区に近接しているため、第2節1で述べた4点に留意し調査を開始した。

道路遺構 道路跡延伸部の確認については、道路遺構（SF024）とそれに伴う両側側溝（SD023、SD025）を検出した。しかし、これらは当初の予想に反して、東西方向に直線的に伸びるのではなく、大きく屈曲していた。

ダイウス堂西限 ダイウス堂推定地の西限確認については、柵列等の西を限る施設そのものは確認できなかった。しかし、道路遺構が大きく屈曲する部分が、西限と密接な関係があるものと推測できるにいたった。

ダイウス堂内 キリシタン墓などのダイウス堂推定地内における遺構確認については、当初の予想に反して全く遺構を検出することができなかった。ダイウス堂内に畠あるいは空閑地など、遺構を伴わない利用があったことを確認することができた。

ダイウス堂西側 ダイウス堂西側の土地利用確認については、具体的な遺構は確認できなかったが、状況を推測できるデータを得た。

土坑、整地層 以上のほか、土坑（SK026）や整地層（SX008）などを検出した。これらについては、時期的には近世に位置づけられるものもあるが、中世遺構と密接に関連すると考えられることから、ここで紹介する。

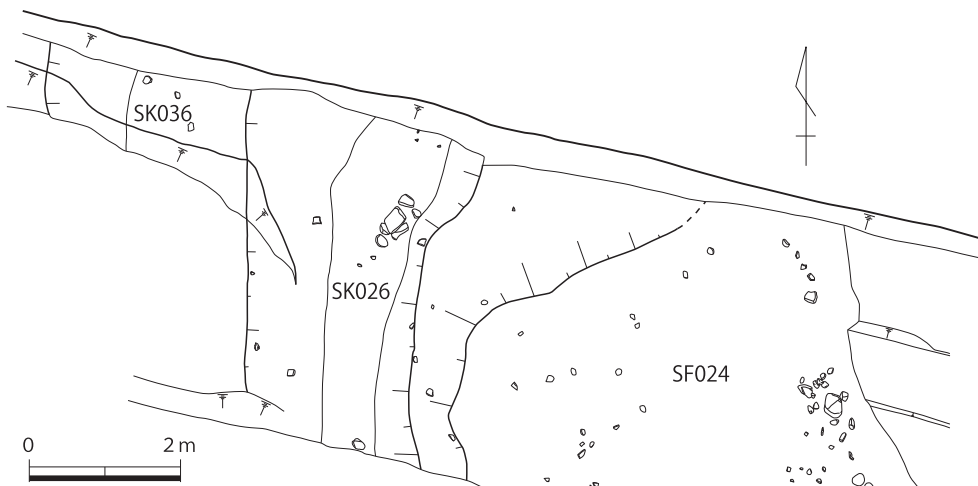
(1) 土坑

SK026

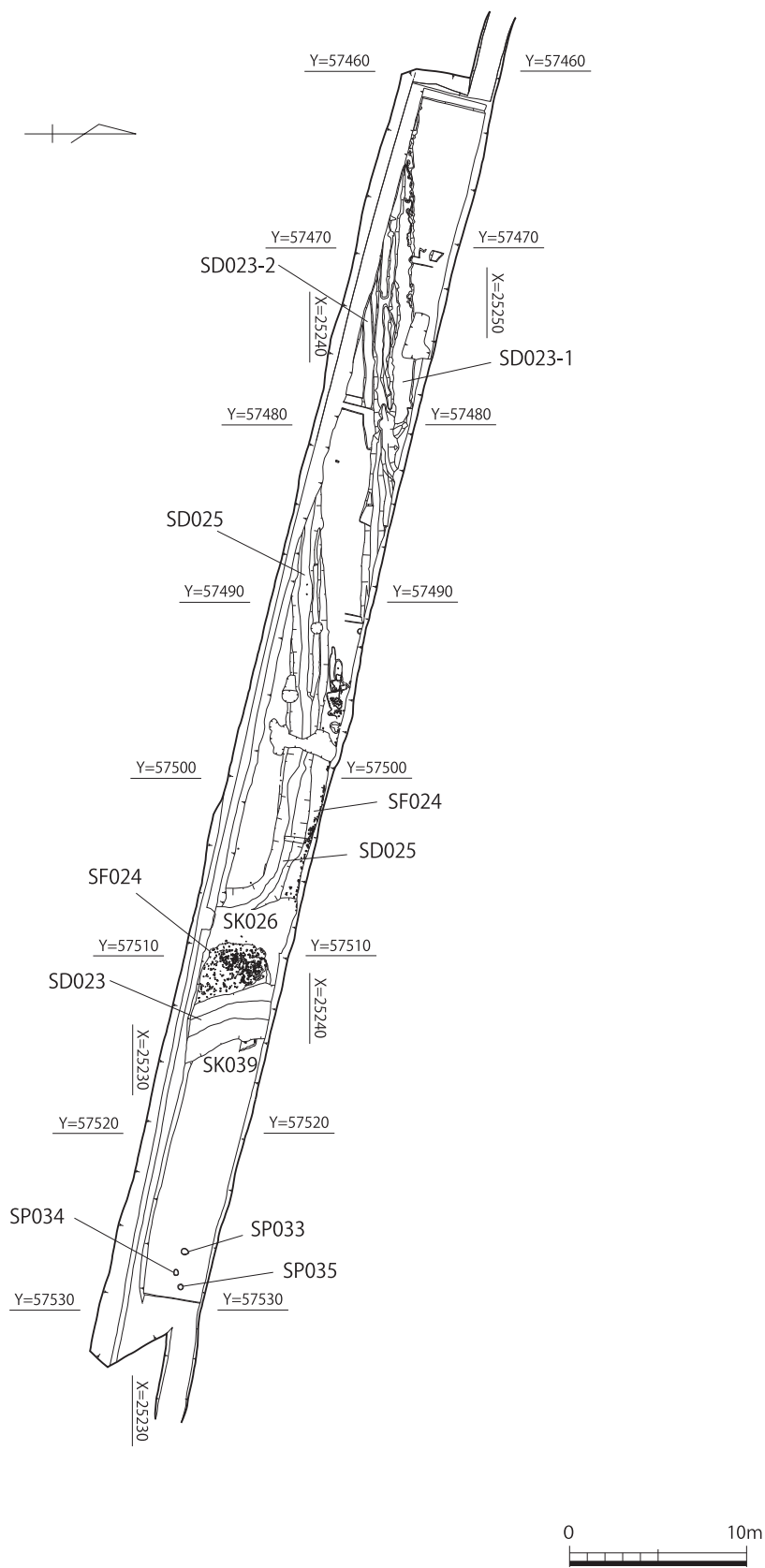
SK026（第207、209図）は、道路遺構（SF024）が屈曲し南北方向にのびる位置にある。

SF024が廃絶し、それと同時に西側の道路側溝であるSD025と東側の道路側溝であるSD023が埋没する。その後、SD023とSF024の上部が整地層であるSX008により覆われるが、これらを切り込むかたちで、SK026が掘削されている。この部分は、近代のSD002や近世のSD004などの水田に伴う溝が南北方向に掘られる。これらの溝は、概ね中世の道路側溝であるSD025の位置を踏襲している。ここは道路遺構が大きく屈曲している箇所、ダイウス堂の西限と密接に関係すると考えられる。中世の地割が近代まで引き継がれ、地籍界になっている。SK026はこれらの溝と同様な位置にあり、中世遺構と近世以降の水田遺構の間に位置づけられる遺構である。

大型土坑 SK026は、遺構が南北とも調査区外に及んでいるため全容は不明であるが、かなり大型の遺構である。ここでは土坑としたが、南北方向に伸びる溝状の遺構になることも考えられる。西側の遺構ラインは直線的で、西側の道路側溝（SD025）や道路遺構（SF024）に掘り込まれる土坑（SK036、



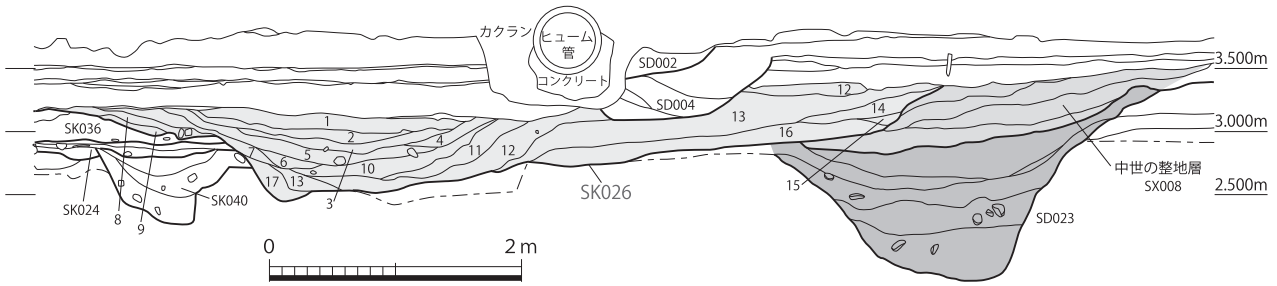
第207図 中世大友府内町跡第99次調査 SF024・SK026・SK036実測図(1/100)



第208図 中世大友府内町跡第99次調査 中世遺構配置図(1/400)

規模 SK040) を切る。一方、東側の遺構ラインは大きく屈曲し、道路遺構 (SF024) や整地層 (SX008) を切り込む。遺構の立ち上がりについて、西側は中程まで斜方向にやや急に立ち上がり、その後極めて緩やかになる。東側も比較的緩やかに立ち上がる。底面はやや凹凸がみられる部分もあるが、比較的平坦である。規模は東西幅が3~6m、南北が4.5m以上、深さ0.4~0.8mである。遺物については多くが流れ込みの状態で、散發的ではあるが出土した。

土層堆積状況 土層堆積状況 (第209図) を見てみると、東側が比較的早く埋没し、前段階に道路の西側側溝 SD025 があった部分が最後まで残り埋まっていったことが分かる。



SK026

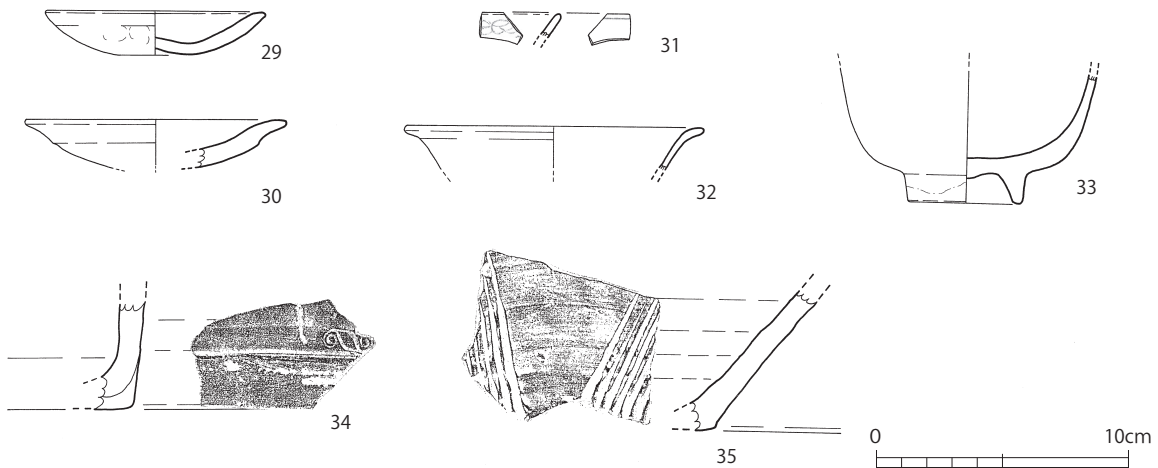
- | | |
|--|--------------------------------------|
| 1. 10YR3/2黒褐 シルト 締まり=強 粘性=やや強 白色粒・黒色粒混入 | 10. 10YR3/1黒褐 シルト 締まり=強 粘性=やや強 |
| 2. 2.5Y3/2黒褐 シルト 締まり=強 粘性=やや強 白色粒・黒色粒・焼土混入 | 11. 2.5Y3/3暗オリーブ褐 シルト 締まり=やや強 粘性=やや弱 |
| 3. 10YR3/2黒褐 シルト 締まり=強 粘性=やや強 白色粒・黒色粒・焼土混入 | 12. 10YR3/1黒褐 シルト 締まり=やや強 粘性=やや強 |
| 4. 10YR3/1黒褐 シルト 締まり=強 粘性=やや強 白色粒・黒色粒・焼土混入 | 13. 10YR3/2黒褐 シルト 締まり=やや強 粘性=やや強 |
| 5. 10YR3/2黒褐 シルト 締まり=強 粘性=やや強 白色粒・黒色粒・焼土混入 | 14. 10YR3/3暗褐 シルト 締まり=強 粘性=やや強 |
| 直径10cm以上の礫有 | 15. 10YR3/2黒褐 シルト 締まり=やや強 粘性=やや弱 |
| 6. 2.5Y3/3暗オリーブ褐 シルト 締まり=強 粘性=やや強 | 白色粒・黒色粒・炭混入 |
| 7. 10YR3/2黒褐 砂質シルト 締まり=やや強 粘性=弱 | 16. 10YR2/3黒褐 シルト 締まり=強 粘性=強 |
| 8. 10YR3/1黒褐 シルト 締まり=強 粘性=やや強 | 17. 10YR3/1黒褐 粘質シルト 締まり=強 粘質=非常に強 |
| 9. 2.5Y3/3暗オリーブ褐 シルト 締まり=やや強 粘性=やや弱 | |

第209図 中世大友府内町跡第99次調査 SK026土層実測図(1/60)

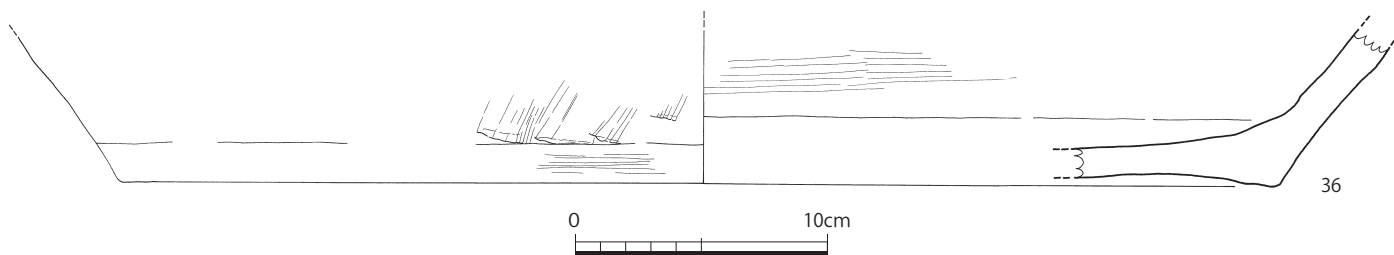
出土遺物 出土遺物 (第210、211図) には、京都系土師器、陶磁器、瓦質土器、備前焼などがある。

京都系土師器 29、30は京都系土師器である。29は復元口径8.6cmを測るものである。比較的厚手で、底部はやや上げ底気味である。体部は内湾気味で、そのまま口縁部にいたる。口縁部はやや尖り気味である。30は復元口径10.4cmを測るもので、やはり厚手である。口縁部周辺に強いナデが施され、口縁部が外反する。

陶磁器 31~33は陶磁器である。31は中国産青花碗である。二次焼成を受けており色調に変色認められる。外面口縁下に界線が、また内面口縁下に文様が施される。32は中国産青磁碗である。内外面とも緑灰色の釉がかかる。釉には貫入がみられる。口縁部は端反りである。33は陶胎の碗で、検出面近くの最上層から出土した。高台は比較的高くしっかりしている。体部は直線的に立ち上がりそのまま口縁部にいたるものと思われる。畳付と外底面は露胎であるが、他は灰黄褐色の貫入が



第210図 中世大友府内町跡第99次調査 SK026出土遺物(1)(1/3)



第211図 中世大友府内町跡第99次調査 SK026出土遺物(2)(1/4)

入る釉がかかる。

瓦質土器
備前焼

34は瓦質土器火鉢の底部である。底部からやや上部に軽い段があり、段に沿ってスタンプ文がある。35、36は備前焼である。35は播鉢で、内面に7本以上の摺り目がみられる。36は甕の底部である。以上の出土遺物から、本遺構の最終埋没時期は近世に入ると考えられる。

(2) 整地層

SX008

土塁

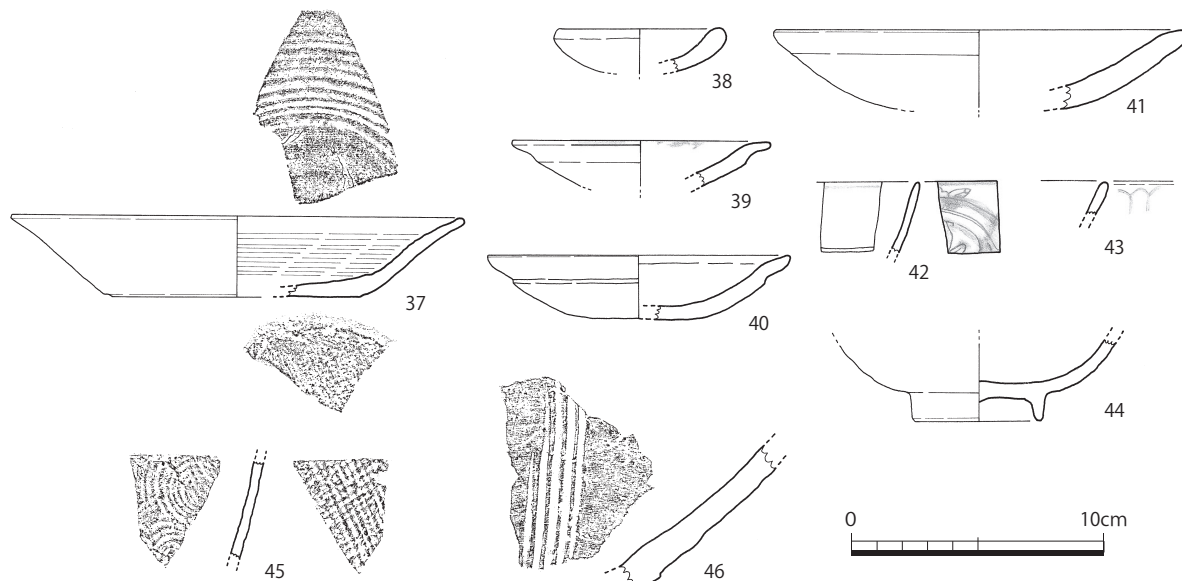
SX008(第209、214図)は、道路遺構(SF024)が屈曲する部分において、東側の道路側溝(SD023)がほぼ埋没した後に、東側の地山との段を解消するために、SF024とSD023の両者を覆うように整地作業が行われている。土はダイウス堂側から流入しており、SD023に沿って土塁が存在した可能性が考えられる。整地が西側側溝のSD025まで及んだかは、SK026が掘り込まれているため不明である。

出土遺物

出土遺物(第212図)のうち、37はロクロ痕を残す土師質土器で、ロクロ痕は口縁部を除く内面体部のみにもみられる。ロクロ痕を有する土師質土器のなかでも最新段階のものである。38は埴塙と思われる、内面に被熱による色調の変化が顕著に認められる。39～41は京都系土師器である。いずれも器壁が厚いもので、39、40は口縁部周辺が強くナデられ、短く外反する。42は中国産青花碗である。外面の文様は輪郭を描いた後に、濃みがかはいる。器形は饅頭心タイプのものであると思われる。43は中国産青磁碗である。外面に剣先連弁文がみられる。44は陶器碗である。置付は露胎であるが、他は内外面とも灰黄色の釉がかけられる。45は須恵器甕の破片である。46は備前焼播鉢である。内面には5本の摺り目がみられる。

形成時期

以上の出土遺物には古いものも混入するが、整地層形成の時期は、近世初頭頃と考えられる。



第212図 中世大友府内町跡第99次調査 SX008出土遺物(1/3)

(3) 道路遺構

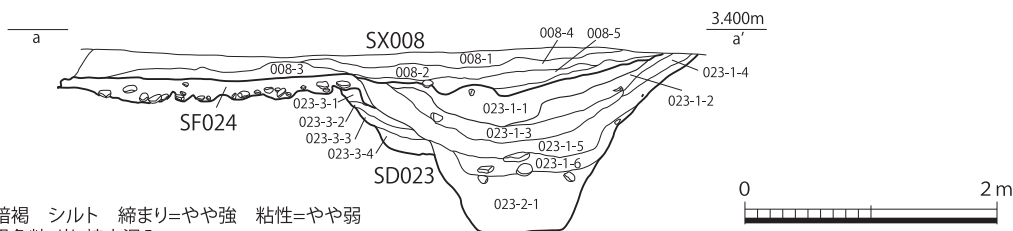
中世大友府内町跡第10次調査で検出されていた道路遺構の延伸部と考えられる遺構を確認した。

SF024

SF024 (第213、214図)は、10次調査で確認されている道路遺構の続きと思われる。10次調査区の道路が北西方向にのびていたため、本調査区でも同様な方位で検出できるものと考えていた。しかし、本調査区では南北方向で検出された後、一度北側調査区外に及び、再び北東から南西方向



第213図 中世大友府内町跡第99次調査 SD023・SF024・SK039実測図(1/60)



SX008

- 1.10YR3/3暗褐 シルト 締まり=やや強 粘性=やや弱
白色粒・黒色粒・炭・焼土混入
- 2.2.5Y4/2暗灰黄 シルト 締まり=やや弱 粘性=やや弱 白色粒・黒色粒混入 褐色のシルトガフ
- 3.2.5Y3/3暗オリブ褐 締まり=やや強 粘性=やや弱 白色粒・黒色粒混入
- 4.10YR3/2黒褐 シルト 締まり=やや弱 粘性=弱 白色粒混入 褐色のシルトがブロック状に混入 砂質を多く含む
- 5.10YR4/2灰黄褐 シルト 締まり=やや弱 粘性=弱 褐色のシルトが主体となって混入 造成土

SD023

- 1-1.10YR3/3暗褐 シルト 締まり=やや強い 粘性=やや強い 白色粒・黒色粒混入 褐色のシルトがブロック状に混入 SD023-3の埋土
- 1-2.10YR3/2黒褐 シルト 締まり=やや強い 粘性=やや弱 白色粒・黒色粒・焼土混入 砂質含む。青磁出土
- 1-3.2.5Y3/2黒褐 シルト 締まり=やや強 粘性=やや弱 白色粒ごくわずかに混入 直径10cm以上の礫も出土
- 1-4.2.5Y3/3暗オリブ褐 シルト 締まり=やや強 粘性=やや弱 白色粒ごくわずかに混入
- 1-5.10YR4/1褐灰 砂質シルト 締まり=やや弱 粘性=弱 白色粒・黒色粒・赤色粒が多く混入
- 1-6.10YR3/1黒褐 シルト 締まり=強 粘性=やや強 直径15cm以上の礫から、1mm以下の礫まで混入
- 2-1.2.5Y3/1黒褐 粘質シルト 締まり=強 粘性=強 粘質シルトを主体に細砂が带状に混入
- 3-1.2.5Y4/1黄灰 シルト 締まり=強 粘性=やや強 褐灰色の細砂を多く含む
- 3-2.10YR3/2黒褐 シルト 締まり=強 粘性=強 白色粒ごくわずかに混入
- 3-3.10YR3/1黒褐 シルト 締まり=強 粘性=強 混入物はほとんど見られない
- 3-4.10YR3/2黒褐 シルト 締まり=強 粘性=非常に強 混入物は殆ど見られない

SF024

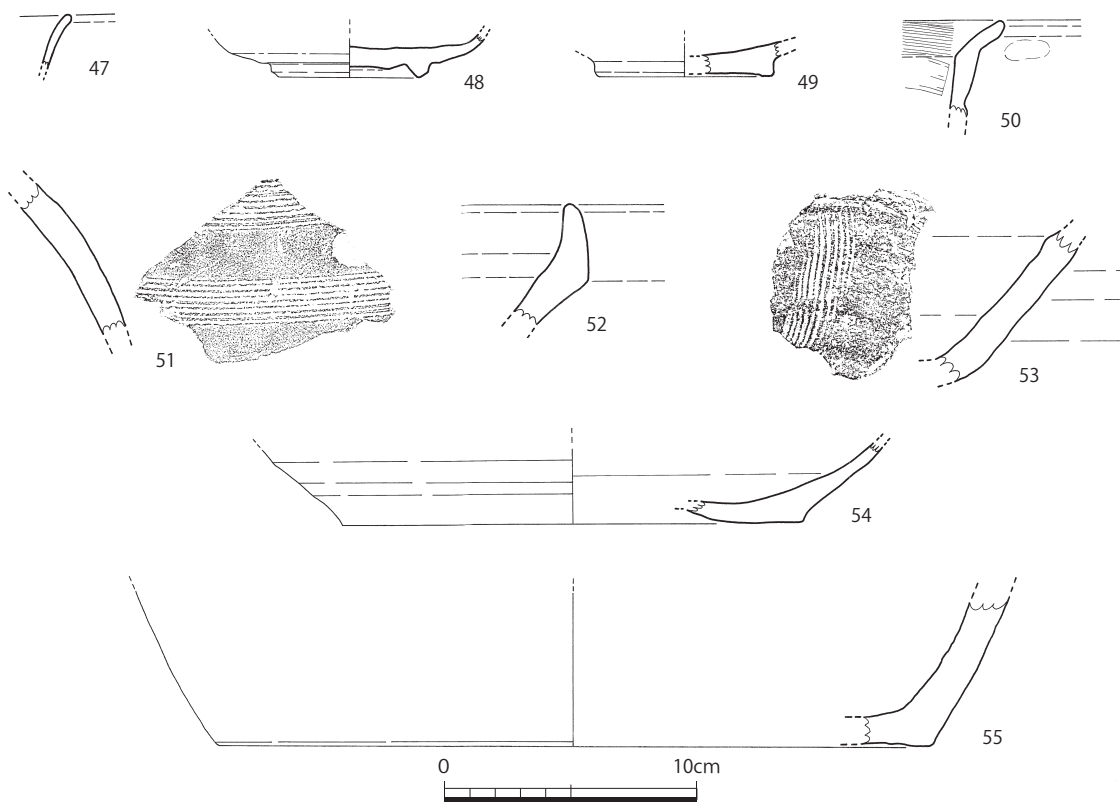
- 2.5Y4/2暗灰黄 砂質シルト 締まり=やや強 粘性=やや弱 道路を形成する礫敷き面を補強する整地層 砂質の高いシルトがブロック状に混入

第214図 中世大友府内町跡第99次調査 SX008・SD023・SF024土層実測図(1/60)

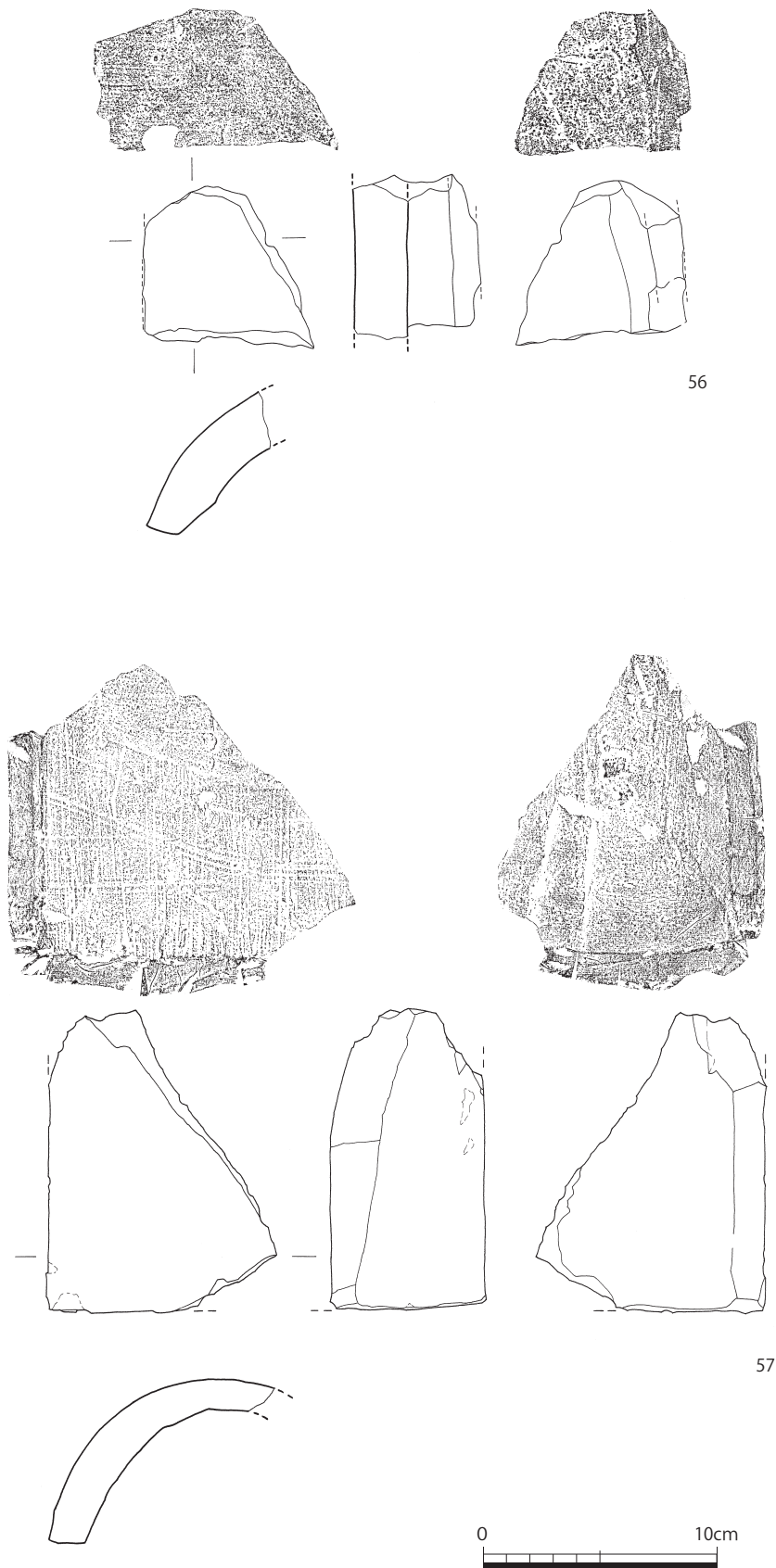
に向けて直線的にのびる状況で確認することができた。これらの状況から、10次調査区からのびた道路は屈曲し、コーナー部を形成していることが分かる。そして、コーナー部から約5m北方向に伸びた後、今度は約90°屈曲し10次調査区の道路とは方位を全く異にし、N12°Eの方位で南西方向に伸びるとい、やや複雑な構造をもつことが分かった。この構造は、南北にのびる道路の東側の施設と密接に係わると思われる。ここはダイウス堂推定地で、道路が南北方向にのびるラインは、ダイウス堂の西限と推定されている地籍界である。すなわち、ダイウス堂の南西コーナーに沿って、道路が屈曲していると理解することができる。

道路は両側に側溝（SD023、SD025）を有するもので、幅約2.8mを測る。道路面は、まず地山をおおよそ水平に整える。しかし、微妙な凹凸や浅い土坑状の落ちもみられる。その上に、径数～10cmの礫を砂とともに敷いており、その厚さは約0.1～0.2mである。また、場所により礫層の下部に白色粘土層が認められる箇所があり、砂礫を敷く前に白色粘土を敷いた所もあったことが分かる。白色粘土を敷いた後に礫で道路面を整える方法は、10次調査区の道路面でも確認されている。側溝については確実に何度かの掘り直しが認められる。そのうち、南北方向に道路が延びる部分の東側側溝であるSD023の土層図（第213図）をみると、道路側に残る最も古い溝埋土には、道路の整地に使用した礫の落ち込みが全く認められない。よって、砂礫で道路面を整地する以前に、砂礫を使用しない道路面があった可能性も考えられる。ただ、現状の道路断面を観察すると、道路面は基本的に1面しか確認することができない。10次調査区の道路遺構において硬化面が複数枚確認されている点とは、大きく異なる。道路面上の礫による整地は、南西方向にのびる部分でも一部認められるが、近世以降の遺構による削平でほとんど残存しない。しかし、両側の道路側溝に整地に用いた礫や砂の落ち込みがほとんど認められないことから、南西方向にのびる部分は、ダイウス堂に近い部分を除き、礫による整地が行われていなかった可能性が高い。

町外に至る道 この道路は、府内町の万寿寺北側から大友館と御蔵場の間を通り町外にいたるものである。府内



第215図 中世大友府内町跡第99次調査 SF024出土遺物(1)(1/3)



第216図 中世大友府内町跡第99次調査 SF024出土遺物(2)(1/3)

『府内古図』 町から西側の町外にのびる道については、『府内古図』A類によれば3本確認することができる。最も北に位置するのが、福田寺や来迎寺の北側の東西道路で、ニシウ町、辻之町、古川町、中之町、長池町を通り西側の町外にいたる。次に位置するのが、来迎寺と稲荷の間を走る東西道路で、坊ヶ小路町、横小路町、西小路町を通り、大雄院の北側から町外にいたる。そして最も南に位置するのが今回調査した道路で、堀之口町、林小路町を経て、ダイウス堂と祐向寺の間を通り町外に出ている。3本の道路のなかでは、今回調査した最も南の道路が、府内町内の主要施設から続く道路であることが分かる。『府内古図』では、いずれの道も町から直線的に町外に続くように描かれている。しかし、実際はやや複雑な形状をなすことが分かった。今回の道を町外から府内町に入ろうとすると、両側側溝を有する直線道路を進むとダイウス堂にぶつかる。ここを右折するが、しばらく行くと左折しなければならない。その後直進すると町内に入れる。このような2度の折れが形成されており、容易に町内に入ることができない。主要施設に直結する道のため、防御機能を念頭に置き意識的に作られたものなのか、今後検討する必要がある。

道路の折れ

道路面からの出土遺物は極めて少量である。このうち、ある程度遺物がまとまって出土したのは、南北方向に道が延びる砂礫整地層中である。以下、その遺物を紹介する。

出土遺物

出土遺物（第215、216図）には、陶磁器、瓦質土器、備前焼、瓦がある。

陶磁器

47～49は陶磁器である。47は中国産青磁碗の口縁部である。小破片のため全形は不明であるが、口縁端部が丸くおさめられ、やや外反気味である。48は青磁碗の底部である。高台は低く、断面が三角形に近い形状をなす。内外面に貫入の入る釉がかけられるが、外面体部下から外底面にかけては露胎である。また、内面見込部には、輪状の釉ハギがみられる。49はベトナム産白磁碗の底部である。輪状高台ではなく、円盤状高台を呈する。内面には貫入の入る釉がかけられるが、外面は露胎である。50は瓦質土器土鍋である。体部から口縁部がくの字状に外方に折れ、口縁端部はやや尖り気味ながら丸くおさめられる。調整は、外面口縁部がヨコナデと指オサエ、内面に横方向の比較的細かなハケ目が施される。13～14世紀代の所産である。51～55は備前焼である。51は壺である。肩部に横走の櫛描文が2段にわたり施される。52は播鉢である。口縁部がほぼ垂直気味に立ちあがる。端部はやや尖り気味で、外面には凹線などはみられず無文である。53は播鉢の体部である。内面に1単位10条の摺り目がみられる。54は壺の底部と思われる。体部は器壁が比較的薄く仕上げられている。55は甕の底部と思われる。56、57はいずれも丸瓦の破片である。56は内面に布目痕が残る。また、端部に沿い内面にヘラ切りが施される。57は外面に縦あるいは斜方向の条線が残る。内面には布目痕がみられる。

瓦質土器

備前焼

丸瓦

(4) 溝

道路側溝

道路遺構であるSF024に伴う両側側溝を確認した。

SD023

SD023（第208、213、214、217、218図）は、道路（SF024）の東側あるいは北側に位置する溝である。場所により溝の状況が大きく異なる。

ダイウス堂西側

SF024が南北に延びる箇所では、SD023は道路の東側に位置する。ダイウス堂の西端にあたることから、ダイウス堂の西側を画する施設の役割も担っていたと思われる。この南北ラインは、近世・近代にも農業用の溝が掘られ、現在でも地籍界として引き継がれている。この付近の溝の最終段階の規模は、幅2.6～2.8m、深さ約0.8mを測り、後段で述べる箇所とは規模的に大きく異なる。土層図（第214図）でも明らかのように、確実に2度の掘り直しが認められ、最低でも3回異なる溝の姿があったことになる。最古段階の状況は、道路側にわずかに残る層で確認されるのみで、規模等は不明である。この堆積層からは、道路面の整地に用いられた礫の落ち込みが確認でき

規模

掘り直し

最古段階

ず、砂礫による整地層が上面を覆うことから、当初の溝の段階には砂礫による道路面の整地が行われていなかった可能性がある。2段階は深さ約1.2mである。断面は逆台形を呈し、底面は自然遺物を含む青灰色粘土層に達することから、出水が著しい。2段階目の溝がある程度埋没した段階で掘り直しが行われ、3段階目の溝が掘られる。溝は2段階目よりも幅を広げたと考えられ約2.6～2.8mとなるが、深さは浅くなり約0.8mである。2段階目、3段階目とも道路面は砂礫による整地で道路面が整備されていたと考えられる。第10次調査では、道路に沿い溝の中に矢板が打ち込まれていたことが確認されているが、SD023では各段階とも矢板はみられない。

東西方向掘り直し最古段階2段階3段階最終段階

東西方向に伸びる箇所では、北側の側溝にあたる。西に向かうにつれ浅くなり、ダイウス堂西側の箇所とは様相が大きく異なる。ここでは3度の掘り直しが認められ、重複しながら南から北に少しずつ移動しながら4段階にわたり掘られていることが分かる(第217図)。最古段階は、深さ約0.2mと最も浅い。幅は約1m程と思われる。2段階は残存部分が少ないが、深さは約0.3mである。3段階が最も深く約0.6mを測る、断面U字形を呈し、幅は約1.3m程であろう。最終段階は幅約1.8mと広がるが、深さは約0.25mと浅くなる。ここでも、矢板は確認することができなかった。

遺物出土状況

溝からの出土遺物は、南北方向にのびる部分からの出土が主であるが、量的にはそれほど多くない。また、東西方向に走る部分からは、遺物がほとんど出土しなかった。

出土遺物

出土遺物(第219図)には、土師質土器、陶磁器、瓦質土器、備前焼、土製品がある。

土師質土器

58～60は土師質土器である。58は底部糸切りの在在系土器小皿で、口径に比し器高が高い。59、60は京都系土師器で、やや厚めの器壁をもつ。60は埴塙として使用されており、内面に被熱と付着物が認められる。61～70は陶磁器である。61～64は中国産青花碗である。このうち61、63、64は漳州窯系である。62は口縁部端反である。65は中国産青花碗体部で、陰刻による文様がみられる。66は中国産青花皿である。口縁部端反りの小野正敏分類皿B1群に相当する。67は中国産青磁碗底部で、断面長方形の高台が付く。外底面のみ露胎で、他は明緑灰色の貫入の入る釉がかけられる。また、見込にはスタンプ文がみられる。68は中国産白磁碗で、口縁部が玉縁を呈する。69は中国産白磁皿である。体部下部から外底面にかけて露胎である。高台は付かない。70は瀬戸美濃系天目茶碗である。71は東播系のこね鉢である。72は瓦質土器鉢である。口縁部が短くL字におれ、体部外面には横方向のへら削りが、また内面には横方向のへら磨きがみられる。

陶磁器

73～76は備前焼である。73は壺である。頸部は直立し、口縁部は玉縁状を呈する。74は搦鉢である。口縁部は直立気味であるが、口縁外面には凹線などはみられない。体部内面には8条1単位の摺り目が施される。75は甕である。口縁部の玉縁は球状にちかい形状を呈する。76は壺の底部と思われる。77は土製の錘である。

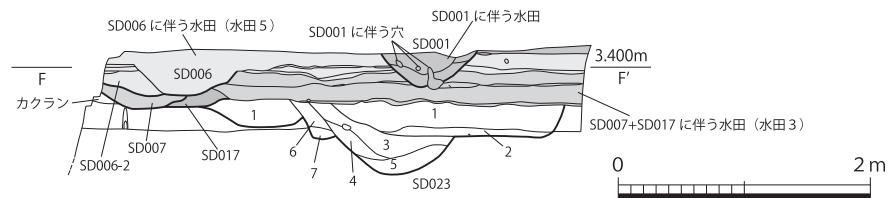
瓦質土器

備前焼

土製品

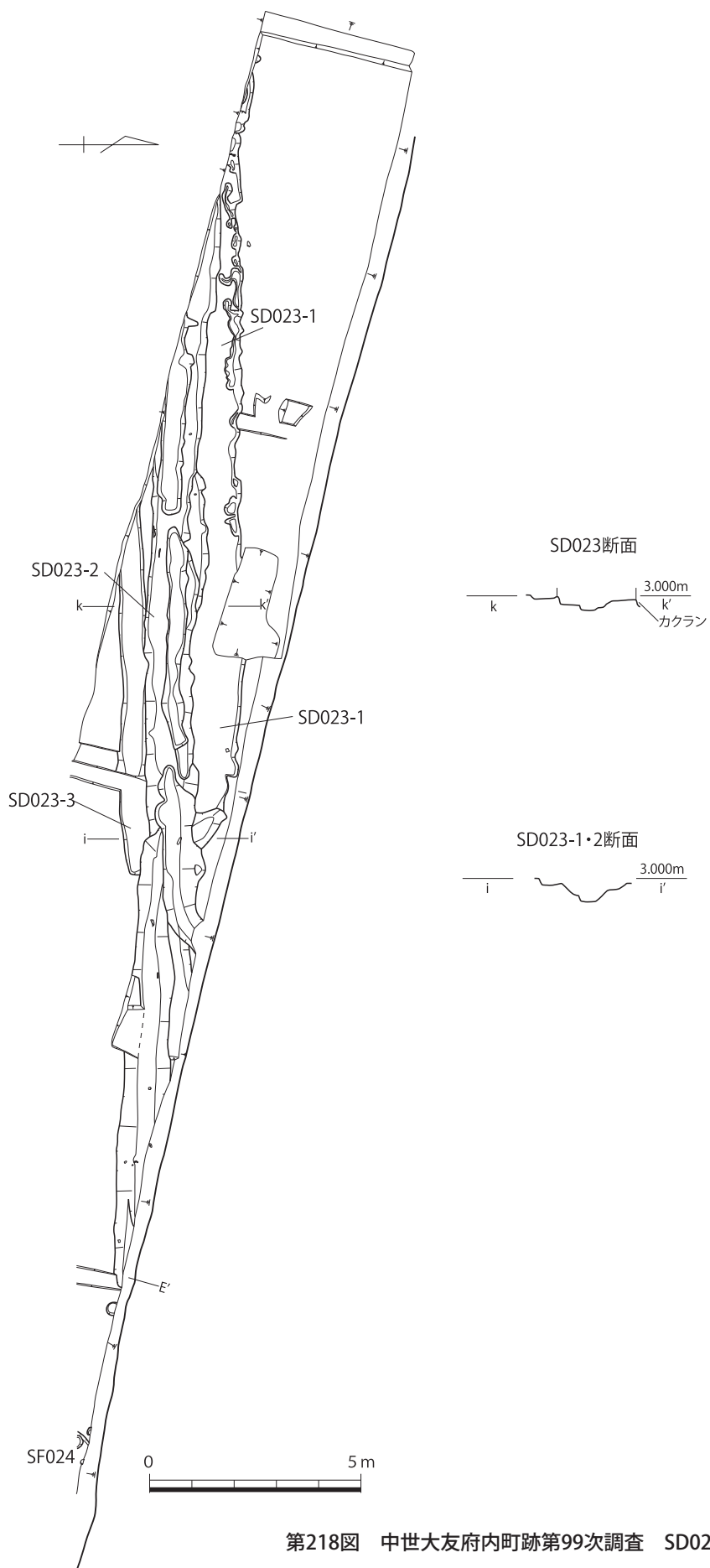
時期

以上から、溝は16世紀末に機能を停止したであろうことが推察できる。

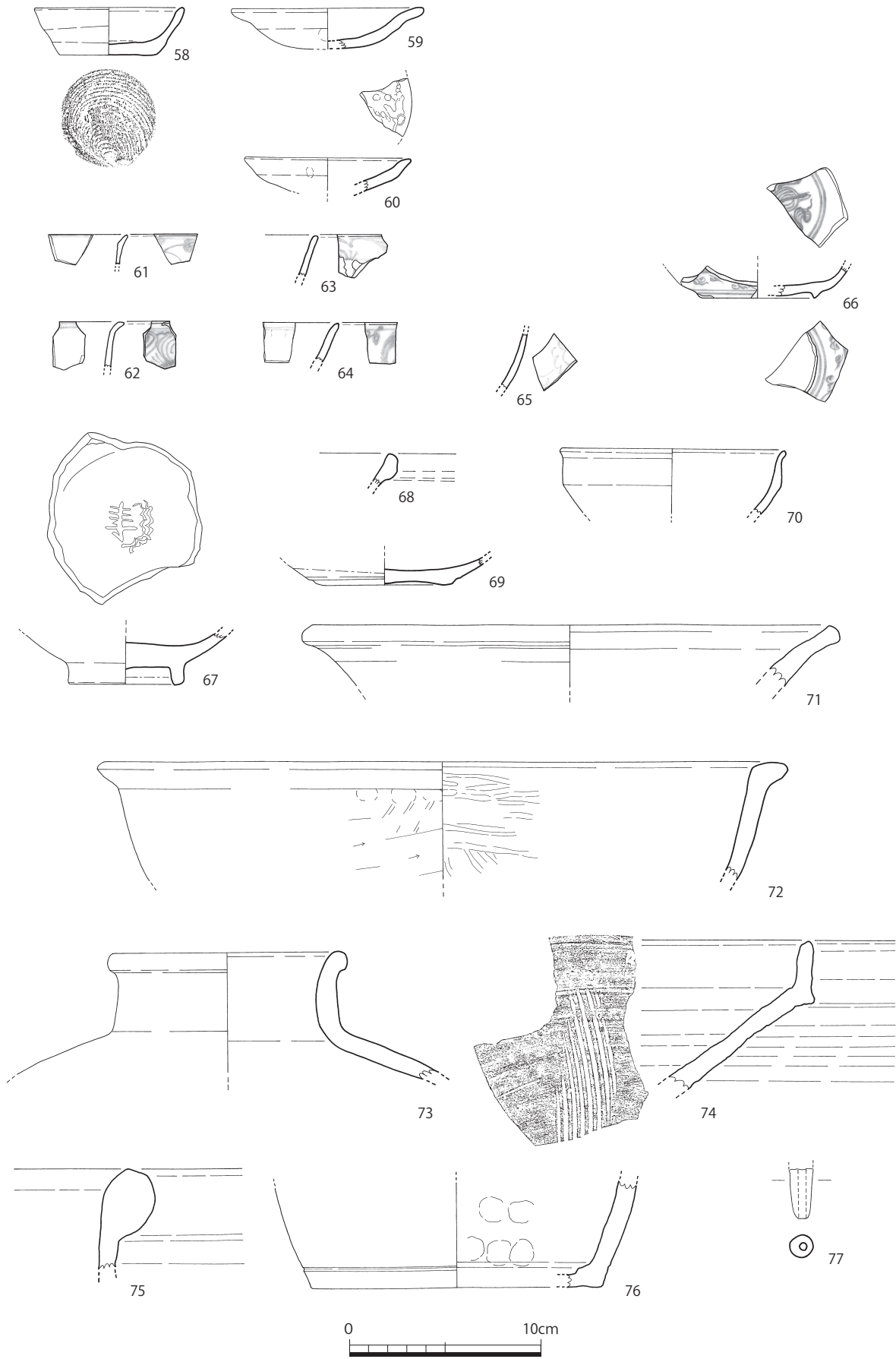


- SD023
- 1. 10YR3/2黒褐 シルト 締まり=強 粘性=やや強 白色粒・黒色粒混入
 - 2. 10YR3/3暗褐 シルト 締まり=やや強 粘性=やや強 白色粒・炭混入
 - 3. 10YR4/2灰黄褐 シルト 締まり=強 粘性=強 白色粒・黒色粒混入 やや砂質を含む
 - 4. 10YR3/2黒褐 シルト 締まり=やや強 粘性=やや強 白色僅かに混入
 - 5. 10YR2/2黒褐 シルト 締まり=やや強 粘性=強 白色粒ごく僅かに混入
 - 6. 10YR3/2黒褐 シルト 締まり=強 粘性=やや強 白色粒・黒色粒混入 砂質を含む
 - 7. 10YR3/1黒褐 シルト 締まり=強 粘性=やや強 白色粒・黒色粒混入

第217図 中世大友府内町跡第99次調査 SD023土層実測図(1/60)



第218図 中世大友府内町跡第99次調査 SD023実測図(1/150)



第219図 中世大友府内町跡第99次調査 SD023出土遺物(1/3)

SD025

SD025 (第208、220、221図)は、大きく屈曲する道路(SF024)の西側あるいは南側に位置する側溝である。

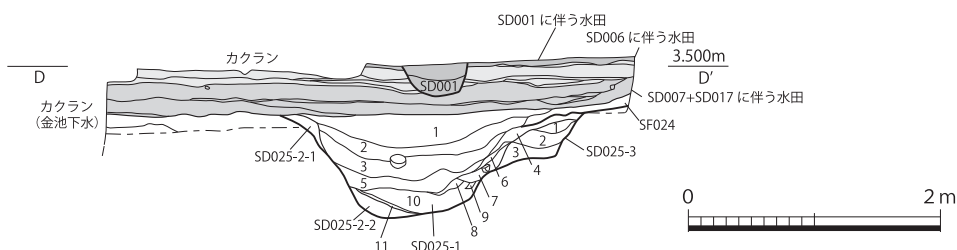
南北道路西側

道路(SF024)が南北にのびるダイウス堂西側の部分では、SD025は道路の西側に位置する。しかし、溝埋没後に、ほぼ同位置にSK026が掘り込まれており、この場所ではSD025は完全に削平されている。このSD025の東西方向のラインは現代まで引き継がれており、SD025 → SK026 → SD004 → SD002 → 現在のヒューム管と、同位置において遺構が連続と掘り込まれている。そして、明治時代以降は地籍界としてのラインにもなっている。

東西道路南側

道路(SF024)が東西にのびる部分では、SD025は道路の南側に位置する。ダイウス堂西側において、道路に沿うように南北方向から東西方向に大きく屈曲する。その屈曲部から西方へ約23mにわたりSD025を検出した。溝はほぼ直線的にのびる。反対側の側溝であるSD023が、南北方向から東西方向に屈曲した後は、溝の幅や深さが著しく減じるのに対し、SD025は調査区内においては規模を減じることなく続く。溝の断面は逆台形を呈する。溝の底は、SD023と同様に自然遺物を含む青灰色粘土層に達するため、出水が著しい。溝の規模を変えながら、数度の掘り直しが

土層①



SD025-1

1. 10YR3/2黒褐 シルト 締まり=やや強 粘性=やや強
白色粒・黒色粒・炭・焼土混入
近世の水田耕作土として、攪乱を一部受けたと思われる
2. 10YR3/3暗褐 シルト 締まり=やや強 粘性=やや強
3. 10Y3/2黒褐 シルト 締まり=強 粘性=やや強
4. 10YR4/2灰黄褐 シルト 締まり=強 粘性=やや強
白色粒・黒色粒・焼土混入
5. 10YR3/2黒褐 シルト 締まり=強 粘性=やや強 白色粒ごく僅かに混入
6. 2.54/2暗灰黄 シルト 締まり=強 粘性=やや弱
SF024の造成土の一部が入り込む
7. 10YR3/3暗褐 シルト 締まり=強 粘性=強
8. 10YR4/2灰黄褐 シルト 締まり=強 粘性=やや弱
9. 2.54/2暗灰黄 シルト 締まり=強 粘性=やや強
10. 10YR4/1褐灰 シルト 締まり=強 粘性=強い 白色粒・黒色粒混入
11. 2.54/1黄灰 締まり=強い 粘性=強

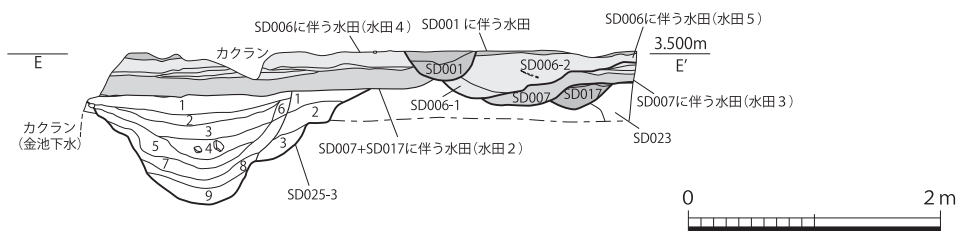
SD025-3

1. 10YR3/2黒褐 シルト 締まり=やや強 粘性=やや強 白色粒混入
上層の水田耕作の影響で上面が酸化によって赤変が見られる
2. 10YR3/3暗褐 シルト 締まり=強 粘性=やや強 白色粒・炭混入
3. 10YR2/2黒褐 シルト 締まり=強 粘性=やや強
白色粒・黒色粒混入

SD025-2

1. 10YR3/2黒褐 シルト 締まり=やや強 粘性=やや弱
白色粒僅かに混入 砂質含む
2. 10YR3/3暗褐 シルト 締まり=やや強 粘性=やや弱
白色粒僅かに混入 1と比較して砂質の含みは弱い

土層②



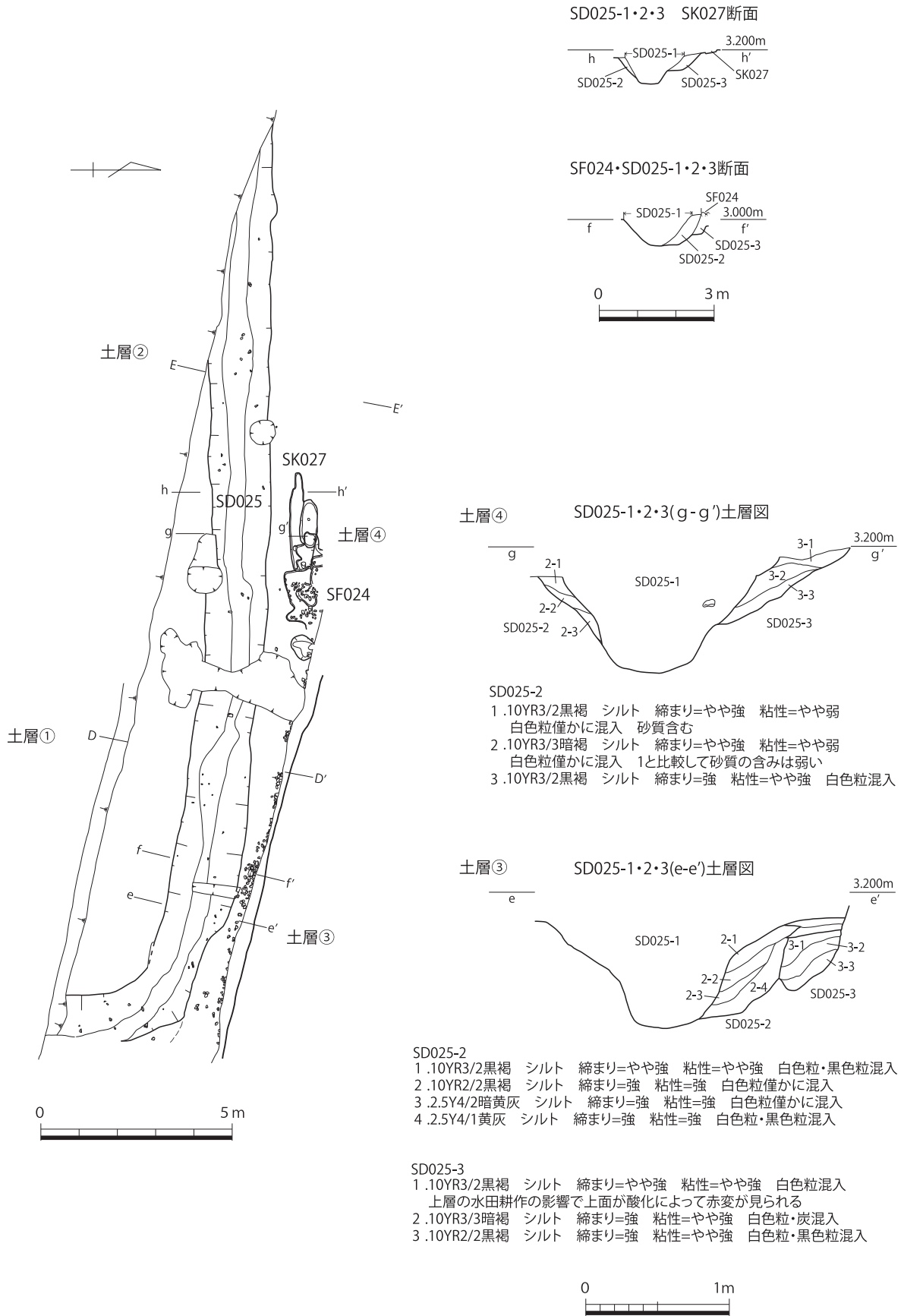
SD025-1

1. 10YR3/3 シルト 締まり=強 粘性=やや弱 白色粒・黒色粒・焼土混入
2. 10YR4/2灰黄褐 締まり=やや強 粘性=やや弱 白色粒・黒色粒混入
3. 10YR3/2黒褐 シルト 締まり=強 粘性=やや強 白色粒・黒色粒混入
4. 10YR3/1黒褐 シルト 締まり=強 粘性=やや強 白色粒・黒色粒・炭混入
大型礫有
5. 10YR3/2黒褐 シルト 締まり=強 粘性=やや強 白色粒・黒色粒・炭混入
6. 10YR3/3暗褐 シルト 締まり=やや強 粘性=やや弱 砂質を少量含む
白色粒・黒色粒混入
7. 10YR2/2黒褐 シルト 締まり=強 粘性=やや強 白色粒ごくわずかに混入
8. 10YR3/1黒褐 シルト 締まり=強 粘性=強 白色粒の混入がごくわずか
9. 10YR3/2黒褐 シルト 締まり=強 粘質=強
混入物は殆ど見られず、マンガンが斑点状に沈殿

SD025-3

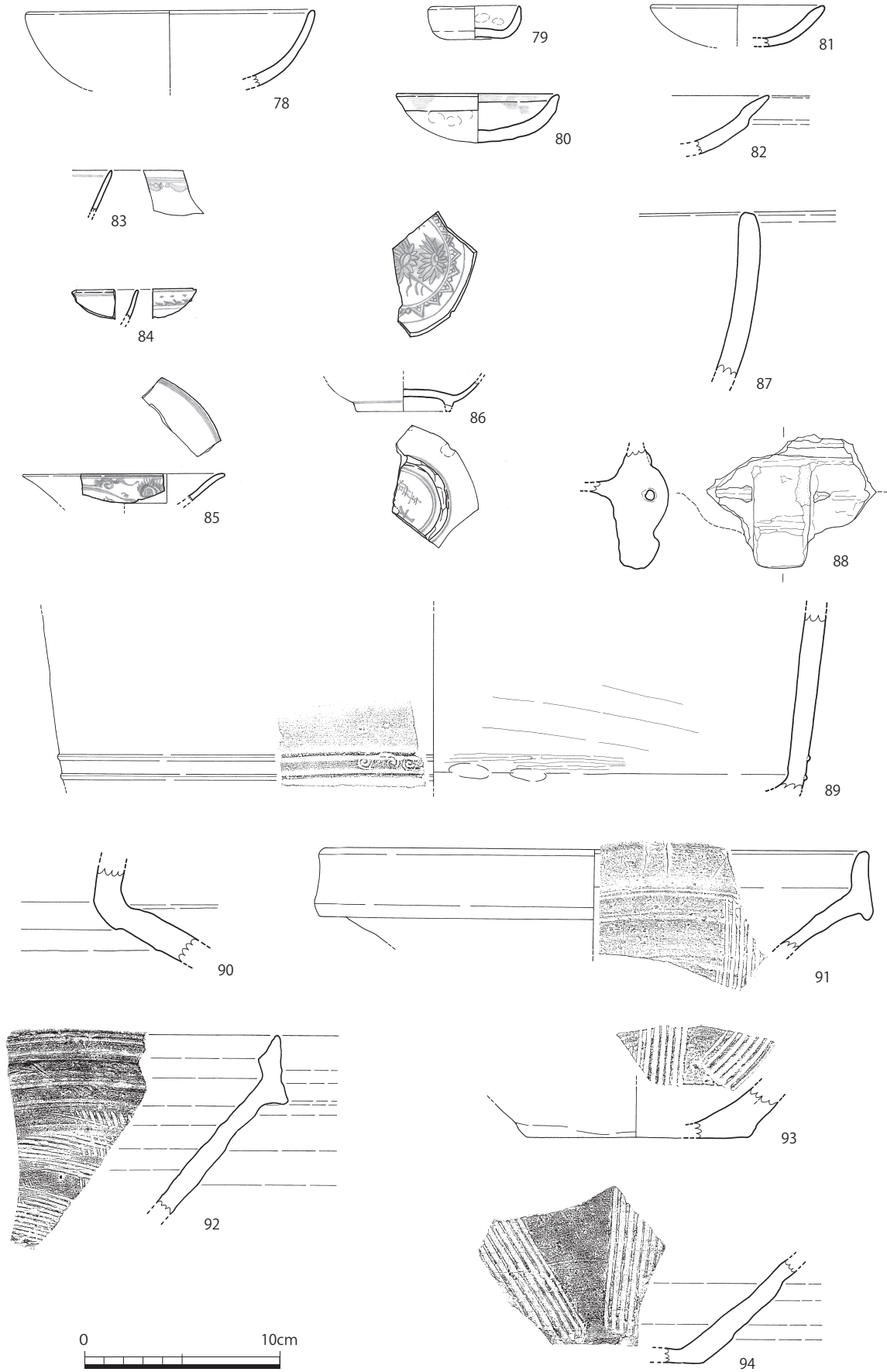
1. 10YR3/2黒褐 シルト 締まり=やや強 粘性=やや強 白色粒混入
上層の水田耕作の影響で上面が酸化によって赤変が見られる
2. 10YR3/3暗褐 シルト 締まり=強 粘性=やや強 白色粒・炭混入
3. 10YR2/2黒褐 シルト 締まり=強 粘性=やや強
白色粒・黒色粒混入

第220図 中世大友府内町跡第99次調査 SD025土層実測図(1/60)



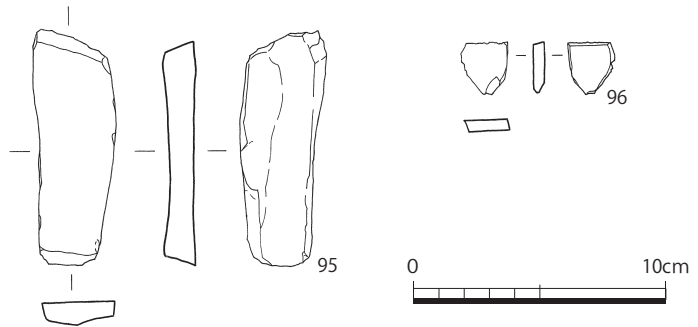
第221図 中世大友府内町跡第99次調査 SD025-1実測図(1/150・1/40)

| | |
|--------------------------|---|
| 土層① 1段階 | 認められる点はSD025同様である。土層図(第220図)で掘り直しの状況を確認する。土層①では、最低2度の掘り直しが行われていることが分かる。1段階は、道路に近い部分にのみ残存するもので、2段階以降の溝に大半は切られているため幅は不明である。しかし、深さは約0.4mと2段階以降に比べるとかなり浅かったことが分かる。2段階以降の道路面が、1段階の埋土上にみられることから、1段階は道路幅が少なくとも約0.5m狭かったと思われる。また、1段階の埋土には道路面の整地に用いた砂礫の落ち込みがみられないので、この段階には礫敷きの整地が行われていなかった可能性が考えられる。これについては、SD023の1段階埋土の観察でも同様な所見が得られている。 |
| 2段階 | 2段階は幅約1.8m、深さ約0.8mの規模になる。道路面から白色粘土層の落ち込みが確認され、礫も埋土中にみられることから、道路面は白色粘土を敷いた後に砂礫により整地されていることが分かる。しかし、埋土中にみられる礫の量は、ダイウス堂西側のSD023での量に比べるとかなり少ない。このあたりの道路面の整地作業は、ダイウス堂西側よりも手を抜いた状況であった可能性がある。3段階は、2段階の溝がある程度埋没した後に掘り込まれる。規模は幅約2m、深さ約0.75mで、2段階に比較すると深さがわずかに減じている。土層②でも1度の掘り直しを確認することができる。1段階の埋土は道路に近い部分に残存する。掘り方はやや段がつくが、深さは約0.5mと思われる。幅については、2段階以降の掘削のため不明である。土層①の1段階同様に、深さが浅く、道路幅も狭かったことが分かる。土層①で確認された2段階目の溝は、3段階の溝の掘削により残存しない。3段階は幅約1.6m、深さ約0.9mである。道路幅が広がり、1段階の溝よりも深さが増す点は、土層①の部分と同じである。ただ、埋土中からは道路面の整地に用いた砂礫が全く出土せず、この付近では砂礫による道路の整地は行われなかったと考えられる。ダイウス堂部分の側溝埋土にみられる砂礫比べ、土層①の部分では砂礫が少なくなり、土層②の部分では全く砂礫がみられなくなる状況から、SF024の砂礫層による道路面の整地は、南北方から東西方向に屈曲したのち約10mまではかろうじて行われたが、それより西方については整地が行われていなかったものと推察される。このほか土層③、土層④でもSD025の掘り直しの状況が確認できる。土層③では、溝が規模を増しながら掘り直されている。それに伴い道路面が拡張する様子が分る。 |
| 3段階 土層② 1段階 2段階 | |
| 3段階 | |
| 遺物出土状況 | 溝からの遺物は、ダイウス堂西側のSD023に比べると圧倒的に少なく、特に土層②の付近での出土は極めて少量である。これはSD023においても道路が東西方向に走る部分ではほとんど出土しなかったことと同様である。これは、ダイウス堂から離れると町外になり、施設が全く存在しないためと考えられる。 |
| 出土遺物 | 出土遺物(第222、223、224図)は、土師質土器、陶磁器、瓦質土器、備前焼、石製品、ガラス製品、銭貨がある。 |
| 土師質土器 青花 | 78～82は土師質土器である。78は口径14.4cmを測るものである。底部は欠くが、体部は内湾気味に立ちあがる。79～82は京都系土師器である。83～86は中国産青花である。83は碗である。外面口縁下に文様がみられる。文様は、輪郭を描いた後に濃みが入る。器形は饅頭心タイプのものであると思われる。84は皿で、碁笥底を呈するものであろう。85も皿である。口縁部は端反で小野正敏分類皿B1群に相当する。86は饅頭心タイプの碗である。見込みに花文が施され、外底面には「大□年造」の文字が入る。文様は、輪郭を描いた後に濃みをいれる。また、高台部は意識的に打ち欠かれている。87～89は瓦質土器である。87は鉢である。体部は内湾気味に直立し口縁部にいたる。口縁端部は丸くおさめられる。内面にはていねいなへら磨きが施されている。88は火鉢の底部に付された装飾脚部である。89は火鉢の底部ちかくである。2条の低い突帯が付され、突帯間に双頭蕨手文のスタンプ文が付される。外面には横方向のへら磨きが施される。90～94は備前焼である。90は大甕の頸部と思われる。体部から頸部が直立する。91は播鉢である。口縁部は長く直立し、 |
| 瓦質土器 | |
| 備前焼 | |



第222図 中世大友府内町跡第99次調査 SD025出土遺物(1) (1/3)

端部は丸くおさまられる。口縁部外面には凹線などはみられない。内面の摺り目は1単位6条以上である。92も播鉢口縁部である。口縁部外面にはか
るい凹線が施されており、端部は内方傾斜する。内面の摺り目は1単位12条で、斜交摺り目となっている。93は播鉢底部
である。摺り目は1単位7条である。94も播鉢底部で、1単位7条以上の摺り目がある。
95は砥石で、表裏とも磨り面として使用されている。96はガラス片である。無色透明で、器種等は不明である。97は銭貨で、北宋の1101年鑄造の「聖
宋元寶」である。

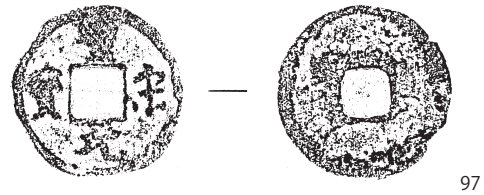


第223図 中世大友府内町跡第99次調査 SD025出土遺物(2)(1/3)

砥石

ガラス片

銭貨



第224図 中世大友府内町跡第99次調査 SD025出土遺物(3)(1/1)

時期

以上から、溝は16世紀後半～末に機能を停止したと思われる。

4 古代

遺構

遺構及び包含層を確認することができた。遺構は、中世遺構と同様にⅢ1層上面において検出することができた。遺構検出にあたっては、Ⅲ1層上面を精査するばかりでなく、Ⅲ1層を掘下げながら検出を試みた。しかし、遺構数は少なく、検出することができたのは土坑2基のみである。遺構埋土の色調がⅢ層にちかく、中世の遺構とは明らかな違いがある。

包含層

また、調査区内の一部において遺物包含層も確認した。包含層の確認作業についても調査区全体で行ったが、一部でしか確認することができなかった。

(1) 土坑

2基の土坑(SK031、SK032)を確認した(第225図)。両者は隣接して並び、部分的に切り合い関係にある。

SK031

規模

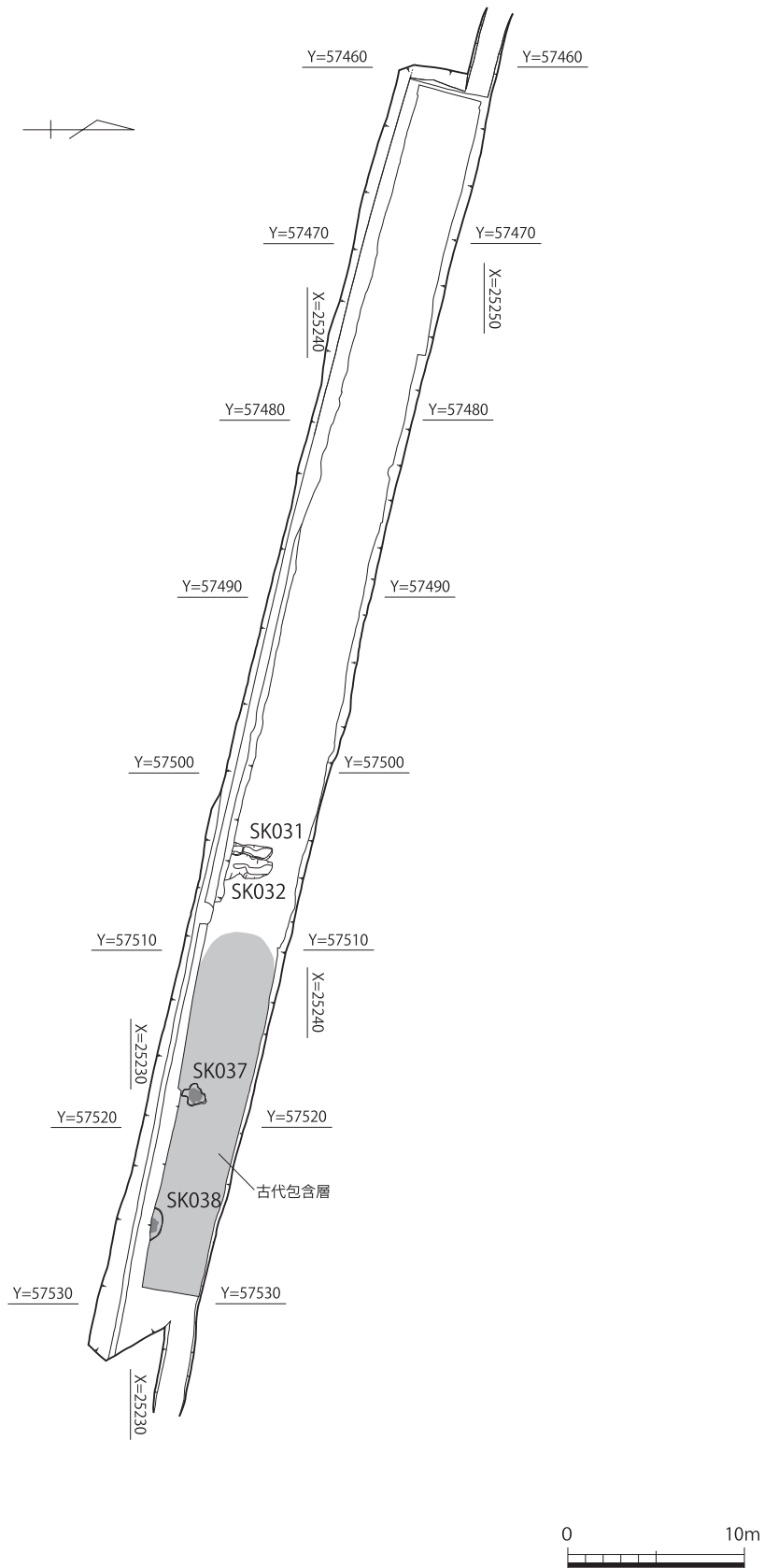
SK031(第226図)は、南北方向に長くのびる不定形気味の土坑である。しかし、南側は金池下水路の工事で壊され、北側は中世の道路側溝であるSD025により切られているため、その全容は不明である。現状での規模は、長さ2.3m、幅0.5～0.75mで、SK032に比べ幅が狭い。不定形の小土坑が切り合っている可能性も考えられるが、確認することはできなかった。

土坑内からの出土遺物は少なく、古代に位置づけられると思われる小土師器片がわずかに出土したのみである。

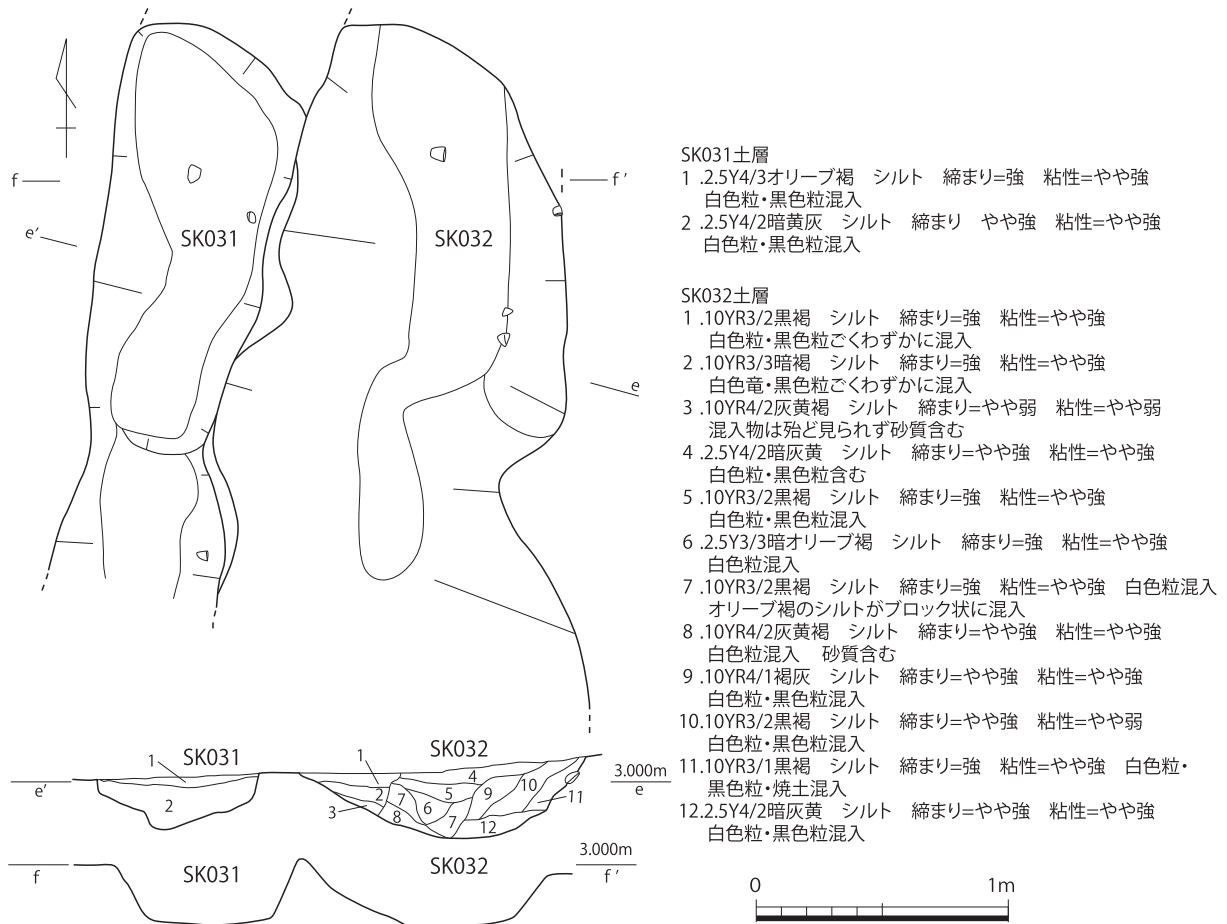
SK032

規模

SK032(第226図)はSK031の東側に位置する。SK031と同様に、南北方向に長くのびる不定形気味の土坑であるが、やはり南側は金池下水路の工事で壊され、北側は中世の道路側溝であるSD025により切られているため、その全容は不明である。その規模は、現状で長さ2.5m、幅0.7～1.4mである。



第225図 中世大友府内町跡第99次調査 古代・古墳時代遺構配置図(1/400)



第226図 中世大友府内町跡第99次調査 SK031・SK032実測図(1/30)

一部でSK031と切り合い関係にあり、それを切る。土坑は、いくつかの小土坑が重複しているものであることを土層図で確認することができる。

土坑内からの出土遺物はSK031同様に少なく、古代に位置づけられると思われる小土師器片がわずかに出土したのみである。

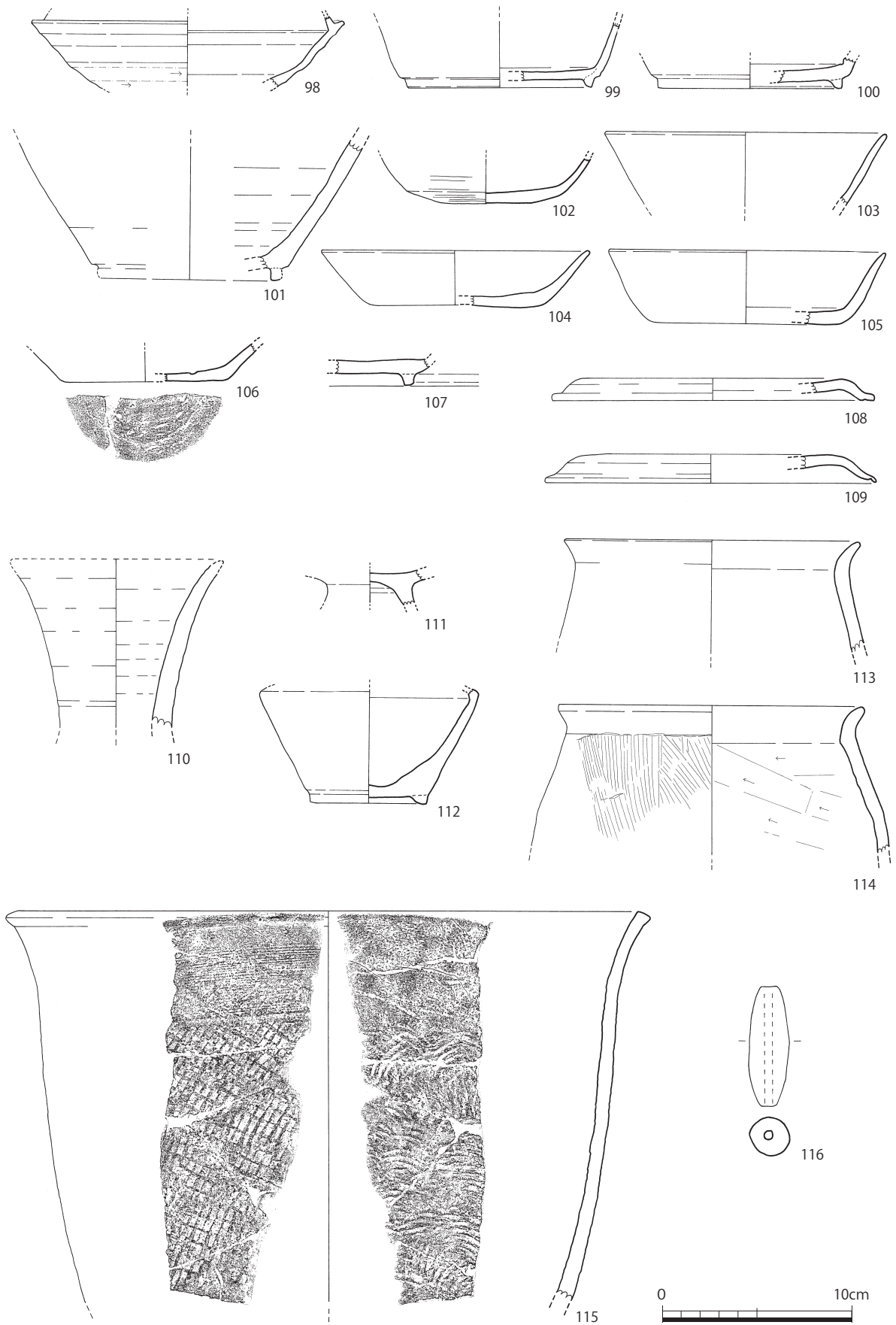
(2) 包含層

古代の遺物がⅢ1層に包含される状況は、調査区東端から約20mにわたって確認することができた(第195図, 第225図)。この部分より西側についても、包含層の確認を試みたが、極めて少量の遺物が出土したのみである。以下、Ⅲ1層出土遺物(第227図)を紹介する。

古墳時代遺物 98は古墳時代の須恵器坏身である。

古代遺物 99、100は須恵器の高台が付される坏である。両者とも底部の端に、断面方形の低い高台が付く。101は須恵器長頸壺等の底部である。底面の端に低い高台が付され、体部が斜方向に立ち上がる。102～106は無高台の土師器坏である。102は丸底気味の器形を呈するもので、外面には横方向のへら磨きがみられる。他については、顕著なへら磨きは確認できない。103は器高が高い。107は高台の付される土師器の坏で、底面の端に低い高台が付く。108、109は土師器坏蓋である。108は端部が平坦に、また109は下方に向く。110は須恵器長頸壺、111は須恵器高坏である。112は土師器壺底部で、低い高台が付く。113～115は土師器甕である。113、114は口縁部がくの字状に折れ、114は内面にへら削りが施される。115は甕で口縁部が緩やかに外反する。外面に格子目タタキ、内面に同心円タタキがみられる。116は土錘である。

時期 以上の遺物は、若干の混じりがみられるが、8世紀末～9世紀初めに主体があると思われる。



第227図 中世大友府内町跡第99次調査 III1層出土遺物(1/3)

5 古墳時代

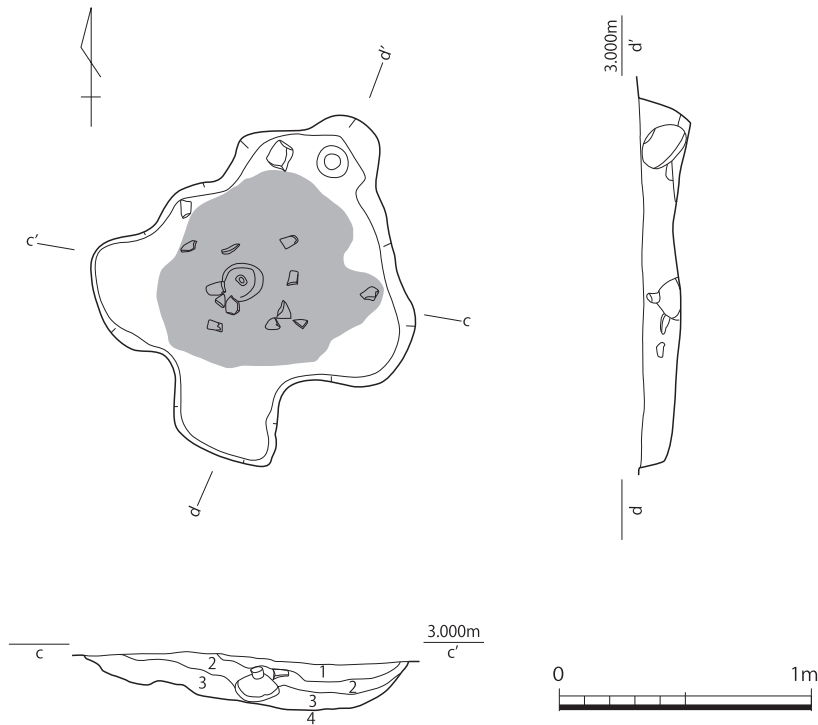
IV 1層上面において2基(SK037、SK038)の土坑を確認した(第225図)。IV 1層は東から西に向かい下がっている。2基の土坑が所在する調査区東端部は、古墳時代の微高地の西端にあたると思われ、微高地の肩から低地に向う部分では水田層を確認した。

(1) 土坑

SK037

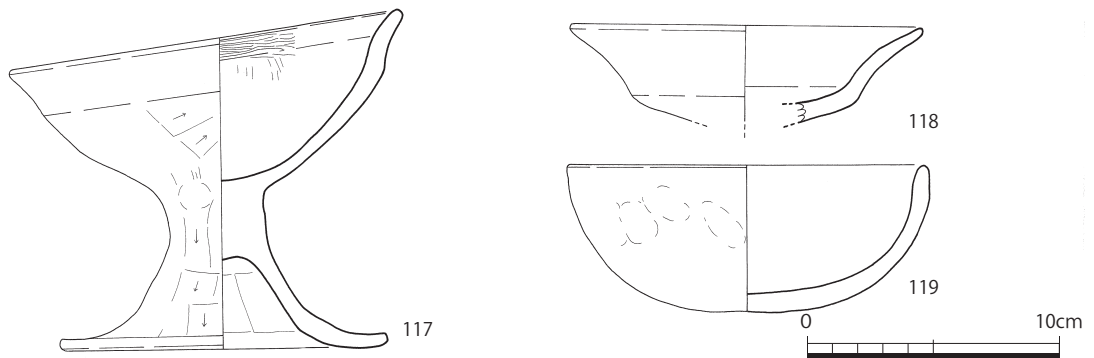
規模
焼土

SK037(第228図)は不定形を呈する土坑である。その規模は、長径約1.4m、短径約0.9m、深さ約0.2mである。土坑中央には焼土が主体となる層がレンズ状に堆積しているが、床面からは浮いている。



- 1. 10YR3/3暗褐 シルト 締まり=強 粘性=強 黒色粒・焼土混入
- 2. 10YR3/2黒褐 シルト 締まり=強 粘性=やや強 焼土塊を伴う 遺物出土
- 3. 10YR3/2黒褐 シルト 締まり=強 粘性=やや強 焼土塊を伴う
- 4. 7.5YR3/2黒褐 シルト 締まり=やや弱 粘性=弱 燃土塊と共に被熱を受けて赤変したシルトが面として広がる

第228図 中世大友府内町跡第99次調査 SK037実測図(1/30)



第229図 中世大友府内町跡第99次調査 SK037出土遺物(1/3)

遺物出土状況 土坑内からは、中央付近で土師器高坏が、北側の壁際で土師器碗が各々床面近くから出土した。

出土遺物 出土遺物(第229図)のうち、**117**と**118**は土師器高坏である。**117**は全形が分かるもので、器高は11.1～13.2cmである。坏部の口縁部付近はヨコナデが施され、やや外反する。脚は裾部に向かい大きく開く。外面には粗いヘラ削りがみられる。また、内面口縁付近にはヘラ磨きが残る。**118**は坏部の資料である。口縁部は坏部下位から大きく外反しており、**117**とは器形を異にする。**119**は、丸底を呈する土師器碗である。

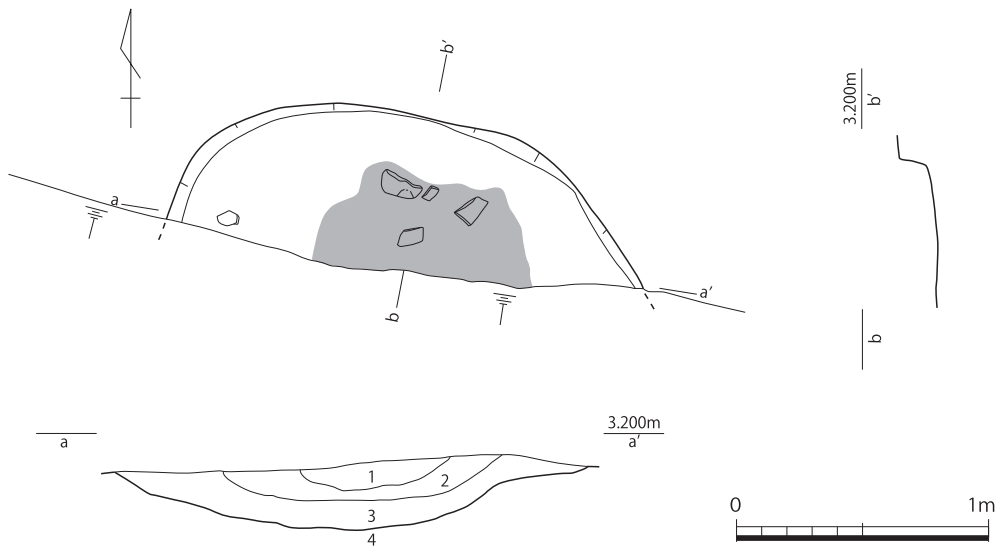
時期 出土遺物から、本土坑の時期は6世紀に比定することができる。

SK038

規模 SK038(第230図)はSK037の東方約6mに位置する。南半を金池下水路の工事で壊されているが、平面形は楕円形ないしは円形を呈するものと思われる。その規模は、径約1.9m、深さ約0.25mである。床面は平坦ではなく、断面浅いU字状を呈する。土坑中央には、SK037と同じように焼土を含む層がレンズ状に堆積している。床面からは浮いており、土坑が一定程度埋没した後に、焼土層が堆積したことが分かる。土坑内からは須恵器片などが出土したが、床面直上出土のものではなく、全て流れ込みの状況である。

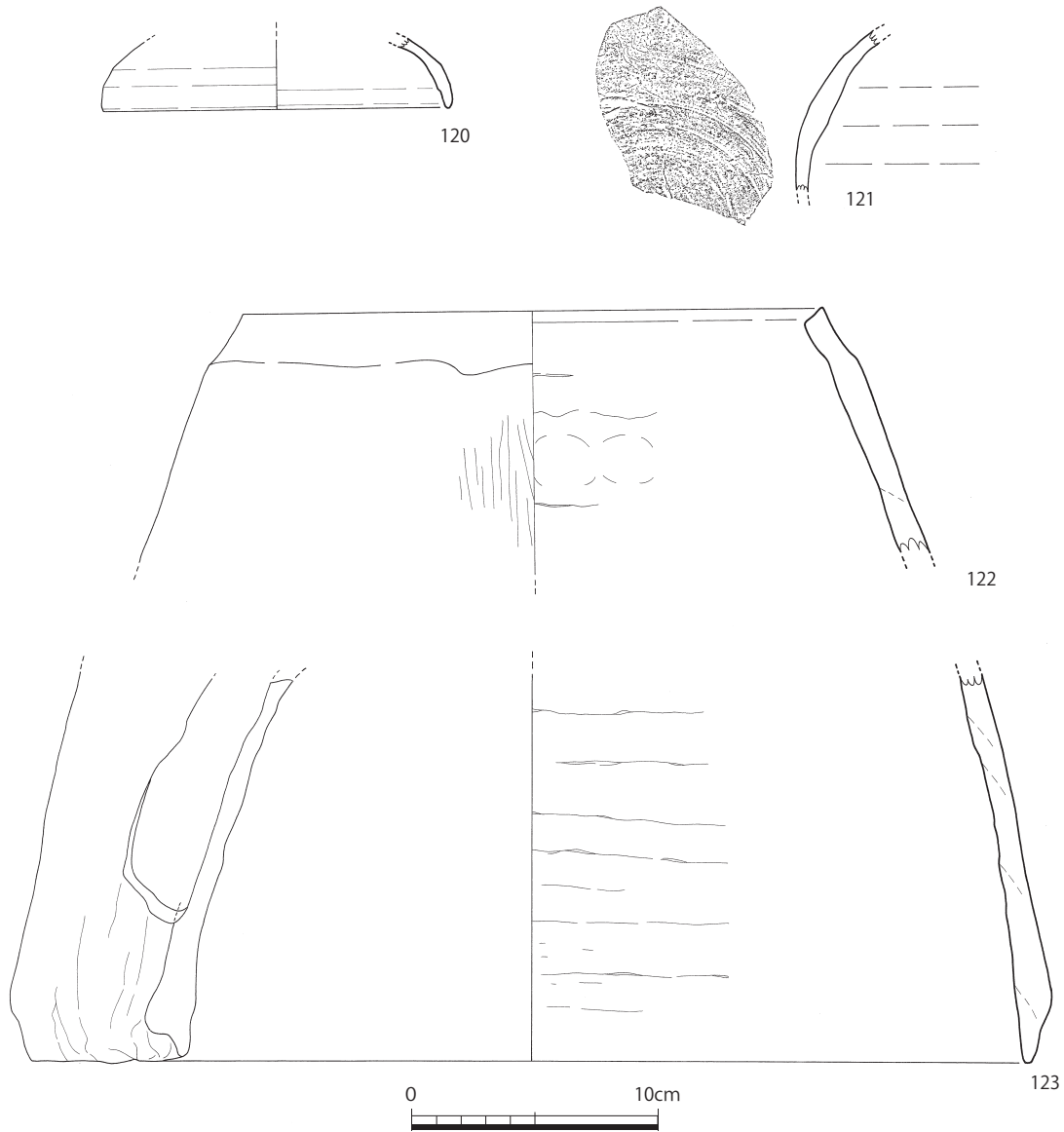
出土遺物 出土遺物(第231図)のうち、**120**は須恵器坏蓋である。復元口径14.0cmを測るもので、内外面とも回転ヨコナデが施されている。**121**は破片資料であるが、提瓶の体部と考えた。外面には同心円状に回転ヘラ削りがみられる。また、内面はヨコナデによる調整が行われている。**122**と**123**は土師器竈で、同一個体と思われる。**122**は上半部の資料で、体部は内傾しながら掛け口部分にいたる。掛け口部周辺は強いナデがはいり、体部からやや内傾し端部にいたる。端部は断面方形で、端面は内傾する。掛け口の復元口径は23.4cmである。**123**は底部資料である。体部は底部近くになり細くなり、端部は尖り気味となる。外面には縦方向のナデ調整がみられる。焚口は大きく開けられ、焚口に沿い罫が付される。底径は40.6cmを測る。

時期 出土遺物から、本土坑の時期は6世紀に比定することができる。



- 1. 10YR3/3暗褐 シルト 締まり=やや強 粘性=やや弱 白色粒混入
- 2. 10YR3/2黒褐 シルト 締まり=やや強 粘性=やや弱 焼土がブロック状に混入
- 3. 10YR3/2黒褐 シルト 締まり=やや弱 粘性=やや弱 焼土の一部と砂質を多く含む
- 4. 2.5Y4/2暗灰黄 シルト 締まり=強 粘性=やや強 白色粒わずかに混入

第230図 中世大友府内町跡第99次調査 SK038実測図(1/30)



第231図 中世大友府内町跡第99次調査 SK038出土遺物(1/3)

(2) 水田

古墳時代の遺構を検出した面(Ⅳ1層)は、西に向かい落ちる。西方に低地部が広がると思われるが、Ⅳ1層にのるように水田層(Ⅲ2～Ⅲ5層)を確認した(第195図)。

時期

水田層は微高地の肩に始まり、低地に向い2枚確認できるが、面的な広がり等は不明である。なお、この水田層は、8世紀末から9世紀初の土器が包含されるⅢ1層に覆われる。よって、水田層の時期は、古墳時代から古代の間に形成されたものと思われる。

6 その他の遺物

弥生時代

ここでは、他時代の遺構などから混入のかたちで出土した遺物(第232～234図)を紹介する。

古代

124は弥生時代中期の下城式甕である。磨滅が著しいが、口縁下に1条の刻目突帯が付されている。

125～132は古代の土器である。125は須恵器杯蓋である。126～128は土師器杯の口縁部資料である。126は内外面にヘラ磨きが施される。128は126、127に比べ体部が直線的で、器高が高いか。129～131は土師器杯の底部資料である。このうち129、131は高台が付かないもので、129の内

外面にはヘラ磨きが見られる。また、131の外底面にはヘラ切り痕が残る。130は断面三角形の高台が付くもので、内面にはヘラ磨きが施される。132は土師器甕である。口縁部は、緩やかに短く外反する。体部外面には縦方向のハケ目がみられる。また、内面は口縁付近に横方向のハケ目が、

京都系土師器

肥前磁器

中国産青花

中国産白磁

中国産青磁

華南三彩

翡翠釉

瀬戸美濃系

備前焼

瓦

土人形、弾

133、134は京都系土師器である。134の口縁部にはスス状の付着物がみられる。

135、136、138は肥前磁器染付である。135は碗で、136、138は皿である。

137、139は中国産青花である。137は基筒底を呈する皿である。139は、つば皿と呼ばれるもので、口縁部が体部から斜方向に折れる。

140、141は中国産白磁である。140は口縁部が玉縁状を呈する碗で、外面下半は露胎である。141は皿である。低い高台が削り出され、体部が斜方向にのびる。見込みと外面底部周辺が露胎である。

142は中国産青磁碗である。外面にヘラ描きの細連弁文が見られる。

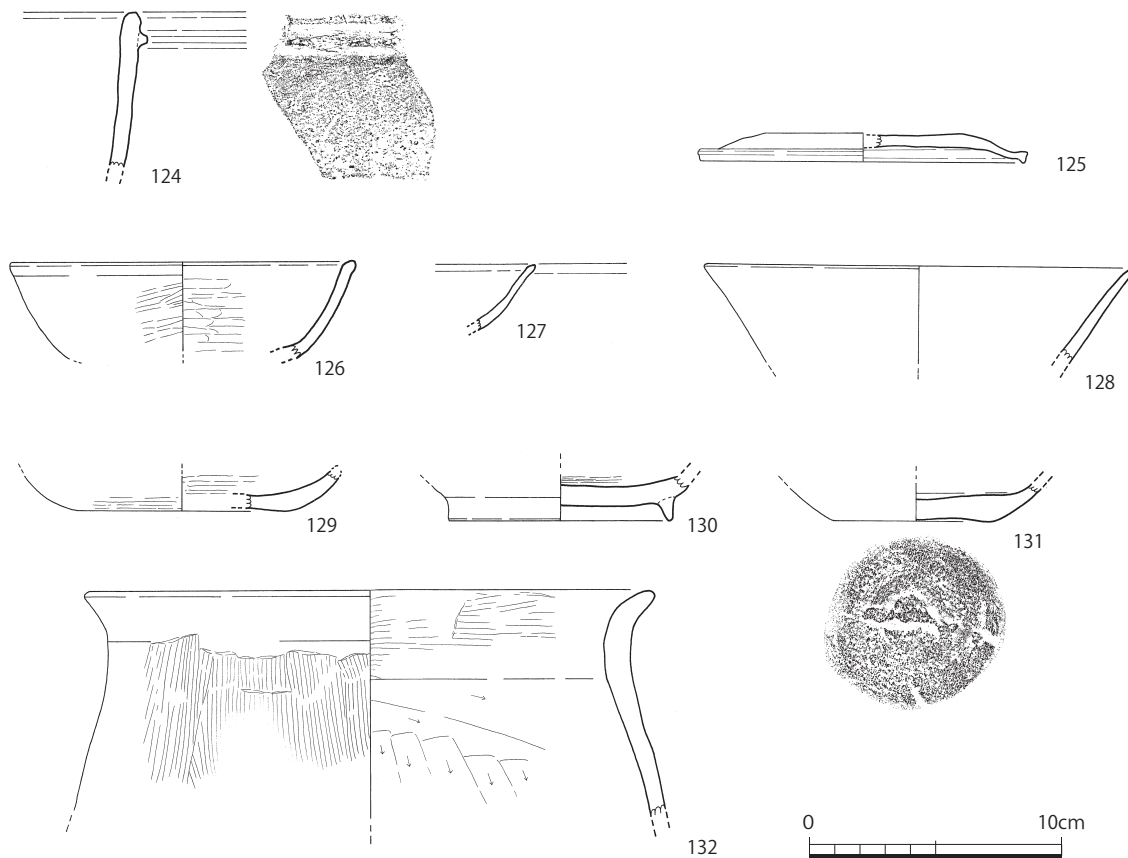
143は中国産華南三彩である。破片資料のため全容は不明であるが、表面には黄色と緑色の彩色が明瞭に残る。144は中国産翡翠釉の皿である。

145、146は瀬戸美濃系の天目茶碗である。

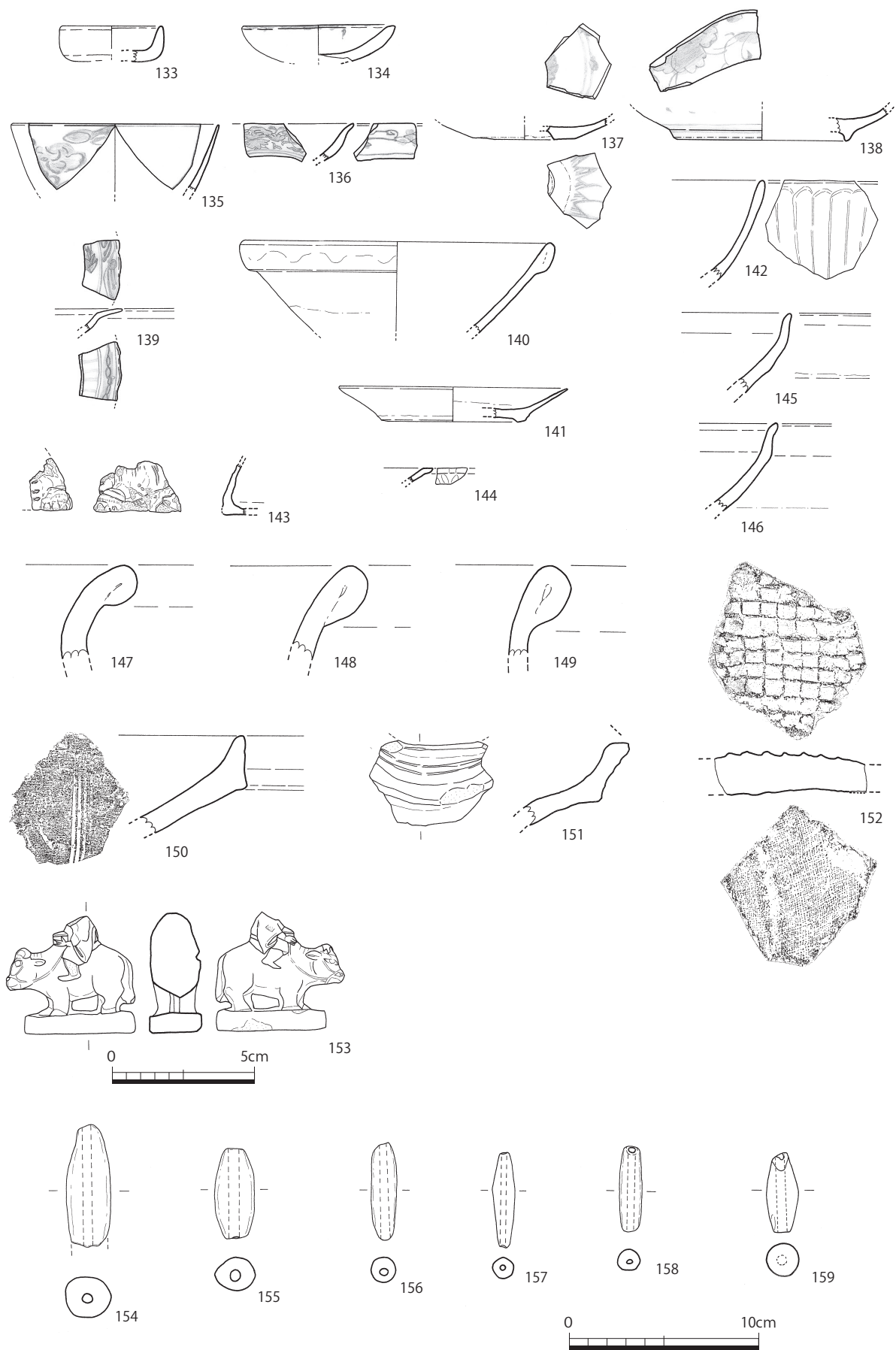
147～151は備前焼である。147～149は甕で、いずれも口縁部が玉縁状を呈するが、あまり垂下せず球状をなす。150、151は播鉢である。150は口縁部が上方に引き上げられ、断面三角形状を呈する。内面の摺り目は1単位4条である。151は口縁部が発達したもので、外面に凹線が見られる。

152は古代の瓦で、外面に格子目タタキが見られる。

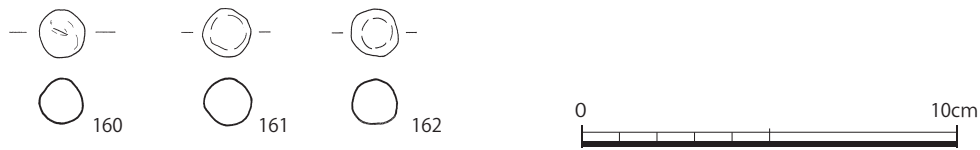
153は、牛に人物が乗る土人形である。154～159は土錘である。160～162が鉄砲の弾である。



第232図 中世大友府内町跡第99次調査 その他の遺物(1) (1/3)



第233図 中世大友府内町跡第99次調査 その他の遺物(2) (1/3,153のみ1/2)



第234図 中世大友府内町跡第99次調査 その他の遺物(3) (1/2)

第4節 小結

1 道路遺構について

今回検出した道路遺構 (SF024) は両側に側溝 (SD023、SD025) を有するもので、最終段階は砂礫により路面の整地が行われている。側溝出土遺物から、少なくとも 16 世紀末頃までは側溝を有する道路として機能しており、中世大友府内町跡第 10 次調査 (註 1) で検出した道路遺構 (SF151) の延伸部にあたると思われる。この道路は府内町内の大友氏館と御蔵場の間を通る東西道路の延長で、第 1～第 4 南北街路にほぼ直交していると考えられる。町内における方位は、概ね東西方向である。しかし、第 4 南北街路を過ぎ西に向かうと大きく北に振れ、方位は N50° W となる。99 次調査区内においては、一旦南北方向に走った後、大きく屈曲し再び東西方向に伸びる。すなわち、道路はダイウス堂推定地 (註 2) の南西コーナーに沿うように屈曲した後に、再び折れ曲がり西方に方向を転じている (第 235 図②)。ダイウス堂推定地は府内町の西端にあたり、これより西側では町屋等の遺構は確認できない。見方を変えれば、99 次調査区は町内への入口部分にあたる。『府内古図』A 類には、町から西方に出る道路が 3 本描かれている。古図では、いずれの道も屈曲は表現されていない。しかし実際は、町外から入る場合、一度ダイウス堂に突き当たり南に折れた後に再び東に折れるという 2 度屈曲する経路を通ることになる。直線的に町内に入ることについて、地形的な面等において特段の制約があるとは思われないことから、防御機能を念頭においた意識的な設計であった可能性も考えられる。しかし、10 次・99 次調査区内において道路上に木戸等の施設はみられないことから、道路の屈曲と一体となった防禦施設が構築されていたわけではないようである。

ダイウス堂推定地

『府内古図』

屈曲

防御機能

地籍界線

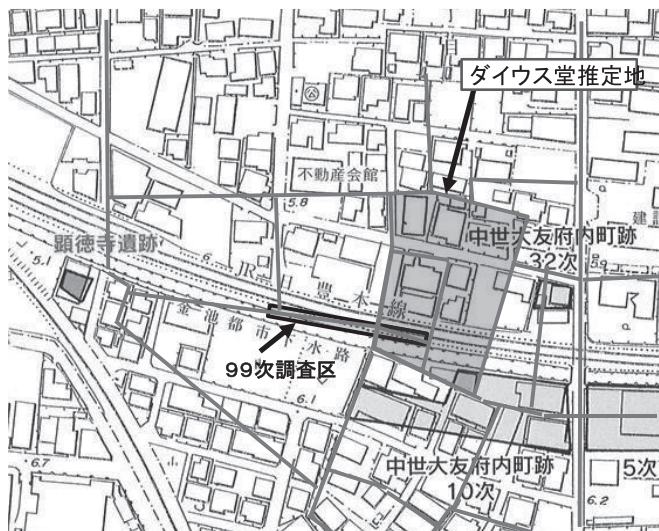
顕徳寺遺跡

側溝の延長

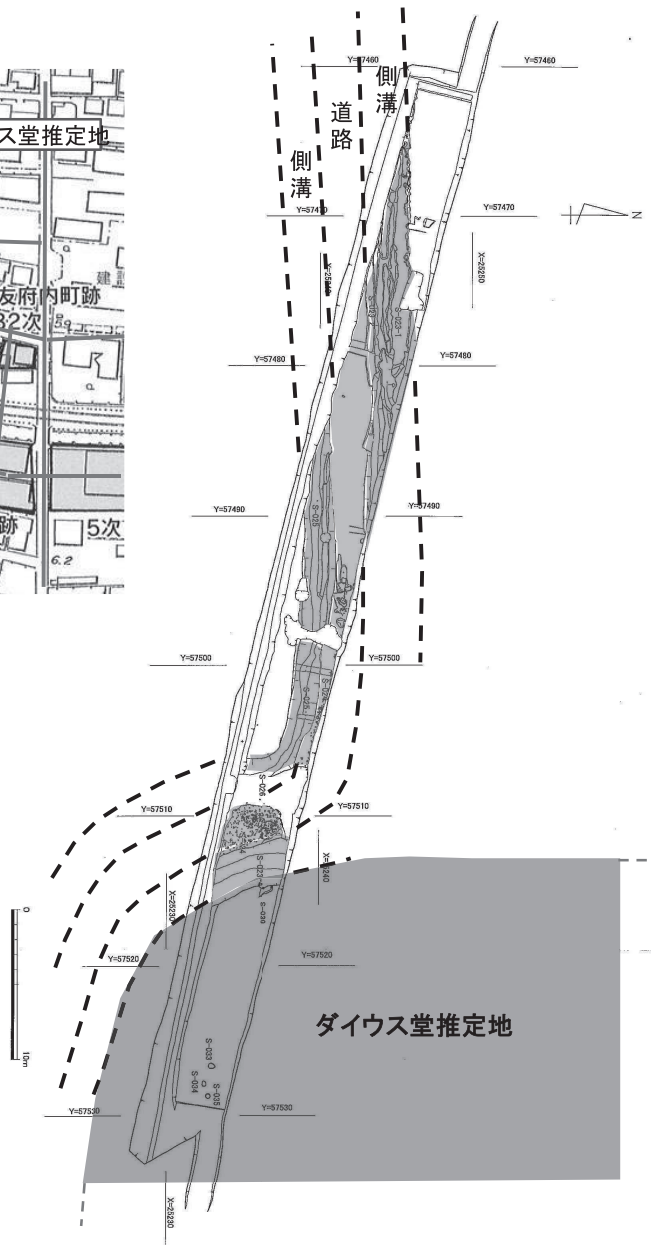
10 次調査区の道路は近代の地籍界線とほぼ一致する。99 次調査区の道路についても、近世になり水田用排水路の機能をはたしたと考えられる SD006、SD007、SD017 などの溝が継続的に掘られ、近代にはこれが地籍界となっている。10 次調査区、99 次調査区の中世の道路ラインは、近世の溝などを経て正確に近代まで引き継がれていることが分かる。99 次調査区の道路ラインを引き継ぐ地籍界線は、さらに西方に向かい直線的に伸びる。この直線ラインは、99 次調査区から約 60 m 続いており、町外に出ても直線の道路が続いていたことが推測される。また、99 次調査区の西約 80 m の顕徳寺遺跡 (註 3) では、16 世紀後半の東西方向の溝がある。道路跡と一致するであろう地籍界線は顕徳寺遺跡まで続いていないが、概ねその延長線上に位置する (第 235 図①③)。溝は幅 2.4 m、深さ 1 m 以上の断面逆台形を呈するもので、16 世紀後半に位置づけられている。調査区の北端で確認されているため道路遺構の存在は不明であるが、形状や規模に近いことから 99 次調査区で確認した道路の南側側溝の延長である可能性が高い。その場合、側溝を有する直線道路が町外まで整備されていたことになり、町内部のみならず、町外においても道路整備が行われていたことが推測される。

2 ダイウス堂推定地について

ダイウス堂は『府内古図』にも描かれており、その位置は第 4 南北街路の西側で、府内町の西端にあたる。文書資料によれば (註 4)、天文 22 年 (1553) にガゴ司祭が大友義鎮 (のちの宗麟)

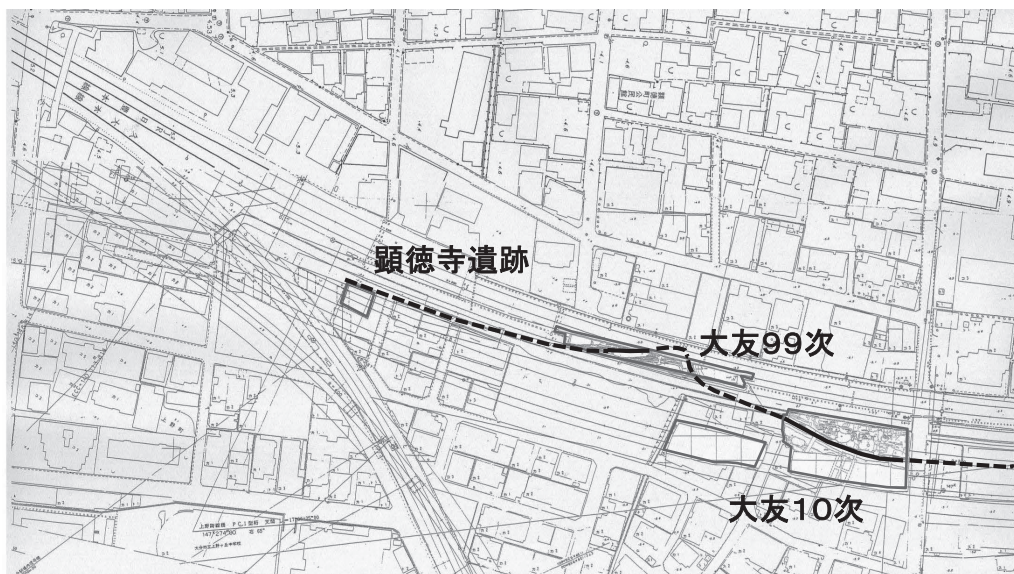


①中世大友府内町跡第99次調査区周辺の地籍界



②ダイウス堂推定地と屈曲する道路遺構

③町外へ続く道路遺構



第235図 中世大友府内町跡第99次調査区周辺の地籍界と道路遺構

から布教の許可とともに、教会等を建設する地所を与えられている。その後、義鎮の許可を得て隣接の地所を購入し施設の拡大が図られ、弘治2年(1566)に落成式が行われる。ダイウス堂の位置は、地籍図や地形をもとに推定が行われている(大分市 1987)が、推定地東南側の10次調査区でキリシタン墓地の存在が明らかになったことから、ダイウス堂の範囲は当初の想定よりも東に拡大するものと考えられる。今回の99次調査は、ダイウス堂の西限と内部の状況の確認を行う目的もあった。

道路側溝

前述したように、現在推定されているダイウス堂の南西コーナー部に沿うように道路が屈曲し、しばらく南北方向に走ることから、ダイウス堂の西限ラインは現在復元されている通りであろう。10次調査区の成果と併せると、ダイウス堂の南辺から西辺の一部は、ダイウス堂と道路の間にある道路側溝が、敷地を明確に画する施設の役割を担っていたようである。溝はダイウス堂の西側で、幅2.6～2.8m、深さ0.8～1.2mあり、道路規模に比し溝の規模が大きい。道路がダイウス堂の西から再び屈曲し町外へ向け東西方向に走る部分は、ダイウス堂を画していた側溝の延長部に当たるが、その幅、深さとも大きく規模を減じ、ダイウス堂西辺の溝との格差は明瞭である。このことから、ダイウス堂南辺と西辺の道路側溝がダイウス堂の区画を意識していたことは明らかであろう。この時に問題となるのが、99次調査区の北側に続くダイウス堂西限の状況である。道路は西に転じているが、区画の溝がそのまま、北に続くのか今後の課題となろう。ダイウス堂内部側の区画施設については、柵列などと考えられる遺構は全く確認されていない。近世の水田造成などのため痕跡は全く残っていないが、溝の掘削土を利用し、溝に沿うように土塁が築かれていたことも考えられる。

土塁

土地利用状況

ダイウス堂内部の土地利用状況について、99次調査の着手前は、10次調査区で検出したようなキリシタン墓が整然と並ぶ可能性も想定されていた。しかし、キリシタン墓のみならず遺構は全く確認することができなかった。99次調査区は狭小のため、ダイウス堂南西隅部を全て調査したわけではない。そのため、ダイウス堂内部の墓地空間が10次調査区周辺に限られていたのか、墓地空間として確保されていたが偶然埋葬が及んでいなかったただけなのか、その判断は難しい。今後の調査に期したい。

3 府内町外の状況について

遺物出土量少

『府内古図』によれば、ダイウス堂は府内町の西端に位置する。よって、99次調査で確認した道路屈曲部がダイウス堂西限であれば、それより西側は町外ということになる。調査区内では道路遺構とそれに伴う側溝が大半を占めることから、厳密に言えば町外の様子は不明である。しかし、遺物の出土状況をみると、まず99次調査区全体の遺物出土量が他の府内町域の調査区に比べ圧倒的に少ない。そのなかで、遺物の多くはダイウス堂周辺の道路側溝などから出土しており、町外を西進する道路側溝からの遺物出土は極めて少ない。このことから、西進する道路周辺は日常的な居住や生活が行われる場所ではなかったと想定される。また、水田の存在について調査区内で確認できた部分は少ないが、道路と道路側溝が機能していた段階には全く認められない。以上から、ダイウス堂西側の町外は、基本的に町屋等の日常居住施設はなかったようである。加えて、水田も道路近くにはみられない。草地の中を、側溝を有する道路が延びるだけの状況であったと思われる。

註

1 田中裕介ほか編『豊後府内』6大分県教育庁埋蔵文化財センター調査報告書第15集
大分県教育庁埋蔵文化財センター 2007

2 『大分市史』大分市 1987

3 後藤晃一「顕徳寺遺跡」『上野町遺跡・顕徳寺遺跡』大分県文化財調査報告第164輯 大分県教育委員会 2004

4 当時の宣教師などの書簡による。

第5章 中世大友府内町跡から出土した動物遺存体

丸山真史（奈良文化財研究所・客員研究員）

1. 概要

大友府内町跡では、これまでも多数の動物遺存体が出土している。万寿寺や称名寺跡地の堀から出土した資料では、食生活や南蛮貿易によってもたらされた可能性があるブタについてなど、大友府内町における動物利用の一端が明らかになっている（丸山ほか 2008、丸山ほか 2013 など）。

今回、報告する動物遺存体は、第96次調査、第99次調査の遺構および遺物包含層から出土しており、すべて発掘調査中に目視で取り上げたものである。資料は破片数にして228点にのぼり、そのうち種類や部位などを同定したものが135点を数える（表1）。その内訳は、貝類257点以上、魚類60点、鳥類2点、哺乳類73点である⁽¹⁾。これらの中には、被熱して変色を呈するものや、解体や調理の痕跡が見られるものが含まれている。なお、動物遺存体が出土した遺構とその時期の一覧を表2に示す。

資料228点

(同定135点)
貝類257点以上
魚類60点
鳥類2点
哺乳類73点

表1 動物遺存体の種名表

| | |
|--|---|
| <p>軟体動物門 Mullusca</p> <p>腹足綱 Gastropoda</p> <p>古腹足目 Vetigastropoda</p> <p>ミミガイ科 Haliotidae</p> <p>アワビ属の一種 <i>Haliotis</i> sp.</p> <p>ニシキウズガイ科 Trochidae</p> <p>イシダタミ <i>Monodonta labio</i></p> <p>キサゴ類 <i>Umbonium</i> sp.</p> <p>サザエ科 Turbinidae</p> <p>サザエ <i>Turbo cornutus</i></p> <p>盤足目 Discopoda</p> <p>ウミナナ科 Batillariidae</p> <p>ウミナナ科の一種</p> <p>Potamididae gen. et sp. indet.</p> <p>スズメガイ科 Hipponicidae</p> <p>キクスズメ <i>Sabia conica</i></p> <p>新腹足目 Neogastropoda</p> <p>アッキガイ科 Muricidae</p> <p>イボニシ <i>Thais clavigera</i></p> <p>アカニシ <i>Rapana thomasiana</i></p> <p>ムシロガイ科 Nassariidae</p> <p>ムシロガイ科の一種</p> <p>Nassariidae gen. et sp. indet.</p> <p>二枚貝綱 Bivalvia</p> <p>カキ目 Ostreoida</p> <p>マルスダレガイ目 Veneroida</p> <p>マルスダレガイ科 Veneridae</p> <p>ハマグリ <i>Meretrix lusoria</i></p> <p>アサリ <i>Tapes japonica</i></p> <p>バカガイ科 Mactridae</p> <p>シオフキ <i>Mactra veneriformis</i></p> | <p>脊椎動物門 Vertebrata</p> <p>硬骨魚綱 Osteichthyes</p> <p>ボラ目 Mugiliformes</p> <p>ボラ科 Mugilidae</p> <p>ボラ科の一種 Mugilidae gen. et sp. indet</p> <p>スズキ目 Percidae</p> <p>スズキ科 Percichthyidae</p> <p>スズキ属の一種 <i>Lateolabrax</i> sp.</p> <p>アジ科 Carangiae</p> <p>ブリ属の一種 <i>Seriola</i> sp.</p> <p>タイ科 Sparidae</p> <p>クロダイ属の一種 <i>Acanthopagrus</i> sp.</p> <p>マダイ <i>Pagrus major</i></p> <p>タイ科の一種 Sparidae gen. et sp. indet.</p> <p>サバ科 Scombridae</p> <p>サバ属 <i>Scomber</i> sp.</p> <p>カツオ <i>Katsuwonus pelamis</i></p> <p>マグロ属の一種 <i>Thunnus</i> sp.</p> <p>鳥綱 Aves</p> <p>カモ目 Anseriformes</p> <p>カモ科 Anatidae</p> <p>カモ亜科 Anatinae</p> <p>カモ亜科の一種 Anatinae gen. et sp. indet</p> <p>哺乳綱 Mammalia</p> <p>奇蹄目 Perissodactyla</p> <p>ウマ科 Equidae</p> <p>ウマ <i>Equus caballus</i></p> <p>偶蹄目 Artiodactyla</p> <p>ウシ科 Bovidae</p> <p>ウシ <i>Bos Taurus</i></p> <p>イノシシ科 Suidae</p> <p>イノシシ/ブタ <i>Sus scrofa</i></p> <p>シカ科 Cervidae</p> <p>シカ <i>Cervus nippon</i></p> |
|--|---|

表2 動物遺存体が出土した遺構の時期

| 調査 | 時期 | 遺構名 | 掲載頁 |
|------------|---------------|-------|-----|
| 96次 | 14世紀後葉 | SD119 | 127 |
| | | SD220 | 132 |
| | 15世紀 | SD590 | 122 |
| | | SK297 | 27 |
| | 15世紀末葉～16世紀前葉 | SK300 | 27 |
| | | SK049 | 108 |
| | | SK218 | 117 |
| | | SF070 | 84 |
| | 15世紀末葉～16世紀 | SK202 | 114 |
| | 16世紀前葉～中葉 | SK241 | — |
| | | SX310 | 49 |
| | | SD360 | 47 |
| | | SK145 | 108 |
| | 16世紀後葉～末葉 | SK183 | 109 |
| | | SK214 | 117 |
| | | SK369 | 31 |
| | | SK529 | 26 |
| | | SE359 | 44 |
| | | SX081 | 86 |
| | 16世紀末葉～17世紀初頭 | SK005 | 90 |
| 不明 | S280 | — | |
| 江戸時代（18世紀） | SD235 | 45 | |

| 調査 | 時期 | 遺構名 | 掲載頁 |
|-----|-----------|---------|-----|
| 99次 | 16世紀後半 | SD023 | 177 |
| | | SD023-1 | 177 |
| | | SD023-2 | 177 |
| | | SD023-3 | 177 |
| | | SD023-4 | 177 |
| | | SD023-9 | 177 |
| | | SF024 | 174 |
| | | SD025 | 181 |
| | | SD025-1 | 181 |
| | | SD025-2 | 181 |
| | SD025-2-3 | 181 | |
| | SD025-2-8 | 181 | |
| | SD025-3 | 181 | |
| | SK040 | — | |
| | 16世紀末葉～近世 | SX008 | 173 |
| | 近世 | SK003 | — |
| | | SK026 | 170 |
| 古墳 | SK037 | 189 | |

2. 種類別の特徴

貝類

a) 貝類 (表3)

アワビ類 96次SK145から小片が多数出土しているが、個体数の算定は困難である。

イシダタミ 96次SK145から1点出土している。

キサゴ類 キサゴあるいはイボキサゴである。96次SK145から、28,360.5gが出土している。

サザエ 96次SK145から71点（うち蓋12点）が出土している。いずれも殻高7～10cmの一般的な大きさであり、棘は発達していない。

ウミニナ科 本科はウミニナ、ホソウミニナ、ヘナタリなどを含む。96次SK145から83点が出土している。

キクスズメ 96次SK145から1点出土している。

イボニシ 96次SK145から1点出土している。

アカニシ 96次SX081、SK183、SK529から1点ずつ、計3点が出土している。いずれも殻幅10cm以上の大きな個体である。

ムシロガイ科 96次SK145から28点が出土している。

ハマグリ 96次SK145から147点（左79右68）が出土している。いずれも殻高3～5cmで、それ以上の大きな個体は見られない。

アサリ 96次SK145から2点（左1右1）が出土している。

シオフキ 96次SK145から2点（右）が出土している。

表3 貝類集計表

| 調査 | 時期 | 遺構名 | 小分類 | 左 | 右 | - | 計 | |
|-----|-----------|-------|--------|------|----|--------|-----|---|
| 96次 | 16世紀後葉～末葉 | SK145 | SK081 | アカニシ | | | 1 | 1 |
| | | | アワビ類 | | | ○ | | |
| | | | イシダタミ | | | 1 | 1 | |
| | | | キサゴ類 | | | ○ | | |
| | | | サザエ | | | 59(12) | 71 | |
| | | | ウミニナ科 | | | 83 | 1 | |
| | | | キクスズメ | | | 1 | 1 | |
| | | | イボニシ | | | 1 | 1 | |
| | | | ムシロガイ科 | | | 28 | 28 | |
| | | | ハマグリ | 79 | 68 | | 147 | |
| | | | アサリ | 1 | 1 | | 2 | |
| | | | シオフキ | | 2 | | 2 | |
| | | | SK183 | アカニシ | | | 1 | 1 |
| | | SK529 | キサゴ類 | | | ○ | | |
| | | | アカニシ | | | 1 | 1 | |

(○)は蓋の数

表4 魚類集計表

| 調査 | 時期 | 遺構名 | 小分類 | 部位 | 左 | 右 | 一 | 計 | | |
|-----|---------------|-------|-------|------|---|---|---|---|---|---|
| 96次 | 15世紀末葉～16世紀前葉 | SK297 | マダイ | 上後頭骨 | | | 1 | 1 | | |
| | | SK300 | タイ科 | 椎骨 | | | 2 | 2 | | |
| | 16世紀前葉～中葉 | SX310 | ブリ属 | 椎骨 | | | | 1 | 1 | |
| | | | | 角骨 | | | 1 | 1 | | |
| | | | マダイ | 方骨 | | 1 | | 1 | | |
| | | | 口蓋骨 | | 1 | | 1 | | | |
| | | | タイ科 | 椎骨 | | | | 3 | 3 | |
| | 不明 | 椎骨 | | | | | 2 | 2 | | |
| | | | | 鱭棘 | | | | 1 | 1 | |
| | 16世紀後葉～末葉 | SK145 | ボラ科 | 椎骨 | | | | 4 | 4 | |
| | | | ブリ属 | 椎骨 | | | | 5 | 5 | |
| | | | | 主鰓蓋骨 | 1 | | | | 1 | |
| | | | クロダイ属 | 主上顎骨 | | | 1 | | | 1 |
| | | | | 歯骨 | 1 | | | | | 1 |
| | | | | 角骨 | 1 | | | | | 1 |
| | | | マダイ | 上後頭骨 | | | | | 2 | 2 |
| | | | | 主上顎骨 | 2 | | 1 | | | 3 |
| | | | | 前上顎骨 | 1 | | 2 | | | 3 |
| | | | | 歯骨 | | | 1 | | | 1 |
| | | | | 口蓋骨 | | | | 1 | | 1 |
| タイ科 | | | 椎骨 | | | | | 7 | 7 | |
| | 歯骨 | 1 | | | | | 1 | | | |
| | 口蓋骨 | 1 | | | | | 1 | | | |
| | 舌顎骨 | 1 | | | | | 1 | | | |
| | 下鰓蓋骨 | 1 | | | | | 1 | | | |
| サバ属 | 椎骨 | | | | | 3 | 3 | | | |
| カツオ | 椎骨 | | | | | 9 | 9 | | | |
| | 舌顎骨 | 1 | | | | | 1 | | | |
| 不明 | 椎骨 | | | | | 6 | 6 | | | |
| | 後側頭骨 | | | | | 1 | 1 | | | |
| | | | 鱗 | | | | 1 | | | |
| | | SK214 | カツオ | 椎骨 | | | 1 | 1 | | |
| 99次 | 16世紀後半 | SD023 | マグロ属 | 椎骨 | | | 1 | 1 | | |
| | 近世? | 遺物包含層 | マグロ属 | 椎骨 | | | 1 | 1 | | |

魚類

b) 魚類 (表4)

ボラ科 96次SK145から椎骨4点が出土しており、体長20～30cmと推定される。

ブリ属 96次SX310から椎骨1点が出土しており、被熱して白色を呈する。大きさは体長70～80cmと推定される。96次SK145から椎骨5点、主鰓蓋骨(左)1点、計6点が出土している。大きさは、椎骨のうち2点は体長70～80cm、それ以外の椎骨は30～40cm、主鰓蓋骨は50～60cmと推定される。

クロダイ属 96次SK145から主上顎骨(右)、歯骨(左)、角骨(左)が1点ずつ、計3点が出土している。これらのうち歯骨と角骨は同一個体である。大きさは、体長20cm程度と推定される。

マダイ 99次SK297から上後頭骨1点が出土しており、被熱して白色を呈する。96次SX310から角骨(左右不明)、方骨(右)、口蓋骨(右)が1点ずつ、計3点が出土しており、いずれも被熱して白色を呈する。96次SK145から主上顎骨(左2右1)と前上顎骨(左1右2)が3点ずつ、上後頭骨2点、歯骨、口蓋骨が1点ずつ、計10点が出土している。上後頭骨のうち1点は、右側部が切断されている。体長30～40cmが大部分を占め、50～60cmと推定される大きな個体も含まれる。

タイ科 96次SK300から椎骨2点が出土しており、いずれも被熱して白色を呈する。96次SK310から椎骨3点が出土しており、いずれも被熱して白色を呈する。96次SK145から椎骨7点、歯骨(左)、舌顎骨(左)、口蓋骨(左)、下鰓蓋骨(左)が1点ずつ、計11点が出土している。いずれも体長20cm以上であり、30～40cmと推定されるものが多い。

サバ属 96次SK145から椎骨3点が出土しており、大きさは体長20～30cmと推定される。

カツオ 96次SK145から椎骨9点、舌顎骨(左)1点、計10点が出土している。大きさは体長40～50cmと推定される。96次SK214から椎骨1点が出土しており、被熱して白色を呈する。体長20cm程度の小型個体である。

マグロ属 99次SD023から椎骨1点が出土している。99次近世と思われる遺物包含層から椎骨が1点出土している。いずれも体長100cmを越える大きな個体である。

鳥類

c) 鳥類

カモ科 96次SK145からカモ科の胸骨と鳥口骨(左)が1点ずつ、計2点が出土している。いずれも、マガモに相当する大きさである。

哺乳類

d) 哺乳類(表6)

ウマ 96次SF070から遊離歯(上顎臼歯・左)1点が出土している。99次SD023から遊離歯(切歯、下顎臼歯)2点が出土している。99次SD023-1から遊離歯15点が出土しており、これらは同一個体の下顎切歯(I1～I3・右)3点、下顎臼歯(P2～M3・左右)12点である。臼歯の咬耗状況から生後4～6年、臼歯列長はトカラ馬、宮古馬などの小型馬に相当する(表5)。99次SD023-2から遊離歯(下顎臼歯・左)1点が出土している。99次SD023-3から遊離歯(臼歯)1点が出土している。99次SD023-4から遊離歯(切歯:左1右1、下顎P2:右1)3点が出土している。99次SD023-9から遊離歯(下顎臼歯)1点が出土している。99次SF024から遊離歯10点が出土しており、これらのうち3点は同一個体の上顎臼歯(M1～M3・左)であり、咬耗状況から生後11～12年と推定される。上顎臼歯以外は切歯1点、下顎臼歯1点、上顎臼歯5点である。99次SD025から遊離歯(切歯、上顎臼歯)2点が出土している。99次SD025-3-8から遊離歯(下顎臼歯)1点が出土している。99次SD025から遊離歯(下顎臼歯)4点が出土している。99次SD025-1から遊離歯(切歯、臼歯、上顎臼歯)9点が出土している。99次SD026から遊離歯(上顎臼歯・右)1点が出土している。99次16世紀の遺物包含層から遊離歯(上顎臼歯・左2、下顎臼歯1)3点が出土している。99次近世の水田耕作土から遊離歯(切歯1、臼歯2、上顎臼歯1、下顎臼歯3)7点が出土している。99次SX008から遊離歯(臼歯)2点が出土している。

ウシ 99次SD040から遊離歯(上顎臼歯)1点が出土している。96次SD529から橈骨(右)と大腿骨(右)が1点ずつ、計2点が出土している。99次SD025-2から遊離歯(下顎M3・左)が1点出土しており、咬耗状況から若齢と推定される。99次SD020から遊離歯(上顎臼歯・左)1点が出土している。

イノシシ/ブタ 96次SD590から中手骨あるいは中足骨が1点出土しており、被熱して白色を呈する。96次SX310から指骨(中節骨)が1点出土しており、被熱して青灰色を呈する。96次SK145から大腿骨(左)と中足骨(左)が1点ずつ、計2点が出土している。大腿骨の両骨端は癒合しておらず、遠位部には、多数の切傷が見られる。また、中足骨の遠位端は癒合していない。

多数の切傷

シカ 96次SD220から上腕骨(右)1点が出土している。96次SK049から枝角が1点出土しており、自然に頭蓋骨から脱落した落角である。

表5 99次ウマ臼歯計測表(単位はmm)

| SD023-1 | | | | | | | | | | | | |
|---------|-------|------|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|-------|
| | 左 | | | | | | 右 | | | | | |
| | M3 | M2 | M1 | P4 | P3 | P2 | P2 | P3 | P4 | M1 | M2 | M3 |
| 歯冠長 | 25.6 | 24.2 | 23.4 | 25.6 | 25.4 | 28 | 28.9 | 25.4 | 26.1 | 24.5 | 23.7 | 25.1+ |
| 歯冠幅 | 9.3 | 12.1 | 12.6 | 13.7 | 25 | 14.3 | 13.9 | 15.2 | 13.7 | 11.6 | 12.8 | 9.9 |
| 歯冠高 | | | | | 57.9 | 45.6 | 43.9 | 56.7 | | | | |
| 臼歯列長 | 71.5 | | | 78.4 | | | 79.4 | | | 69.9 | | |
| | 150.3 | | | | | | 148.8 | | | | | |

+は見込み値。

表6 哺乳類集計表

| 調査 | 時期 | 遺構名 | 小分類 | 部位 | 左 | 右 | － | 計 |
|-------|---------------|-----------|---------|---------|---|---|---|----|
| 96次 | 14世紀後葉 | SD119 | 不明 | 四肢骨? | | | 1 | 1 |
| | | SD220 | シカ | 上腕骨 | | 1 | | 1 |
| | 15世紀 | SD590 | イノシシ/ブタ | 中手骨/中足骨 | | | 1 | 1 |
| | | SF070 | ウマ | 遊離歯 | 1 | | | 1 |
| | 15世紀末葉～16世紀 | | 不明 | 四肢骨 | | | 1 | 1 |
| | | | | 四肢骨? | | | 1 | 1 |
| | 15世紀末葉～16世紀前葉 | SK049 | シカ | 枝角 | | | 1 | 1 |
| | | KS218 | 不明 | 不明 | | | 1 | 1 |
| | 16世紀前葉～中葉 | SK241 | シカ? | 枝角? | | | 1 | 1 |
| | | SK310 | イノシシ/ブタ | 指骨 | | | 1 | 1 |
| | | | 不明 | 不明 | | | 2 | 2 |
| | 16世紀後葉～末葉 | SK145 | イノシシ/ブタ | 大腿骨 | 1 | | | 1 |
| | | | | 中足骨 | 1 | | | 1 |
| | | SK529 | ウシ | 橈骨 | | 1 | | 1 |
| | | | | 大腿骨 | | 1 | | 1 |
| | | SK202 | ウシ | 遊離歯 | 1 | | | 1 |
| | | SE359 | 不明 | 肋骨 | | | 1 | 1 |
| | | SK369 | ウシ/ウマ? | 不明 | | | 1 | 1 |
| | 16世紀末葉～17世紀初頭 | SK005 | 不明 | 不明 | | | 1 | 1 |
| | | | 不明 | 肋骨 | | | 1 | 1 |
| 不明 | | | 不明 | | | 1 | 1 | |
| ウシ/ウマ | | | 椎骨 | | | 3 | 3 | |
| 不明 | SK280 | 不明 | 不明 | | | 1 | 1 | |
| 99次 | 16世紀後半 | SD023 | ウマ | 遊離歯 | | | 2 | 2 |
| | | SD023-1 | ウマ | 遊離歯 | 6 | 9 | | 15 |
| | | SD023-2 | ウマ | 遊離歯 | 1 | | | 1 |
| | | SD023-3 | ウマ | 遊離歯 | | | 1 | 1 |
| | | | 不明 | 遊離歯 | | | 1 | 1 |
| | | SD023-4 | ウマ | 遊離歯 | 1 | 2 | | 3 |
| | | SD023-9 | ウマ | 遊離歯 | | | 1 | 1 |
| | | SF024 | ウシ/ウマ | 遊離歯 | | | 2 | 2 |
| | | | ウマ | 遊離歯 | 5 | 4 | 1 | 10 |
| | | SD025 | ウマ | 遊離歯 | | 2 | 2 | 4 |
| | | SD025 | ウシ/ウマ | 遊離歯 | | | 1 | 1 |
| | | | ウマ | 遊離歯 | | | 2 | 2 |
| | | SD025-1 | ウマ | 遊離歯 | 2 | | 7 | 9 |
| | | | 不明 | 不明 | | | 1 | 1 |
| | | SD025-1 | ウシ/ウマ | 遊離歯 | | | 1 | 1 |
| | | SD025-2 | ウシ | 遊離歯 | 1 | | | 1 |
| | | SD025-2-3 | 不明 | 不明 | | | 1 | 1 |
| | | SD025-2-8 | ウマ | 遊離歯 | | | 1 | 1 |
| | | SD025-3 | ウシ/ウマ | 遊離歯 | | | 1 | 1 |
| | | SK040 | ウシ | 遊離歯 | | | 1 | 1 |
| | ウシ/ウマ | | 遊離歯 | | | 1 | 1 | |
| | 遺物包含層 | ウマ | 遊離歯 | 2 | | 1 | 3 | |
| | | 不明 | 不明 | | | 4 | 4 | |
| | 16世紀末葉～近世 | SX008 | ウマ | 遊離歯 | | 1 | 1 | 2 |
| | 近世 | SK026 | ウマ | 遊離歯 | | 1 | | 1 |
| | | 遺物包含層 | ウシ/ウマ | 遊離歯 | | | 1 | 1 |
| | | | ウマ | 遊離歯 | 1 | 3 | 3 | 7 |
| | | | 不明 | 不明 | | | 3 | 3 |
| | | | 遊離歯 | | | 1 | 1 | |
| | 近世? | 遺物包含層 | ウシ | 遊離歯 | | 1 | | 1 |
| | | | 脛骨 | | 1 | | 1 | |
| ウシ/ウマ | | | 脛骨 | | | 1 | 1 | |
| ウマ | | | 遊離歯 | 1 | 4 | | 5 | |
| | | 不明 | 不明 | | | 2 | 2 | |
| | | 肋骨 | | | 1 | 1 | | |

3. 府内町の町屋における食生活

96次土坑
SK145

第96次、第99次調査において動物遺存体が出土した主要な遺構は、町屋の裏手のゴミ穴（96次土坑SK145）、道路およびその側溝（99次SD023・SF024・SD025）である。そのうち、一定の出土量がある土坑SK145が注目される。16世紀末葉の土器類とともに大量の貝類、魚類、鳥類、哺乳類が出土している。このゴミ穴から出土した動物遺存体は、食用となる種類が大部分を占め、大友府内町の町民層の食生活を示す一括資料である。海産の魚貝類が大部分を占め、鳥獣類は少量に留まり、魚貝食が盛んであったと考えられる。

キサゴ類
23,360.5g
約63,623個体

貝類はいずれも鹹水性であり、内湾の砂底・泥底・岩礁性群集で大部分が構成されている⁽²⁾。これら大部分の貝種が、近隣の大分川下流域から別府湾にかけての範囲で採取されたと考えられる。貝類の最大の特徴は、キサゴ類が総量28,360.5gという膨大な出土量を示していることである。任意に抽出した100点の重量が44.9gを量り、1点あたり0.45gと仮定すると、約63,623個体と推定される。これまで大友府内町跡で報告されているキサゴ類では、第80次調査のSD101から出土した2150個体が最多であったが、これを大幅に上回る大量の出土である。1個体の肉量が少なく、献立の一品というよりも、つまみもの、汁物の出汁、佃煮などのような料理に利用されたのであろう。短期間で大量に廃棄されたことを想定でき、加工品にした可能性が高い。キサゴ類に続いて出土量が多いものは、商品価値の高いハマグリやサザエである。最小個体数にして、それぞれ79個体、59個体と算定され、一度の消費量としては多いため、数度の食事による消費、宴会による消費、加工品の製造などが考えられる。前述のキサゴ類の他にウミニナ科、イボニシ、インダタミなどの磯ものが出土しているが、食用として一般的に市場流通していたかどうか定かではない。キクスズメ・ムシロガイ科は食用にならず、食用種に混じって捕獲されたものと考えられる。大友城下町跡の貝類を分析した池田研は、大部分の貝種が近隣の大分川下流域と別府湾内で採取可能であり、商品価値の低い貝種や混獲された非食用種が一定量含まれることを考慮すれば、遺跡近郊の漁場と水揚げ地から複雑な流通経路を経ずに、消費＝廃棄された可能性が高いと評価している（池田2012）。

マダイ
切断痕
「兜割」

3分割

魚類は、マダイとクロダイ属を含むタイ科が最も多く出土している。マダイの上部頭骨の側面には切断痕がみられ、「兜割」されたと考えられる。「兜割」は、現代ではあら炊きや汁物で、骨に含まれるうま味、すなわち出汁を利用した調理に用いられる。遺跡から出土するマダイの「兜割」には、2分割と3分割の2つの方法が見られ、3分割は現代の料理には用いられない方法で、「潮煮」に利用された可能性が指摘されている（岡嶋2004）。当資料も中央より右側で切断されており、3分割したのと考えられる。クロダイ属は、マダイと比べて出土量が少なく、赤いマダイの方が好まれた可能性がある。中世以降、西日本の遺跡ではマダイなどの赤いタイがクロダイ属などの黒いタイよりも優占的であるという（久保1997）。タイ科のほかに、ボラ科、ブリ属、サバ属、カツオが出土している。これらは、同時期の大阪城下町跡では一般的に出土する魚種であるが、当遺跡でカツオの比率がやや高いことが特徴的である。カツオは、マグロ属やシイラなどと同様に外洋性回遊魚であり、黒潮に沿って季節移動する。これまで当遺跡第43次、第51次調査の万寿寺の堀、第11次、第72次、第88次調査の称名寺跡の堀からマグロ属やシイラが出土している。出土した魚骨の全量が少ないため即断はできないが、今回のカツオの出土を考え合わせ、大友府内町では外洋性回遊魚の消費が一般的であったと思われる。

カツオ
外洋性
回遊魚

イノシシある
いはブタ

哺乳類はイノシシあるいはブタが2点出土しているに留まるが、町屋でも獣肉食が行われたのであろう。第34次、第43次、第51次調査の万寿寺の堀には、近郊で生じた生ゴミが投棄されており、魚貝類が少なく、イノシシやシカなどの獣類が多いという内容であった（丸山ほか2008、丸山真史ほか2013）。町屋の敷地内のゴミ穴には魚貝類などの嵩張らない生ゴミを、大きな獣骨は敷地外の堀に投棄していることがわかる。

4. まとめ

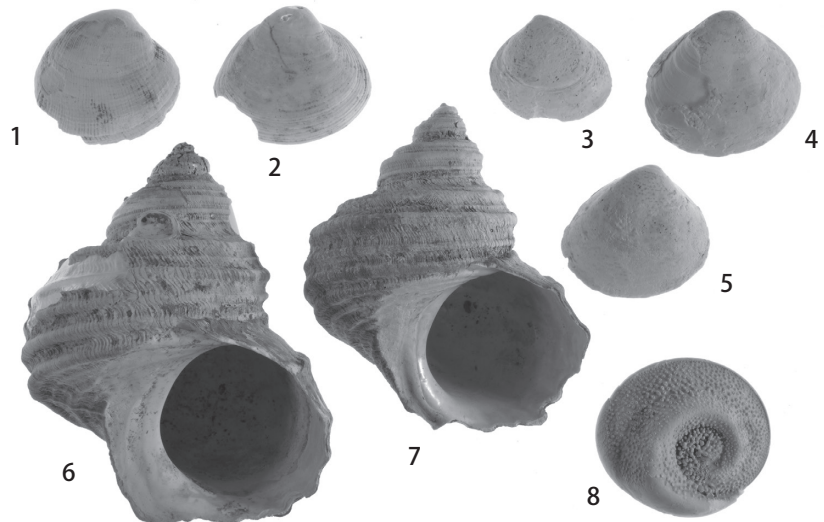
第96次、第99次調査では貝類、魚類、鳥類、哺乳類が出土しており、貝類のなかでもキサゴ類が大量に出土している。町屋の裏手に位置するゴミ穴の土坑SK145から出土した動物遺存体は、大友城下町における町人層の食生活を示す資料として貴重である。貝類は、一度の食事の消費量としては多いため、それらを消費した場（どのような場面で消費されたのか）やゴミ穴の使用期間について今後の検討が必要である。貝類と比べると魚類は少なく、それらの骨の腐朽が早いことや、イヌなどの食害により、実際の廃棄量を反映していない可能性がある。しかし、マダイなどのタイ科が多く、貝類のサザエやハマグリなど商品価値の高い魚貝類を消費できる富裕な食生活が想定される。共伴する遺物の内容を考え合わせれば、これらの食料残滓の位置づけも具体化するであろう。大友城下町跡では、多数の動物遺存体が出土しており、遺構や地点によってそれぞれの特徴が見られ、都市における動物利用の多様性が窺える。今後も発掘調査では、廃棄土坑の埋土のフルイを用いた水洗選別などを実施することで、さらに詳細な魚食文化の復元も可能になるであろう。

都市における
動物利用の
多様性

註（1）貝類は破片数、個体数の計数、算定が困難なものがあり、最小の破片数を記載し、動物遺存体の総数には含めていない。
（2）生息域の分類は、松島義章（1984）に倣う。

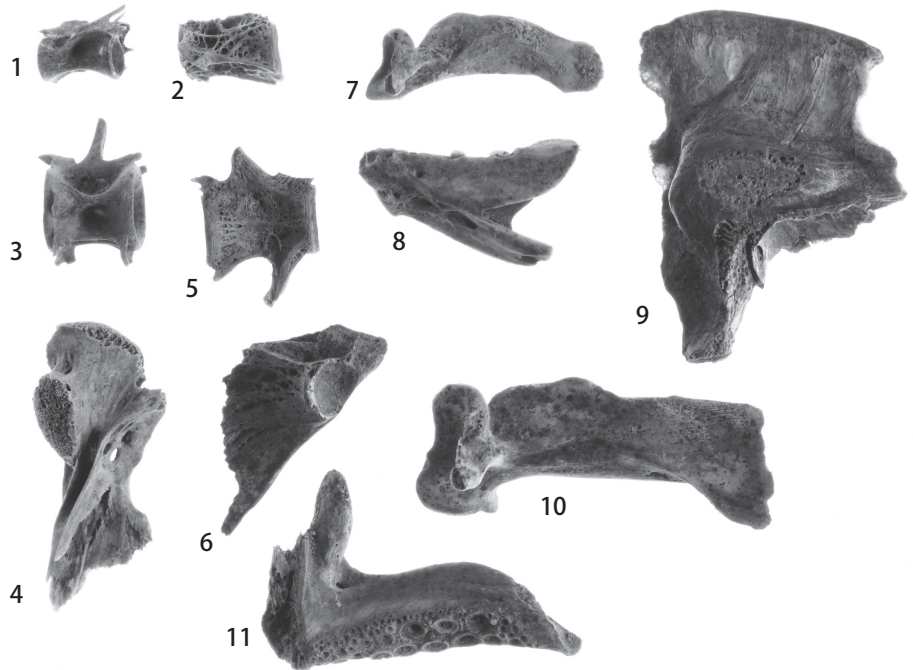
〔参考文献〕

- 池田研 2012 「中世大友府内町跡から出土した貝類について」(『豊後府内 17』大分県教育庁埋蔵文化財センター) pp.392-394
 岡嶋隆史 2004 「真鯛頭部の解体法について」(『動物考古学』21号)動物考古学研究会 pp.91-101
 久保和士 1997 「近世大坂における水産物の流通と消費に関する考古学的研究」(『助成研究の報告』7 味の素食の文化センター) pp.51-58
 松島義章 1984 「日本列島における後氷期の浅海性貝類群集 - とくに環境変遷にともなうその時間・空間変遷 -」(『神奈川県立博物館研究報告(自然科学)』15) pp.37-109
 丸山真史・松井章 2008 「大友城下町跡から出土した動物遺存体」(『豊後府内 8』大分県教育庁埋蔵文化財センター) pp.259-271
 丸山真史・池田研・江田真毅・松井章 2013 「中世大友府内町跡における動物利用」(『豊後府内 17』大分県教育庁埋蔵文化財センター) pp.415-425



貝類(SK145)

1.アサリ 2.シオフキ 3~5.ハマグリ 6~8.サザエ(8は蓋)



魚類(SK145)

1.サバ属(椎骨) 2.ボラ科(椎骨) 3,4.カツオ(椎骨、舌顎骨) 5,6.ブリ属(椎骨、主鰓蓋骨)
7,8.クロダイ属(主上顎骨、歯骨) 9~11.マダイ(上後頭骨、主上顎骨、前上顎骨)

馬齒(SD023)
左下顎白歯列



遺物一覽表

中世大友府内町跡第 96 次調査出土遺物一覽 (土器・陶磁器①)

| 図版番号 | 遺構名 | | | 種類 | 器形 | 生産地 | 法量 (cm) ()は復元径 | | | 備考 | |
|------|-----|--------|--------|---------|---------|---------|-----------------|--------|------|--------------|--|
| | | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | |
| 16 | 2 | 区域 1 B | SD400 | 華南三彩 | 水注 | 中国 | (4.0) | | 1.3 | | |
| | 3 | 区域 1 B | SD400 | 青花 | 碗 | 中国(漳州窯) | (12.6) | 4.7 | 5.8 | | |
| | 5 | 区域 1 B | SD400 | 青花 | 皿 | 中国(漳州窯) | | | | | |
| | 5 | 区域 1 B | SD400 | 青花 | 皿 | 中国(漳州窯) | | (11.0) | 3.4 | | |
| | 6 | 区域 1 B | SD400 | 青花 | 皿 | 中国(漳州窯) | | | | | |
| | 7 | 区域 1 B | SD400 | 青花 | 小杯 | 中国(景德鎮) | | | 1.4 | | |
| | 15 | 区域 1 B | SX387 | 青花 | 皿 | 中国(景德鎮) | (20.7) | (11.1) | 3.4 | | |
| 17 | 16 | 区域 1 B | SX387 | 陶器 | 掃鉢 | 備前 | (28.4) | 13.8 | 13.6 | | |
| | 17 | 区域 1 B | SX387 | 瓦質土器 | 鉢 | 在地 | (24.5) | | | | |
| | 20 | 区域 1 B | SK388 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.1 | | 2.0 | | |
| 19 | 21 | 区域 1 B | SK388 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.3 | | 2.1 | | |
| | 22 | 区域 1 B | SK508 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.7 | | 2.0 | | |
| | 23 | 区域 1 B | SK508 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 11.6 | | 2.5 | | |
| | 24 | 区域 1 B | SK508 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 11.6 | | 2.3 | | |
| | 25 | 区域 1 B | SK508 | 瓦質土器 | 鉢 | 在地 | 31.5 | 21.8 | 11.0 | | |
| | 26 | 区域 1 B | SK508 | 瓦質土器 | 鉢 | 在地 | 30.8 | 21.6 | 10.6 | | |
| | 29 | 区域 1 B | SK509 | 青花 | 皿 | 中国(景德鎮) | (12.0) | 6.5 | 2.8 | | |
| | 30 | 区域 1 B | SK509 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.3 | | 2.2 | | |
| | 31 | 区域 1 B | SK509 | 京都系土師器 | 坏 | 在地 | 10.2 | | 3.2 | | |
| | 32 | 区域 1 B | SK509 | 京都系土師器 | 坏 | 在地 | (10.4) | | 3.7 | | |
| | 33 | 区域 1 B | SK509 | 瓦質土器 | 羽釜 | 在地 | | | | | |
| | 34 | 区域 1 B | SK509 | 瓦質土器 | 鉢 | 在地 | (15.0) | (16.6) | 9.4 | | |
| | 35 | 区域 1 B | SK509 | 瓦質土器 | 火鉢 | 在地 | (35.0) | | 8.5 | | |
| | 22 | 57 | 区域 1 B | SK529 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | (10.5) | | 2.2 | |
| | | 58 | 区域 1 B | SK529 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | (12.0) | | 2.3 | |
| 24 | 59 | 区域 1 A | SK297 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 8.8 | 5.9 | 2.1 | | |
| | 60 | 区域 1 A | SK300 | ロクロ目土師器 | 小皿 | 在地 | (4.4) | 2.8 | 1.4 | | |
| | 61 | 区域 1 A | SK300 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 7.7 | 4.7 | 1.8 | | |
| | 62 | 区域 1 A | SK300 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 9.5 | 5.1 | 2.1 | | |
| | 63 | 区域 1 A | SK300 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 10.4 | 5.4 | 2.5 | | |
| | 64 | 区域 1 A | SK300 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 12.0 | 6.3 | 2.3 | | |
| | 65 | 区域 1 A | SK300 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 7.7 | 4.6 | 1.8 | | |
| 25 | 66 | 区域 1 A | SK300 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 9.6 | 5.4 | 2.0 | | |
| | 67 | 区域 1 A | SK300 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 9.6 | 5.8 | 2.1 | | |
| | 68 | 区域 1 A | SK300 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | (10.0) | 5.5 | 2.5 | | |
| | 69 | 区域 1 A | SK300 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 10.0 | 5.8 | 2.1 | | |
| | 70 | 区域 1 A | SK300 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 14.4 | 7.0 | 2.5 | | |
| | 71 | 区域 1 A | SK300 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 17.0 | 5.7 | 3.1 | | |
| | 72 | 区域 1 A | SK305 | 陶器 | 掃鉢 | 備前 | | | | | |
| 29 | 73 | 区域 1 A | SK347 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 7.9 | 5.6 | 1.85 | | |
| | 74 | 区域 1 A | SK347 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 9.1 | 4.9 | 2.0 | | |
| | 75 | 区域 1 A | SK347 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | (11.3) | 6.3 | 2.4 | | |
| | 76 | 区域 1 A | SK369A | 青花 | 碗 | 中国(景德鎮) | | 6.3 | 2.1 | | |
| 31 | 77 | 区域 1 A | SK369A | 白磁 | 玉取獅子形置物 | 中国 | | | | | |
| | 78 | 区域 1 A | SK369A | 瓦質土器 | 香炉 | 在地 | | 2.2 | 2.1 | | |
| | 79 | 区域 1 A | SK369A | 京都系土師器 | 碗 | 在地 | 10.7 | | 3.3 | | |
| | 80 | 区域 1 A | SK369A | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 11.1 | | 2.5 | | |
| | 81 | 区域 1 A | SK369A | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | (16.2) | | 1.7 | | |
| | 84 | 区域 1 A | SK369B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 9.0 | | 2.2 | | |
| | 85 | 区域 1 A | SK369B | 京都系土師器 | 坏 | 在地 | (10.7) | | 3.1 | | |
| | 86 | 区域 1 A | SK369B | 陶器 | 掃鉢 | 備前 | | (11.0) | 4.8 | | |
| | 34 | 89 | 区域 1 B | SK524 | 瓦質土器 | 火鉢 | 在地 | 35.0 | | 15.8 | |
| | | 90 | 区域 1 B | SK525 | 土師器 | 皿 | 在地 | (10.6) | | 2.4 | |
| 38 | 94 | 区域 1 A | SK241 | 青磁 | 不明 | 中国? | | | | | |
| | 95 | 区域 1 A | SK241 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 9.0 | | 2.0 | | |
| 40 | 98 | 区域 1 A | SK253 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | | 6.0 | 1.7 | | |
| 46 | 101 | 区域 1 A | SK371 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | (10.5) | (5.55) | 2.25 | | |
| 48 | 103 | 区域 1 B | SK399 | 青花 | 瓶 | 中国(景德鎮) | | | | | |
| | 104 | 区域 1 B | SK399 | 陶器 | 掃鉢 | 備前 | (30.6) | (12.6) | 9.5 | | |
| 50 | 105 | 区域 1 B | SK405 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | (12.6) | | 2.3 | | |
| | 106 | 区域 1 B | SK406 | 青磁 | 盤 | 中国(龍泉窯) | | 6.2 | 4.1 | | |
| | 107 | 区域 1 B | SK406 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | (11.4) | (7.4) | 2.3 | | |
| | 108 | 区域 1 B | SK406 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | (11.6) | 6.8 | 2.4 | | |
| 54 | 109 | 区域 1 A | SE240 | 青花 | 瓶 | 中国(漳州窯) | | 7.0 | 4.0 | | |
| | 110 | 区域 1 A | SE240 | 青釉陶器 | 小皿 | 中国 | | | | | |
| | 111 | 区域 1 A | SE240 | 瓦質土器 | 鉢 | 在地 | (17.0) | | 7.1 | | |
| | 112 | 区域 1 A | SE240 | 瓦質土器 | 羽釜 | 在地 | (16.8) | | 15.3 | | |
| | 113 | 区域 1 A | SE240 | 瓦質土器 | 香炉 | 在地 | | | 2.4 | | |
| | 114 | 区域 1 A | SE240 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 4.7 | 3.5 | 1.5 | | |
| 55 | 122 | 区域 1 A | SE353 | 縄文土器 | 深鉢 | 在地 | | | | 縄文時代晩期 突帯文土器 | |
| | 123 | 区域 1 A | SE359 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 9.5 | 5.0 | 1.9 | | |
| | 124 | 区域 1 A | SE359 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | (11.0) | 5.8 | 3.2 | | |
| | 125 | 区域 1 A | SE359 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 13.8 | | 2.2 | | |
| 58 | 126 | 区域 1 A | SE359 | 瓦質土器 | 火鉢 | 在地 | | | | | |
| | 130 | 区域 1 B | SE507 | 陶器 | 瓶 | 備前 | (3.6) | | 3.5 | | |
| 59 | 131 | 区域 1 B | SD235 | 白磁 | 皿 | 中国 | (14.6) | (9.2) | 2.9 | | |
| | 132 | 区域 1 B | SD235 | 青磁 | 碗 | 中国(越州窯) | | (11.2) | | | |
| | 133 | 区域 1 A | SD236 | 五彩 | 碗 | 中国(景德鎮) | (11.8) | | | | |
| 60 | 134 | 区域 1 A | SD236 | 青花 | 皿 | 中国(漳州窯) | (12.4) | | | | |
| | 135 | 区域 1 A | SD236 | 白磁 | 皿 | 中国(景德鎮) | (13.5) | (7.8) | 3.4 | | |
| | 136 | 区域 1 A | SD236 | 陶器 | 壺 | 備前 | (10.4) | | | | |
| | 137 | 区域 1 A | SD236 | 陶器 | 壺 | 備前 | | | | | |

中世大友府内町跡第 96 次調査出土遺物一覽 (土器・陶磁器②)

| 図版番号 | 遺構名 | 種類 | 器形 | 生産地 | 法量 (cm) ()は復元径 | | | 備考 |
|------------|------------|--------|---------|-----|-----------------|--------|--------|------|
| | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | |
| 60 | 138 区域 1 A | SD236 | 瓦質土器 | 鉢 | 在地 | (21.6) | | |
| | 139 区域 1 A | SD236 | 瓦質土器 | 鉢 | 在地 | (30.6) | | |
| | 140 区域 1 A | SD236 | 瓦質土器 | 鉢 | 在地 | (23.6) | | |
| 61 | 141 区域 1 B | SD561 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 11.8 | | 2.3 |
| | 142 区域 1 B | SD561 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 12.5 | | 2.1 |
| | 143 区域 1 B | SD561 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 12.5 | | 2.05 |
| | 144 区域 1 B | SD561 | 陶器 | 播鉢 | 備前 | | | |
| | 145 区域 1 B | SD561 | 瓦質土器 | 鉢 | 在地 | (28.8) | (18.2) | 9.5 |
| 63 | 146 区域 1 A | SD360 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 13.0 | | 2.0 |
| | 147 区域 1 A | SD360 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 9.4 | 5.9 | 1.7 |
| | 148 区域 1 A | SD360 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | (15.2) | 9.0 | 2.1 |
| | 149 区域 1 A | SD361 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | (11.2) | 5.8 | 2.7 |
| 65 | 150 区域 1 A | SX237 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 11.0 | 5.1 | 2.9 |
| | 151 区域 1 A | SX237 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 11.2 | 5.6 | 2.4 |
| | 152 区域 1 A | SX237 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 11.6 | 6.0 | 3.0 |
| | 153 区域 1 A | SX237 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 11.6 | 6.3 | 2.2 |
| 67 | 154 区域 1 A | SX310A | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 5.0 | | 1.5 |
| | 155 区域 1 A | SX310A | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 9.7 | | 2.25 |
| | 156 区域 1 A | SX310A | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.3 | | 2.15 |
| | 157 区域 1 A | SX310A | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.4 | | 2.25 |
| | 158 区域 1 A | SX310A | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.4 | | 1.9 |
| | 159 区域 1 A | SX310A | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.6 | | 1.9 |
| | 160 区域 1 A | SX310A | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 12.1 | | 2.5 |
| | 161 区域 1 A | SX310A | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 12.5 | | 2.4 |
| | 162 区域 1 A | SX310A | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 13.3 | | 2.3 |
| | 163 区域 1 A | SX310A | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | (15.0) | | 2.0 |
| | 164 区域 1 A | SX310A | 白磁 | 皿 | 中国 | 13.8 | | 2.7 |
| | 165 区域 1 A | SX310B | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 4.1 | | 1.9 |
| | 166 区域 1 A | SX310B | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 4.7 | | 1.95 |
| | 167 区域 1 A | SX310B | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 4.7 | | 1.6 |
| | 168 区域 1 A | SX310B | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 4.9 | | 2.1 |
| | 169 区域 1 A | SX310B | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 5.0 | | 2.0 |
| | 170 区域 1 A | SX310B | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 5.0 | | 2.0 |
| | 171 区域 1 A | SX310B | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | (5.0) | | 1.8 |
| | 172 区域 1 A | SX310B | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | (5.1) | | 2.0 |
| | 173 区域 1 A | SX310B | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 5.2 | | 1.8 |
| | 174 区域 1 A | SX310B | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | (5.2) | | 1.1 |
| | 175 区域 1 A | SX310B | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 5.5 | | 1.7 |
| | 176 区域 1 A | SX310B | 土師質土器 | 耳皿 | 在地 | 6.3 | | 2.3 |
| | 177 区域 1 A | SX310B | 土師質土器 | 耳皿 | 在地 | 6.0 | | 2.1 |
| | 178 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.0 | | 1.9 |
| | 179 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.5 | | 2.0 |
| | 180 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 9.6 | | 2.0 |
| | 181 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 9.7 | | 2.3 |
| | 182 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 9.7 | | 2.2 |
| | 183 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 9.7 | | 2.2 |
| | 184 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 9.8 | | 2.3 |
| | 185 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 9.9 | | 2.2 |
| | 186 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 9.9 | | 2.2 |
| | 187 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 9.95 | | 2.2 |
| | 188 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.0 | | 2.0 |
| | 189 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.0 | | 2.1 |
| | 190 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.0 | | 2.4 |
| | 191 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.0 | | 2.1 |
| | 192 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.0 | | 2.3 |
| | 193 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.0 | | 2.0 |
| | 194 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.0 | | 2.2 |
| | 195 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.0 | | 2.0 |
| | 196 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.0 | | 2.3 |
| | 197 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.0 | | 2.2 |
| | 198 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.0 | | 2.1 |
| 199 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.1 | | 1.9 | |
| 200 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.1 | | 2.3 | |
| 201 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.1 | | 2.1 | |
| 202 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.1 | | 2.4 | |
| 203 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.2 | | 2.1 | |
| 204 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.2 | | 2.1 | |
| 205 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.2 | | 2.0 | |
| 206 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.2 | | 2.2 | |
| 207 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.2 | | 2.2 | |
| 68 | 208 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.2 | | 2.2 |
| | 209 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.2 | | 2.2 |
| | 210 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.2 | | 2.2 |
| | 211 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.2 | | 2.2 |
| | 212 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.2 | | 2.1 |
| | 213 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.2 | | 1.9 |
| | 214 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.3 | | 2.3 |
| | 215 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.3 | | 2.0 |
| | 216 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.3 | | 2.1 |
| | 217 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.3 | | 2.1 |
| | 218 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.3 | | 2.0 |
| | 219 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.3 | | 2.3 |

中世大友府内町跡第 96 次調査出土遺物一覽 (土器・陶磁器③)

| 図版番号 | 遺構名 | | 種類 | 器形 | 生産地 | 法量 (cm) ()は復元径 | | | 備考 | |
|------|--------|--------|---------|---------|-----|-----------------|-------|-------|-------|--|
| | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | |
| 68 | 220 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.3 | | 2.3 | |
| | 221 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.4 | | 2.2 | |
| | 222 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.4 | | 2.0 | |
| | 223 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.4 | | 2.3 | |
| | 224 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.4 | | 2.1 | |
| | 225 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.4 | | 2.2 | |
| | 226 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.4 | | 2.5 | |
| | 227 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.4 | | 2.2 | |
| | 228 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.5 | | 2.1 | |
| | 229 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.5 | | 2.2 | |
| | 230 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.5 | | 2.0 | |
| | 231 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.5 | | 2.0 | |
| | 232 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.5 | | 2.6 | |
| | 233 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.5 | | 2.1 | |
| | 234 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.5 | | 2.3 | |
| | 235 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.6 | | 2.1 | |
| | 236 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.6 | | 2.1 | |
| | 237 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.6 | | 2.3 | |
| | 238 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.9 | | 2.3 | |
| | 239 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.9 | | 2.0 | |
| | 240 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.0 | | 2.7 | |
| | 241 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.1 | | 2.3 | |
| | 242 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.3 | | 2.4 | |
| | 243 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.4 | | 2.3 | |
| | 244 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.4 | | 2.1 | |
| | 245 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.4 | | 2.1 | |
| | 246 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.4 | | 2.2 | |
| | 247 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.5 | | 2.3 | |
| | 248 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.5 | | 2.5 | |
| | 249 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.5 | | 2.5 | |
| | 250 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.5 | | 2.5 | |
| 251 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.5 | | 2.2 | | |
| 252 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.6 | | 2.4 | | |
| 253 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.8 | | 2.5 | | |
| 254 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.8 | | 2.6 | | |
| 255 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 13.0 | | 2.1 | | |
| 256 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 13.0 | | 2.2 | | |
| 257 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 13.4 | | 2.4 | | |
| 69 | 258 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 13.5 | | 2.5 | |
| | 259 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 13.6 | | 2.0 | |
| | 260 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 13.7 | | 2.5 | |
| | 261 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 13.9 | | 2.3 | |
| | 262 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 14.0 | | 2.3 | |
| | 263 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 14.2 | | 2.1 | |
| | 264 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 14.3 | | 2.4 | |
| | 265 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 14.3 | | 2.0 | |
| | 266 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 14.5 | | 2.4 | |
| | 267 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 15.6 | | 2.4 | |
| | 268 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 15.8 | | 2.2 | |
| | 269 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 15.9 | | 3.3 | |
| | 270 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 16.1 | | 2.2 | |
| | 271 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 16.2 | | 2.6 | |
| | 272 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 16.2 | | 2.3 | |
| | 273 | 区域 1 A | SX310B | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 16.2 | | 2.5 | |
| | 274 | 区域 1 A | SX310B | ロクロ目土師器 | Ⅲ | 在地 | 5.4 | 3.5 | 1.5 | |
| | 275 | 区域 1 A | SX310B | ロクロ目土師器 | Ⅲ | 在地 | 9.5 | 5.6 | 2.0 | |
| | 276 | 区域 1 A | SX310B | ロクロ目土師器 | Ⅲ | 在地 | (9.8) | (5.9) | 1.7 | |
| | 277 | 区域 1 A | SX310B | ロクロ目土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.0 | 5.4 | 2.3 | |
| 278 | 区域 1 A | SX310B | ロクロ目土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.0 | 5.8 | 1.9 | | |
| 279 | 区域 1 A | SX310B | ロクロ目土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.1 | 5.4 | 1.9 | | |
| 280 | 区域 1 A | SX310B | ロクロ目土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.2 | 5.7 | 2.0 | | |
| 281 | 区域 1 A | SX310B | ロクロ目土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.2 | 6.3 | 1.9 | | |
| 282 | 区域 1 A | SX310B | ロクロ目土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.3 | 6.1 | 2.1 | | |
| 283 | 区域 1 A | SX310B | ロクロ目土師器 | Ⅲ | 在地 | (10.4) | (6.0) | 2.1 | | |
| 284 | 区域 1 A | SX310B | ロクロ目土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.6 | 6.5 | 2.1 | | |
| 285 | 区域 1 A | SX310B | ロクロ目土師器 | Ⅲ | 在地 | 11.6 | 6.6 | 2.4 | | |
| 286 | 区域 1 A | SX310B | ロクロ目土師器 | Ⅲ | 在地 | 11.7 | 7.9 | 2.0 | | |
| 287 | 区域 1 A | SX310B | ロクロ目土師器 | Ⅲ | 在地 | 11.8 | 6.2 | 2.6 | | |
| 288 | 区域 1 A | SX310B | ロクロ目土師器 | Ⅲ | 在地 | 11.8 | 6.2 | 2.6 | | |
| 289 | 区域 1 A | SX310B | ロクロ目土師器 | Ⅲ | 在地 | (12.0) | (6.5) | 3.0 | | |
| 290 | 区域 1 A | SX310B | ロクロ目土師器 | Ⅲ | 在地 | (12.1) | (6.8) | 2.6 | | |
| 291 | 区域 1 A | SX310B | ロクロ目土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.2 | 7.2 | 2.4 | | |
| 292 | 区域 1 A | SX310B | ロクロ目土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.9 | 7.8 | 2.1 | | |
| 293 | 区域 1 A | SX310B | ロクロ目土師器 | Ⅲ | 在地 | 16.0 | 10.7 | 3.0 | 底部に穿孔 | |
| 294 | 区域 1 A | SX310B | ロクロ目土師器 | Ⅲ | 在地 | 16.3 | 8.3 | 3.3 | | |
| 295 | 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 小Ⅲ | 在地 | 4.5 | | 1.4 | | |
| 296 | 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 小Ⅲ | 在地 | 4.5 | | 1.5 | | |
| 297 | 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 小Ⅲ | 在地 | 4.6 | | 1.5 | | |
| 298 | 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 小Ⅲ | 在地 | 4.7 | | 1.5 | | |
| 299 | 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 小Ⅲ | 在地 | 4.8 | | 1.9 | | |
| 300 | 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 小Ⅲ | 在地 | (4.8) | | 1.4 | | |
| 301 | 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 小Ⅲ | 在地 | 4.9 | | 1.6 | | |

中世大友府内町跡第 96 次調査出土遺物一覽 (土器・陶磁器④)

| 図版番号 | 遺構名 | 種類 | 器形 | 生産地 | 法量(cm) ()は復元径 | | | 備考 | | |
|------|--------|--------|--------|--------|----------------|------|-------|-----|------|-------|
| | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | |
| 70 | 302 | 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 5.0 | | 1.9 | |
| | 303 | 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 5.0 | | 1.7 | |
| | 304 | 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 5.0 | | 1.4 | |
| | 305 | 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | (5.1) | | 1.6 | |
| | 306 | 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 5.3 | | 1.8 | |
| | 307 | 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | (5.3) | | 2.0 | |
| | 308 | 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 5.4 | | 1.6 | |
| | 309 | 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 5.5 | | 1.3 | |
| | 310 | 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 5.6 | | 1.7 | |
| | 311 | 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 5.1 | | 1.9 | 底部に穿孔 |
| | 312 | 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 耳皿 | 在地 | 7.0 | | 2.0 | |
| | 313 | 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 耳皿 | 在地 | 6.4 | | 2.0 | |
| 71 | 314 | 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 耳皿 | 在地 | 6.2 | | 2.1 | |
| | 315 | 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 耳皿 | 在地 | 6.0 | | 2.1 | |
| | 316 | 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 耳皿 | 在地 | 6.7 | | 2.0 | |
| | 317 | 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 耳皿 | 在地 | | | | |
| | 318 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.0 | | 2.3 | |
| | 319 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.0 | | 2.0 | |
| | 320 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.2 | | 1.8 | |
| | 321 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.2 | | 2.2 | |
| | 322 | 区域 1 B | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.2 | | 2.1 | |
| | 323 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.4 | | 1.9 | |
| | 324 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.4 | | 2.1 | |
| | 325 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.4 | | 1.9 | |
| | 326 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.5 | | 2.0 | スス付着 |
| | 327 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.5 | | 2.2 | |
| | 328 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.5 | | 1.9 | |
| | 329 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.5 | | 2.1 | |
| | 330 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.5 | | 2.1 | |
| | 331 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.5 | | 2.1 | |
| | 332 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.6 | | 2.0 | |
| | 333 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.6 | | 2.2 | |
| | 334 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.7 | | 1.9 | |
| | 335 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.8 | | 2.1 | |
| | 336 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.8 | | 2.0 | |
| | 337 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.9 | | 1.9 | |
| | 338 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.9 | | 1.9 | |
| | 339 | 区域 1 B | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 9.1 | | 2.3 | |
| | 340 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 9.2 | | 2.1 | |
| | 341 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 9.3 | | 2.2 | |
| | 342 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 9.7 | | 2.3 | |
| | 343 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 9.9 | | 2.2 | |
| | 344 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 9.9 | | 2.2 | |
| | 345 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.0 | | 2.1 | |
| | 346 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.0 | | 2.35 | |
| | 347 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.0 | | 2.2 | |
| | 348 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.1 | | 2.1 | |
| | 349 | 区域 1 B | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.1 | | 2.1 | |
| | 350 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.1 | | 2.3 | |
| | 351 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.1 | | 2.2 | |
| | 352 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.2 | | 2.2 | |
| | 353 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.2 | | 2.3 | |
| | 354 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.2 | | 2.0 | |
| | 355 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.2 | | 2.1 | |
| | 356 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.2 | | 2.2 | |
| | 357 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.2 | | 2.3 | |
| | 358 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.3 | | 2.4 | |
| | 359 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.3 | | 2.0 | |
| | 360 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.3 | | 2.4 | |
| | 361 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.3 | | 2.3 | |
| 362 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.3 | | 2.1 | | |
| 363 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.3 | | 1.9 | | |
| 364 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.3 | | 1.9 | | |
| 365 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.3 | | 2.2 | | |
| 366 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.4 | | 2.3 | | |
| 367 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.4 | | 2.1 | | |
| 368 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.4 | | 2.2 | | |
| 72 | 369 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.4 | | 2.3 | |
| | 370 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.4 | | 2.3 | |
| | 371 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.4 | | 2.4 | |
| | 372 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.4 | | 2.3 | |
| | 373 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.5 | | 2.15 | |
| | 374 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.5 | | 2.2 | |
| | 375 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.5 | | 2.4 | |
| | 376 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.5 | | 1.9 | |
| | 377 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.5 | | 2.1 | |
| | 378 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.5 | | 2.3 | |
| | 379 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.6 | | 2.1 | |
| | 380 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.6 | | 2.2 | |
| | 381 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.6 | | 2.1 | |
| | 382 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.6 | | 2.3 | |
| | 383 | 区域 1 B | SX310 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.7 | | 2.0 | |

中世大友府内町跡第 96 次調査出土遺物一覽 (土器・陶磁器⑤)

| 図版番号 | 遺構名 | | 種類 | 器形 | 生産地 | 法量 (cm) ()は復元径 | | | 備考 | |
|------|--------|--------|--------|--------|-----|-----------------|--------|-------|------|--|
| | | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | |
| 72 | 384 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 13.0 | | 2.1 | |
| | 385 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.7 | | 2.1 | |
| | 386 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.7 | | 2.0 | |
| | 387 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.7 | | 2.2 | |
| | 388 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.7 | | 2.1 | |
| | 389 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.8 | 4.6 | 2.0 | |
| | 390 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.8 | | 2.1 | |
| | 391 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.8 | | 2.2 | |
| | 392 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.8 | | 2.0 | |
| | 393 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.8 | | 2.4 | |
| | 394 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.8 | | 2.1 | |
| | 395 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.8 | | 2.3 | |
| | 396 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.9 | | 2.2 | |
| | 397 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 11.0 | | 2.3 | |
| | 398 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 11.0 | | 2.4 | |
| | 399 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 11.1 | | 2.2 | |
| | 400 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 11.2 | | 2.7 | |
| | 401 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 11.6 | | 2.1 | |
| | 402 | 区域 1 B | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 11.7 | | 2.2 | |
| | 403 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 11.8 | | 2.65 | |
| | 404 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 11.8 | (4.0) | 2.7 | |
| | 405 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.0 | | 2.6 | |
| | 406 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.0 | | 2.3 | |
| | 407 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.1 | | 2.5 | |
| | 408 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.2 | | 2.5 | |
| | 409 | 区域 1 B | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.2 | | 2.1 | |
| | 410 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.2 | | 2.6 | |
| | 411 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.3 | | 2.55 | |
| | 412 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.3 | | 2.2 | |
| | 413 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 10.2 | | 2.3 | |
| | 414 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.3 | | 2.3 | |
| | 415 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.4 | | 2.4 | |
| | 416 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.4 | | 2.3 | |
| | 417 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.4 | | 2.2 | |
| 418 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.5 | | 2.5 | | |
| 419 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.5 | | 2.3 | | |
| 420 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.5 | | 2.3 | | |
| 421 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.5 | | 2.6 | | |
| 422 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.5 | | 2.3 | | |
| 423 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.6 | | 2.1 | | |
| 424 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | (12.6) | | 2.2 | | |
| 425 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | (12.6) | | 2.4 | | |
| 426 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.7 | | 2.8 | | |
| 427 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.7 | | 2.2 | | |
| 428 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.7 | | 2.4 | | |
| 429 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.8 | | 2.4 | | |
| 430 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.8 | | 2.4 | | |
| 431 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.8 | | 2.0 | | |
| 432 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.8 | | 2.3 | | |
| 433 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.8 | | 2.4 | | |
| 434 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.8 | | 2.1 | | |
| 435 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.9 | | 2.6 | | |
| 436 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 12.9 | | 2.2 | | |
| 437 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 13.0 | | 2.1 | | |
| 438 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 13.0 | | 2.0 | | |
| 439 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 13.2 | | 2.2 | | |
| 440 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 13.2 | | 2.5 | | |
| 441 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 13.3 | | 2.0 | | |
| 442 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 13.3 | | 2.5 | | |
| 443 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 13.9 | | 2.5 | | |
| 444 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 14.0 | | 2.4 | | |
| 445 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | (14.0) | | 2.3 | | |
| 446 | 区域 1 B | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 14.2 | | 2.3 | | |
| 447 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 14.2 | | 2.6 | | |
| 448 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 14.3 | | 2.4 | | |
| 449 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 14.4 | | 2.9 | | |
| 450 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 15.3 | | 3.0 | | |
| 74 | 451 | 区域 1 B | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 16.0 | | 2.3 | |
| | 452 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 16.7 | | 2.8 | |
| | 453 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | (16.7) | | 2.8 | |
| | 454 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | 16.8 | | 2.5 | |
| | 455 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | (17.0) | | 2.0 | |
| | 456 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | (17.8) | | 3.2 | |
| | 457 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | (19.6) | | 2.9 | |
| | 458 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | Ⅲ | 在地 | | | | |
| | 459 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 环 | 在地 | (10.8) | | 3.0 | |
| | 460 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 环 | 在地 | 10.4 | | 3.1 | |
| | 461 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 环 | 在地 | 10.4 | | 3.4 | |
| | 462 | 区域 1 A | SX310 | 京都系土師器 | 环 | 在地 | 11.0 | | 3.5 | |
| | 463 | 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 小Ⅲ | 在地 | (4.5) | 3.0 | 1.3 | |
| | 464 | 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | Ⅲ | 在地 | (8.3) | (5.4) | 1.8 | |
| | 465 | 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | Ⅲ | 在地 | (8.6) | 5.4 | 1.8 | |

中世大友府内町跡第 96 次調査出土遺物一覽 (土器・陶磁器⑥)

| 図版番号 | 遺構名 | 種類 | 器形 | 生産地 | 法量(cm) ()は復元径 | | | 備考 | |
|------------|------------|--------|--------|------|----------------|--------|--------|------|------|
| | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | |
| 74 | 466 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 皿 | 在地 | (9.0) | (6.0) | 1.8 | |
| | 467 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 皿 | 在地 | (9.3) | 5.8 | 1.9 | |
| | 468 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 皿 | 在地 | 9.4 | 5.7 | 1.8 | |
| | 469 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 皿 | 在地 | 9.4 | 6.4 | 1.8 | |
| | 470 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 皿 | 在地 | 9.5 | 6.2 | 1.8 | |
| | 471 区域 1 A | SK300 | 土師質土器 | 皿 | 在地 | 9.8 | 5.5 | 2.4 | |
| | 472 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 皿 | 在地 | (9.6) | 5.4 | 1.7 | |
| | 473 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 皿 | 在地 | (9.8) | 5.5 | 1.8 | |
| | 474 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 皿 | 在地 | 10.0 | 6.0 | 2.0 | |
| | 475 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 皿 | 在地 | 10.0 | 6.5 | 1.8 | |
| | 476 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 皿 | 在地 | 10.1 | 5.6 | 2.2 | |
| | 477 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 皿 | 在地 | 10.3 | 6.2 | 1.8 | |
| | 478 区域 1 B | SX310 | 土師質土器 | 皿 | 在地 | 11.2 | 6.6 | 2.7 | |
| | 479 区域 1 B | SX310 | 土師質土器 | 皿 | 在地 | 11.6 | 6.8 | 2.5 | |
| 75 | 480 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 皿 | 在地 | (11.6) | 6.7 | 2.1 | |
| | 481 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 皿 | 在地 | (12.0) | 6.0 | 2.5 | |
| | 482 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 皿 | 在地 | (12.0) | 6.5 | 2.0 | |
| | 483 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 皿 | 在地 | 12.1 | 6.8 | 2.6 | |
| | 484 区域 1 B | SX310 | 土師質土器 | 皿 | 在地 | 12.4 | 6.6 | 2.2 | |
| | 485 区域 1 B | SX310 | 土師質土器 | 皿 | 在地 | 12.5 | | 2.7 | |
| | 486 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 皿 | 在地 | 12.6 | 7.4 | 1.9 | |
| | 487 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 皿 | 在地 | 12.6 | 7.5 | 1.9 | |
| | 488 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 皿 | 在地 | (12.6) | (7.0) | 2.4 | |
| | 489 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 皿 | 在地 | 13.2 | 7.5 | 2.4 | |
| | 490 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 皿 | 在地 | (14.4) | (7.7) | 2.9 | |
| | 491 区域 1 A | SX310 | 青花 | 碗 | 景德鎮 | | 5.0 | | |
| | 492 区域 1 A | SX310 | 青花 | 碗 | 景德鎮 | | 5.0 | | |
| | 493 区域 1 A | SX310 | 青花 | 碗 | 景德鎮 | | (4.2) | | |
| 76 | 494 区域 1 A | SX310 | 青花 | 碗 | 景德鎮 | | (4.6) | | |
| | 495 区域 1 A | SX310 | 青花 | 碗 | 漳州窯 | (14.0) | | 5.2 | |
| | 496 区域 1 A | SX310 | 青花 | 皿 | 景德鎮 | (10.0) | 2.8 | 2.6 | |
| | 497 区域 1 A | SX310 | 磁器 | 碗 | 景德鎮 | (13.8) | 7.6 | 3.3 | |
| | 498 区域 1 A | SX310 | 磁器 | 碗 | 景德鎮 | | | 2.6 | |
| | 499 区域 1 A | SX310 | 青花 | 鉢 | 景德鎮 | (9.0) | | | |
| | 500 区域 1 A | SX310 | 青花 | 皿 | 漳州窯 | 11.2 | 4.2 | 3.0 | |
| | 501 区域 1 A | SX310 | 白磁 | 碗 | 中国 | (12.0) | | | |
| | 502 区域 1 A | SX310 | 白磁 | 皿 | 中国 | (13.0) | (7.2) | 2.5 | |
| | 503 区域 1 A | SX310 | 磁器 | 小杯 | 中国 | (5.3) | 2.5 | 3.8 | |
| | 504 区域 1 A | SX310 | 青磁 | 碗 | 中国(龍泉窯) | (13.4) | | | 人形手 |
| | 505 区域 1 A | SX310 | 青磁 | 碗 | 中国 | (12.7) | (5.4) | 5.3 | |
| | 506 区域 1 B | SX310 | 青磁 | 香炉 | 中国(龍泉窯) | | 2.6 | | |
| | 507 区域 1 A | SX310 | 青磁 | 香炉 | 中国(龍泉窯) | (8.4) | (6.4) | 5.6 | |
| 77 | 508 区域 1 A | SX310 | 青磁 | 皿 | 中国 | (10.2) | | | |
| | 509 区域 1 A | SX310 | 白磁 | 碗 | 朝鮮 | | (5.0) | | |
| | 510 区域 1 A | SX310 | 陶器 | 皿 | 瀬戸美濃 | (10.6) | 2.4 | 6.1 | |
| | 511 区域 1 A | SX310 | 陶器 | 鉢 | 中国 | | | | |
| | 512 区域 1 A | SX310 | 陶器 | 壺 | 中国 | | (12.4) | | 褐釉陶器 |
| | 513 区域 1 A | SX310 | 陶器 | 鉢 | 中国 | (27.8) | (14.0) | 10.4 | |
| | 514 区域 1 A | SX310 | 瓦質土器 | 火鉢 | 在地 | | | | |
| | 515 区域 1 A | SX310 | 瓦質土器 | 火鉢 | 在地 | | | | |
| | 516 区域 1 A | SX310 | 瓦質土器 | 火鉢 | 在地 | | | | |
| | 517 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | * | 吉備 | (10.3) | (4.0) | 4.0 | |
| | 518 区域 1 A | SX310 | 瓦質土器 | 把手付鉢 | 在地 | | | | |
| | 519 区域 1 A | SX310 | 瓦質土器 | 香炉 | 在地 | | (9.8) | | |
| | 520 区域 1 A | SX310 | 瓦質土器 | 香炉 | 在地 | | (7.8) | | |
| | 521 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 焼塩壺 | 在地 | (4.0) | | | |
| 522 区域 1 A | SX310 | 土師質土器 | 燭台 | 在地 | (9.0) | (8.2) | 8.1 | | |
| 523 区域 1 A | SX310 | 瓦質土器 | 鉢 | 在地 | 31.2 | 20.0 | 11.4 | | |
| 524 区域 1 A | SX310 | 瓦質土器 | 鉢 | 在地 | (36.8) | 26.6 | 10.5 | | |
| 525 区域 1 A | SX310 | 瓦質土器 | 鉢 | 在地 | (36.0) | (19.8) | 9.4 | | |
| 526 区域 1 A | SX310 | 瓦質土器 | 火鉢 | 在地 | (35.3) | | | | |
| 527 区域 1 A | SX310 | 瓦質土器 | 壺 | 在地 | (42.2) | | | | |
| 82 | 584 区域 1 A | SX370 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 4.5 | | 1.9 | 穿孔あり |
| | 585 区域 1 A | SX370 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 4.9 | | 1.8 | |
| | 586 区域 1 A | SX370 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 5.1 | | 1.9 | |
| | 587 区域 1 A | SX370 | 土師質土器 | 耳皿 | 在地 | 6.3 | | 2.0 | |
| | 588 区域 1 A | SX370 | 土師質土器 | 耳皿 | 在地 | | | | |
| | 589 区域 1 A | SX370 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.1 | | 1.95 | |
| | 590 区域 1 A | SX370 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.1 | | 1.7 | |
| | 591 区域 1 A | SX370 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.6 | | 2.3 | |
| | 592 区域 1 A | SX370 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.7 | | 2.3 | |
| | 593 区域 1 A | SX370 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 9.9 | | 2.25 | |
| | 594 区域 1 A | SX370 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.0 | | 2.2 | |
| | 595 区域 1 A | SX370 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.2 | | 2.3 | |
| | 596 区域 1 A | SX370 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.3 | | 2.1 | |
| | 597 区域 1 A | SX370 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.3 | | 2.0 | |
| 598 区域 1 A | SX370 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 12.2 | | 2.7 | | |
| 599 区域 1 A | SX370 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 12.4 | | 2.4 | | |
| 600 区域 1 A | SX370 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 12.5 | | 2.4 | | |
| 601 区域 1 A | SX370 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 12.6 | | 2.2 | | |
| 602 区域 1 A | SX370 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 13.0 | | 2.5 | | |
| 603 区域 1 A | SX370 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 13.5 | | 2.4 | | |

中世大友府内町跡第 96 次調査出土遺物一覽 (土器・陶磁器⑦)

| 図版番号 | 遺構名 | 種類 | 器形 | 生産地 | 法量 (cm) ()は復元径 | | | 備考 | | | |
|------|-----|--------|---------|---------|-----------------|---------|---------|--------|-------|---------------|--|
| | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | | |
| 82 | 604 | 区域 1 A | SX370 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 14.0 | | 2.25 | | |
| | 605 | 区域 1 A | SX370 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 14.2 | | 2.5 | | |
| | 606 | 区域 1 A | SX370 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 16.0 | | 2.6 | | |
| | 607 | 区域 1 A | SX370 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 16.0 | | 2.2 | | |
| | 608 | 区域 1 A | SX370 | 土師質土器 | 皿 | 在地 | (21.2) | (15.8) | 3.0 | | |
| | 610 | 区域 1 A | SX370 | 瓦質土器 | 香炉 | 在地 | | | | | |
| 83 | 612 | 区域 1 B | SX402 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 5.0 | | 1.5 | | |
| | 613 | 区域 1 B | SX402 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.6 | | 2.0 | | |
| | 614 | 区域 1 B | SX402 | 土師質土器 | 皿 | 在地 | 8.0 | 5.2 | 1.5 | | |
| | 615 | 区域 1 B | SX402 | 瓦質土器 | 不明 | 在地 | | | | | |
| | 616 | 区域 1 B | SP503 | 土師質土器 | 小皿 | | 5.0 | | 1.8 | | |
| 84 | 617 | 区域 1 A | SP242 | 京都系土師器 | 皿 | | 9.9 | | 2.2 | | |
| | 618 | 区域 1 B | SP408 | 土師質土器 | 皿 | | (9.1) | (7.1) | 2.5 | | |
| | 619 | 区域 2 B | SP466 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | (11.2) | (5.2) | 2.6 | | |
| | 620 | 区域 3 B | SP407 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | (11.8) | (6.4) | 2.8 | | |
| | 621 | 区域 1 A | SP383 | 土師質土器 | 皿 | | (13.5) | 9.7 | 3.8 | | |
| | 622 | 区域 1 A | SP340 | 土師器 | 小壺 | | | 5.9 | 4.1 | | |
| | 626 | 区域 1 A | SP364 | 陶器 | 天目碗 | 瀬戸美濃 | (11.6) | | 5.0 | | |
| | 86 | 630 | 区域 1 B | SX390 | 青磁 | 皿 | 中国 | (10.4) | | 2.0 | |
| 631 | | 区域 1 B | SX390 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 11.8 | 6.6 | 2.6 | | |
| 87 | 632 | 区域 1 A | 包含層・整地層 | 青磁 | 皿 | 中国(同安窯) | (10.45) | (5.55) | 2.0 | | |
| | 633 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 青白磁 | 合子蓋 | 中国(景德鎮) | (5.25) | (5.9) | 1.3 | | |
| | 634 | 区域 1 A | 包含層・整地層 | 磁器 | 合子蓋 | 中国(景德鎮) | (6.5) | | 1.6 | | |
| | 635 | 区域 1 A | 包含層・整地層 | 白磁 | 瓶 | 中国 | | | | | |
| | 636 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 五彩 | 小坏 | 中国 | | (3.0) | | | |
| | 637 | 区域 1 A | 包含層・整地層 | 陶器 | 小皿 | 中国 | | | | 青釉(翡翠釉) | |
| | 638 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 陶器 | 小皿 | 中国 | (4.7) | (2.5) | 1.0 | 青釉(翡翠釉) | |
| | 639 | 区域 1 A | 包含層・整地層 | 陶器 | 小皿 | 中国 | | | | 青釉(翡翠釉) | |
| | 640 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 陶器 | 壺 | 中国 | | | | | |
| | 641 | 区域 1 A | 包含層・整地層 | 陶器 | 蓋 | 中国 | (16.0) | | | | |
| | 642 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 五彩 | 不明 | 中国 | | | | | |
| | 643 | 区域 1 A | 包含層・整地層 | 陶器 | 梅瓶 | 瀬戸美濃 | | | | | |
| | 644 | 区域 1 A | 包含層・整地層 | 陶器 | 掃鉢 | 中国 | | | | | |
| | 645 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 陶器 | 掃鉢 | 備前 | | | | | |
| | 646 | 区域 1 A | 包含層・整地層 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 5.2 | | 1.7 | | |
| | 647 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.3 | | 2.0 | | |
| | 648 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.6 | | 1.8 | | |
| | 649 | 区域 1 A | 包含層・整地層 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.5 | | 1.5 | | |
| | 650 | 区域 1 A | 包含層・整地層 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 10.4 | | 2.2 | | |
| | 651 | 区域 1 A | 包含層・整地層 | 土師器質土器 | 耳皿 | 在地 | | 2.1 | | | |
| | 652 | 区域 1 A | 包含層・整地層 | 土師器質土器 | 小皿 | 在地 | (4.4) | 2.6 | 1.4 | | |
| | 653 | 区域 1 A | 包含層・整地層 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | (11.6) | 6.6 | 2.7 | | |
| | 654 | 区域 1 A | 包含層・整地層 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 11.6 | 6.8 | 2.4 | | |
| | 655 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | (7.5) | 4.5 | 2.2 | | |
| | 656 | 区域 1 A | 包含層・整地層 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 11.7 | 6.5 | 2.8 | | |
| | 657 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 11.9 | 6.3 | 3.1 | | |
| | 88 | 658 | 区域 1 A | 包含層・整地層 | 瓦質土器 | 火鉢 | 在地 | | | | |
| 659 | | 区域 1 A | 包含層・整地層 | 瓦質土器 | 火鉢 | 在地 | | | | | |
| 660 | | 区域 1 A | 包含層・整地層 | 瓦質土器 | 鉢 | 在地 | | | | | |
| 661 | | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 瓦質土器 | 鉢 | 在地 | | | 8.65 | | |
| 662 | | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 瓦質土器 | 鉢 | 在地 | (26.0) | (17.0) | 11.4 | | |
| 663 | | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 須恵質土器 | 不明 | 不明 | | | | | |
| 690 | | 区域 1 A | 包含層・整地層 | 須恵器 | 坏身 | 和泉(陶邑)? | | | | | |
| 717 | | 区域 1 B | SD372B | 瓦質土器 | 火鉢 | 在地 | | | | | |
| 98 | | 718 | 区域 2 | SF070 | 青花 | 碗 | 中国(景德鎮) | | 5.1 | 3.5+ α | |
| | | 719 | 区域 2 | SF070 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | (7.8) | (5.0) | 1.6 | |
| | 720 | 区域 2 | SF070 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 12.3 | | 2.3 | | |
| | 721 | 区域 2 | SF070 | 瓦質土器 | 羽釜 | 在地 | (13.2) | | | | |
| | 722 | 区域 2 | SF070 | 瓦質土器 | 土鍋 | 在地 | | | | | |
| | 723 | 区域 2 | SF070 | 瓦質土器 | 土鍋 | 在地 | (43.6) | | | | |
| | 730 | 区域 2 | SF070 | 五彩 | 皿 | 景德鎮窯 | | | | | |
| | 731 | 区域 2 | SF070 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 4.1 | 3.2 | 1.85 | | |
| | 732 | 区域 2 | SF070 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.75 | | 1.95 | | |
| | 733 | 区域 2 | SF070 | 土師質土器 | 皿 | 在地 | 9.65 | 5.55 | 1.85 | | |
| | 734 | 区域 2 | SF070 | 瓦質土器 | 碗 | 在地 | | 4.3 | | | |
| | 735 | 区域 2 | SF070 | 陶器 | 掃鉢 | 備前 | | | | | |
| | 736 | 区域 2 | SF070 | 陶器 | 掃鉢 | 備前 | | | | | |
| | 100 | 744 | 区域 2 | SX001 | 陶器 | 大甕 | 備前 | | | | |
| | | 746 | 区域 2 | SX001 | 土師質土器 | 燭台 | 在地 | | 5.6 | 4.0 | |
| 747 | | 区域 2 | SD009 | 陶器 | 瓶 | 備前 | | | | へラ記号あり | |
| 101 | 748 | 区域 2 | SD009 | 瓦質土器 | 鉢 | 在地 | | | | | |
| | 749 | 区域 2 | SD009 | 瓦質土器 | 火鉢 | 在地 | | 18.0 | 21.7 | | |
| | 750 | 区域 2 | SD009 | 瓦質土器 | 風炉 | 在地 | | | | | |
| | 751 | 区域 2 | SK005 | 青花 | 小杯 | 中国(景德鎮) | | 3.0 | 1.5 | | |
| 102 | 752 | 区域 2 | SK005 | 青花 | 碗 | 中国(景德鎮) | (11.8) | | 4.8 | | |
| | 753 | 区域 2 | SK005 | 磁器 | 碁笥底皿 | 中国(景德鎮) | (10.4) | (2.6) | 2.7 | | |
| | 754 | 区域 2 | SK005 | 五彩 | 皿 | 中国(景德鎮) | | | | | |
| | 755 | 区域 2 | SK005 | 青花 | 皿 | 中国(景德鎮) | (14.5) | (8.2) | 3.1 | | |
| | 756 | 区域 2 | SK005 | 青花 | 皿 | 中国(景德鎮) | | 5.8 | 1.6 | | |
| | 757 | 区域 2 | SK005 | 磁器 | 水注 | 中国 | | | | | |
| | 758 | 区域 2 | SK005 | 白磁 | 皿 | 中国 | (15.6) | (8.5) | 3.1 | | |
| | 759 | 区域 2 | SK005 | 青磁 | 皿 | 中国 | (8.2) | (3.8) | 2.4 | | |

中世大友府内町跡第 96 次調査出土遺物一覽 (土器・陶磁器⑧)

| 図版番号 | 遺構名 | 種類 | 器形 | 生産地 | 法量 (cm) ()は復元径 | | | 備考 |
|---------------|---------------------|---------|------|---------|-----------------|--------|--------|----------|
| | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | |
| 102 | 760 区域2 SK005 | 青磁 | 皿 | 中国 | (9.8) | (4.7) | 2.7 | |
| | 761 区域2 SK005 | 陶器 | 皿 | 瀬戸美濃 | 11.1 | 6.2 | 2.3 | |
| | 762 区域2 SK005 | 磁器 | 盤 | 中国(磁甗窯) | | | | 黄釉鉄絵盤 |
| | 763 区域2 SK005 | 陶器 | 碗 | 肥前(唐津焼) | (11.6) | | | |
| | 764 区域2 SK005 | 陶器 | 鉢 | 瀬戸美濃 | (15.8) | | | |
| | 765 区域2 SK005 | 陶器 | 皿 | 瀬戸美濃 | (9.8) | 4.5 | 2.2 | |
| | 766 区域2 SK005 | 陶器 | 瓶 | 備前 | 4.9 | | | |
| | 767 区域2 SK005 | 陶器 | 壺 | 備前 | (10.4) | | 8.0 | |
| | 768 区域2 SK005 | 陶器 | 鉢 | 備前 | | | | |
| | 769 区域2 SK005 | 陶器 | 鉢 | 備前 | | | | |
| 770 区域2 SK005 | 陶器 | 鉢 | 備前 | (24.0) | | 2.7 | | |
| 771 区域2 SK005 | 陶器 | 鉢 | 備前 | (27.8) | | 5.2+α | | |
| 103 | 772 区域2 SK005 | 陶器 | 水屋甕 | 備前 | (24.0) | | 12.2+α | |
| | 773 区域2 SK005 | 陶器 | 甕 | 備前 | | (23.6) | | |
| | 774 区域2 SK005 | 陶器 | 播鉢 | 備前 | (28.4) | (11.5) | 11.6 | |
| 104 | 775 区域2 SK005 | 陶器 | 播鉢 | 備前 | (23.0) | (17.3) | 13.7 | |
| | 776 区域2 SK005 | 陶器 | 播鉢 | 備前 | (28.6) | (13.3) | 13.6 | |
| 105 | 777 区域2 SK005 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.2 | | 1.7 | |
| | 778 区域2 SK005 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | (8.5) | | 2.15 | |
| | 779 区域2 SK005 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.4 | | 2.4 | |
| | 780 区域2 SK005 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | (8.5) | | 2.25 | |
| | 781 区域2 SK005 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 9.9 | | 2.1 | |
| | 782 区域2 SK005 | 土師質土器 | 皿 | 在地 | (7.5) | 4.0 | 1.9 | |
| | 783 区域2 SK005 | 土師質土器 | 皿 | 在地 | (11.3) | 6.0 | 2.4 | 二次的な穿孔あり |
| | 784 区域2 SK005 | 瓦質土器 | 把手付鉢 | 在地 | (19.1) | (13.4) | 4.1 | |
| | 785 区域2 SK005 | 瓦質土器 | 土鍋 | 在地 | | | | |
| | 786 区域2 SK005 | 瓦質土器 | 鉢 | 在地 | (30.0) | | 9.9 | |
| | 787 区域2 SK005 | 瓦質土器 | 鉢 | 在地 | | | | |
| | 788 区域2 SK005 | 瓦質土器 | 鉢 | 在地 | | | | |
| | 789 区域2 SK005 | 瓦質土器 | 火鉢 | 在地 | | | | |
| 106 | 790 区域2 SK005 | 瓦質土器 | 火鉢 | 在地 | | | 4.0 | |
| | 791 区域2 SK005 | 瓦質土器 | 火鉢 | 在地 | (31.4) | (22.6) | 32.2 | |
| | 792 区域2 SK005 | 瓦質土器 | 播鉢 | 在地 | (23.0) | | 10.05 | |
| | 793 区域2 SK005 | 瓦質土器 | 播鉢 | 在地 | (28.3) | | 13.5 | |
| | 794 区域2 SK005 | 瓦質土器 | 播鉢 | 在地 | (29.8) | | 12.3 | |
| 107 | 795 区域2 SK005 | 瓦質土器 | 羽釜 | 在地 | (12.4) | | 15.1 | |
| 110 | 809 区域2 SK013 | 磁器 | 碗 | 中国(漳州窯) | (15.0) | 4.5 | 4.5 | |
| | 810 区域2 SK013 | 陶器 | 甕 | 備前 | | | | |
| | 811 区域2 SK013 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.3 | | 2.1 | |
| | 812 区域2 SK013 | 瓦質土器 | 火鉢 | 在地 | | | | |
| 111 | 813 区域2 SK013 | 瓦質土器 | 火鉢 | 在地 | | | | |
| | 815 区域2 SK225 | 陶器 | 皿 | 肥前(唐津焼) | | 4.4 | 1.7 | |
| | 816 区域2 SX007 | 瓦質土器 | 火鉢 | 在地 | | | | |
| | 816 区域2 SX008 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 12.0 | | 2.6 | |
| 114 | 817 区域2 SX008 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 12.0 | | 2.3 | |
| | 939 区域1 SX027 | ロクロ目土師器 | 耳皿 | 在地 | | | | |
| 119 | 940 区域2 SX027 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | (9.0) | (5.6) | 1.7 | |
| | 941 区域2 SD110・SD118 | 土師質土器 | 坏 | 在地 | (12.4) | 7.0 | 3.3 | |
| 120 | 944 区域2 SD232 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | (9.8) | 5.6 | 2.5 | |
| | 945 区域2 SD232 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | (12.2) | 6.2 | 2.5 | |
| | 946 区域2 SD232 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 12.0 | 7.0 | 2.9 | |
| 122 | 948 区域2 SK019 | 青磁 | 碗 | 中国(龍泉窯) | (14.5) | | | |
| 123 | 950 区域2 SK020 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | (8.2) | (5.2) | 1.9 | |
| | 953 区域2 SK045 | 陶器 | 鉢 | 中国 | (26.9) | | | |
| 127 | 954 区域2 SK045 | 瓦質土器 | 鍋 | 在地 | | | | |
| | 955 区域2 SK045 | 瓦質土器 | 蓋 | 在地 | (12.5) | | 4.0 | |
| | 956 区域2 SK046 | 瓦質土器 | 香炉 | 在地 | | 8.8 | | |
| 128 | 957 区域2 SK046 | 陶器 | 播鉢 | 備前 | (31.6) | (13.7) | 12.9 | |
| | 958 区域2 SK047 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 8.1 | 5.4 | 1.5 | |
| | 959 区域2 SK047 | 瓦質土器 | 土鍋 | 在地 | | | | |
| | 960 区域2 SK047 | 陶器 | 鉢 | 備前 | 23.2 | 13.4 | 6.3 | |
| 130 | 963 区域2 SK049 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 9.5 | 5.7 | 2.0 | |
| | 964 区域2 SK049 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 13.6 | 7.1 | 3.1 | 2箇所に穿孔あり |
| 131 | 966 区域2 SK145 | 瓦質土器 | 火鉢 | 在地 | | | | |
| 135 | 967 区域2 SK183 | 青花 | 碗 | 中国(景德鎮) | 14.6 | 5.3 | 7.1 | |
| | 968 区域2 SK183 | 青花 | 皿 | 中国(景德鎮) | (15.2) | (8.4) | 3.4 | |
| | 969 区域2 SK183 | 青花 | 皿 | 中国(景德鎮) | (14.8) | (8.3) | 3.1 | |
| | 970 区域2 SK183 | 青花 | 皿 | 中国(景德鎮) | (10.3) | (3.4) | 2.45 | |
| | 971 区域2 SK183 | 青花 | 皿 | 中国(景德鎮) | | | | |
| | 972 区域2 SK183 | 青花 | 皿 | 中国(景德鎮) | | (6.7) | | |
| | 973 区域2 SK183 | 青花 | 碗 | 中国(景德鎮) | (11.5) | | | 鉄絵 |
| | 974 区域2 SK183 | 青花 | 瓶 | 中国(漳州窯) | | | | |
| | 975 区域2 SK183 | 陶器 | 小皿 | 中国 | (6.4) | (4.2) | 0.8 | 青釉(翡翠釉) |
| | 976 区域2 SK183 | 陶器 | 小皿 | 中国 | | | | 緑釉 |
| | 977 区域2 SK183 | 白磁 | 皿 | 中国 | (13.5) | | 2.1 | |
| | 978 区域2 SK183 | 白磁 | 小杯 | 中国(景德鎮) | (6.2) | (3.0) | 3.8 | |
| | 979 区域2 SK183 | 青磁 | 碗 | 中国(龍泉窯) | (12.0) | | 4.0 | |
| | 980 区域2 SK183 | 青磁 | 碗 | 中国(龍泉窯) | (11.6) | | | |
| | 981 区域2 SK183 | 青磁 | 盤 | 中国(龍泉窯) | (38.3) | | | |
| 136 | 982 区域2 SK183 | 陶器 | 舟德利 | 朝鮮 | | 8.2 | | |
| | 983 区域2 SK183 | 陶器 | 双耳壺 | 備前 | | (6.0) | 6.3 | |
| | 984 区域2 SK183 | 陶器 | 播鉢 | 備前 | (38.8) | 14.4 | 18.2 | |

中世大友府内町跡第 96 次調査出土遺物一覽 (土器・陶磁器⑨)

| 図版番号 | 遺構名 | 種類 | 器形 | 生産地 | 法量 (cm) ()は復元径 | | | 備考 | | |
|------|------|------|-------|---------|-----------------|---------|--------|--------|-------|-----|
| | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | |
| 136 | 985 | 区域2 | SK183 | 陶器 | 大甕 | 備前 | | | | |
| | 986 | 区域2 | SK183 | 陶器 | 大甕 | 備前 | | | | |
| | 987 | 区域2 | SK184 | 陶器 | 大甕 | 備前 | | | | |
| | 988 | 区域2 | SK183 | 陶器 | 大甕 | 備前 | (55.4) | | | |
| | 989 | 区域2 | SK183 | 陶器 | 大甕 | 備前 | | (37.5) | | |
| | 990 | 区域2 | SK183 | 陶器 | 大甕 | 備前 | | (41.0) | | |
| 137 | 991 | 区域2 | SK183 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | (3.8) | (2.8) | 1.05 | |
| | 992 | 区域2 | SK183 | 京都系土師器 | ツキ | 在地 | 10.0 | | 3.6 | |
| | 993 | 区域2 | SK183 | 土師質土器 | 不明 | 不明 | | | | |
| | 994 | 区域2 | SK183 | 瓦質土器 | 羽釜 | 在地 | | | | |
| | 995 | 区域2 | SK183 | 瓦質土器 | 鉢 | 在地 | (31.7) | | 7.35 | |
| | 996 | 区域2 | SK183 | 瓦質土器 | 鉢 | 在地 | (32.2) | (23.6) | 10.1 | |
| | 997 | 区域2 | SK183 | 瓦質土器 | 火鉢 | 在地 | (20.0) | | | |
| 141 | 1006 | 区域2 | SK202 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | (11.2) | 6.5 | 2.3 | |
| | 1007 | 区域2 | SK202 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | (16.2) | | 2.5 | |
| | 1008 | 区域2 | SK202 | 青磁 | 瓶 | 中国(龍泉窯) | 7.5 | 7.0 | 19.6 | |
| 142 | 1009 | 区域2 | SK202 | 陶器 | 甕 | 備前 | (32.2) | | | |
| | 1010 | 区域2 | SK202 | 陶器 | 甕 | 備前 | | (25.4) | | |
| 143 | 1011 | 区域2 | SK205 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | (12.2) | | 2.4 | |
| | 1012 | 区域2 | SK205 | 陶器 | 壺 | 備前 | (11.0) | | | |
| 144 | 1013 | 区域2 | SK206 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.6 | | 1.3 | |
| | 1014 | 区域2 | SK206 | 陶器 | 舟德利 | 朝鮮 | | | | |
| | 1015 | 区域2 | SK206 | 陶器 | 舟德利 | 朝鮮 | | (13.0) | | |
| 146 | 1017 | 区域2 | SK210 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 12.0 | 5.8 | 2.5 | |
| | 1018 | 区域2 | SK210 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | (11.8) | 7.0 | 2.9 | |
| | 1019 | 区域2 | SK210 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 10.2 | 5.2 | 2.0 | |
| | 1020 | 区域2 | SK210 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | (16.2) | 8.8 | 3.5 | |
| | 148 | 1023 | 区域2 | SK214 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 12.7 | | 3.3 |
| 149 | 1024 | 区域2 | SK217 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | (13.0) | 6.0 | 3.6 | |
| 150 | 1025 | 区域2 | SK218 | 糸切り土師器 | 坏 | | 11.8 | 6.8 | 2.7 | |
| | 1026 | 区域2 | SK218 | 陶器 | 掃鉢 | 備前 | (28.3) | | | |
| 151 | 1027 | 区域2 | SK218 | 陶器 | 掃鉢 | 備前 | | | 11.8 | |
| 153 | 1028 | 区域2 | SX025 | 青花 | 碗 | 中国(漳州窯) | (15.5) | | | |
| | 1029 | 区域2 | SX025 | 陶器 | 掃鉢 | 備前 | 30.0 | (14.0) | 13.4 | |
| 155 | 1033 | 区域2 | SX015 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 12.3 | | 2.3 | |
| | 1034 | 区域2 | SX015 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 12.4 | | 2.1 | |
| | 1035 | 区域2 | SX015 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 17.0 | | 2.6 | |
| | 1036 | 区域2 | SX015 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | (12.0) | (5.6) | 2.1 | |
| | 1037 | 区域2 | SX015 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 11.2 | 5.8 | 2.7 | |
| | 1038 | 区域2 | SX015 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 11.8 | 6.2 | 2.6 | |
| | 1039 | 区域2 | SX015 | 瓦質土器 | 火鉢 | 在地 | | | | |
| | 157 | 1043 | 区域2 | SX016 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 10.8 | 5.2 | 2.6 |
| | 158 | 1046 | 区域2 | SP199 | 土師質土器 | 坏 | 在地 | 12.4 | 6.3 | 2.3 |
| 1047 | | 区域2 | SP098 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 7.8 | 4.8 | 2.0 | |
| 1048 | | 区域2 | SP088 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 9.2 | 5.4 | 2.2 | |
| 1049 | | 区域2 | SP136 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 11.3 | 6.3 | 2.85 | |
| 1050 | | 区域2 | SP012 | 土師質土器 | 皿 | 在地 | 11.3 | 6.1 | 2.9 | |
| 1051 | | 区域2 | SP069 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 12.4 | | 2.6 | |
| 161 | | 1057 | 区域2 | SD590 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | (6.2) | (4.6) | 1.1 |
| | 1058 | 区域2 | SD590 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | (8.0) | 4.0 | 1.9 | |
| | 1059 | 区域2 | SD590 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 7.3 | 5.7 | 2.1 | |
| | 1060 | 区域2 | SD590 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | (8.0) | 6.0 | 1.5 | |
| | 1061 | 区域2 | SD590 | 土師質土器 | 坏 | 周防 | (13.0) | (6.2) | 3.7 | |
| | 1062 | 区域2 | SD590 | 陶器 | 甕 | 備前 | | | | |
| | 1066 | 区域2 | SD590 | 瓦質土器 | 火鉢 | 在地 | | | | |
| | 1067 | 区域2 | SD590 | 瓦質土器 | 火鉢 | 在地 | | | | |
| | 1068 | 区域2 | SD590 | 瓦質土器 | 火鉢 | 在地 | | | | |
| 162 | 1071 | 区域2 | SD095 | 瓦質土器 | 鉢 | 在地 | | | | |
| | 1072 | 区域2 | SD095 | 瓦質土器 | 掃鉢 | 在地 | | | | |
| 164 | 1076 | 区域2 | SD123 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | (7.7) | 5.6 | 2.2 | |
| | 1077 | 区域2 | SD123 | 瓦質土器 | 火鉢 | 在地 | | (21.5) | | |
| 165 | 1078 | 区域2 | SD119 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | (7.2) | 5.6 | 1.2 | |
| | 1079 | 区域2 | SD119 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 7.6 | 5.9 | 1.25 | |
| | 1080 | 区域2 | SD119 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 7.6 | 6.2 | 1.0 | |
| | 1081 | 区域2 | SD119 | 土師質土器 | 坏 | 在地 | 11.4 | 7.5 | 3.2 | |
| | 1082 | 区域2 | SD119 | 土師質土器 | 坏 | 在地 | 12.4 | 7.7 | 3.0 | |
| | 1083 | 区域2 | SD119 | 土師質土器 | 坏 | 在地 | 12.0 | 8.2 | 3.15 | |
| | 1084 | 区域2 | SD119 | 土師質土器 | 坏 | 在地 | 11.8 | 8.3 | 3.4 | |
| | 1085 | 区域2 | SD119 | 土師質土器 | 坏 | 在地 | 12.6 | 9.6 | 3.4 | |
| | 1086 | 区域2 | SD119 | 土師質土器 | 坏 | 在地 | 12.5 | 8.7 | 3.45 | |
| | 1087 | 区域2 | SD119 | 土師質土器 | 坏 | 在地 | 12.2 | 7.7 | 3.9 | |
| | 1088 | 区域2 | SD119 | 土師質土器 | 坏 | 在地 | 12.6 | 8.1 | 2.9 | |
| | 1089 | 区域2 | SD119 | 土師質土器 | 坏 | 在地 | (13.0) | 9.0 | 3.2 | |
| | 1090 | 区域2 | SD119 | 土師質土器 | 坏 | 在地 | 12.5 | 8.5 | 3.3 | |
| | 1091 | 区域2 | SD119 | 土師質土器 | 坏 | 在地 | 12.2 | 8.1 | 3.2 | |
| | 1092 | 区域2 | SD119 | 土師質土器 | 坏 | 在地 | 12.5 | 8.1 | 3.5 | |
| 166 | 1093 | 区域2 | SD119 | 土師質土器 | 坏 | 在地 | 11.0 | 8.7 | 3.0 | |
| | 1094 | 区域2 | SD119 | 陶器 | 皿 | 瀬戸美濃 | | 4.0 | | |
| | 1095 | 区域2 | SD119 | 須恵質土器 | 鉢 | 不明 | (23.8) | | | |
| | 1096 | 区域2 | SD119 | 瓦質土器 | 鉢 | 在地 | (25.8) | | | |
| 167 | 1103 | 区域2 | SD174 | 土師質土器 | 燭台 | 在地 | (8.4) | (7.1) | 2.9 | |
| | 1104 | 区域2 | SD174 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 7.2 | 6.0 | 1.4 | |

中世大友府内町跡第 96 次調査出土遺物一覽 (土器・陶磁器⑩)

| 図版番号 | 遺構名 | 種類 | 器形 | 生産地 | 法量(cm) ()は復元径 | | | 備考 |
|------------------|------------------|--------|-----|-----------|----------------|--------|-----------|----|
| | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | |
| 167 | 1105 区域2 SD174 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 7.6 | 6.0 | 1.2 | |
| | 1106 区域2 SD174 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 7.55 | 6.55 | 1.3 | |
| | 1107 区域2 SD174 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 7.7 | 6.2 | 1.2 | |
| | 1108 区域2 SD174 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 7.8 | 6.5 | 1.5 | |
| | 1109 区域2 SD174 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 7.6 | 6.4 | 1.1 | |
| | 1110 区域2 SD174 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 7.2 | 6.5 | 1.4 | |
| | 1111 区域2 SD174 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 8.0 | 6.6 | 1.2 | |
| | 1112 区域2 SD174 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 7.8 | 6.0 | 1.6 | |
| | 1113 区域2 SD174 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 7.6 | 6.4 | 1.7 | |
| | 1114 区域2 SD174 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 7.9 | 6.2 | 1.4 | |
| | 1115 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | 10.8 | 9.0 | 2.5 | |
| | 1116 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | 7.1 | 6.8 | 3.65 | |
| 1117 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | (11.0) | (9.0) | 3.9 | | |
| 1118 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | 11.1 | 9.0 | 3.3 | | |
| 1119 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | 11.4 | 8.0 | 3.4 | | |
| 1120 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | 11.6 | 7.8 | 3.5 | | |
| 1121 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | 12.1 | 8.4 | 3.85 | | |
| 1122 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | 11.5 | 8.0 | 3.2 | | |
| 1123 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | (16.7) | (8.0) | 3.5 | | |
| 1124 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | (12.0) | (8.3) | 3.9 | | |
| 1125 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | (11.6) | (7.0) | 3.3 | | |
| 1126 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | 11.8 | 8.2 | 3.6 | | |
| 1127 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | (12.2) | (8.9) | 3.3 | | |
| 1128 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | 12.6 | 8.4 | 3.5 | | |
| 1129 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | 12.2 | 9.2 | 3.3 | | |
| 1130 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | 12.0 | 7.6 | 3.0 | | |
| 1131 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | 12.0 | 9.2 | 3.3 | | |
| 1132 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | 12.5 | 7.9 | 3.8 | | |
| 1133 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | 12.3 | 8.7 | 3.3 | | |
| 1134 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | (12.2) | 9.4 | 3.2 | | |
| 1135 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | (12.2) | 8.7 | 3.4 | | |
| 1136 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | 12.1 | 9.0 | 3.3 | | |
| 1137 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | 12.2~13.3 | 9.0 | 3.5 | | |
| 1138 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | 12.2 | 9.0 | 3.2 | | |
| 1139 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | (12.2) | 8.4 | 3.7 | | |
| 1140 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | (12.4) | (8.8) | 3.4 | | |
| 1141 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | (12.4) | (9.2) | 3.5 | | |
| 1142 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | (12.4) | (8.8) | 3.5 | | |
| 1143 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | 12.6 | 9.8 | 3.6 | | |
| 1144 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | 12.1 | 9.5 | 3.45 | | |
| 1145 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | 12.4 | 8.5 | 3.6 | | |
| 1146 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | 17.4 | 9.5 | 3.3 | | |
| 1147 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | 12.8 | 8.7 | 3.45 | | |
| 1148 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | (12.6) | 9.0 | 3.4 | | |
| 1149 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | 13.2 | 9.8 | 3.2 | | |
| 1150 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | (12.4) | (8.8) | 3.5 | | |
| 1151 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | (12.8) | 9.8 | 3.3 | | |
| 1152 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | 12.8 | 10.0 | 3.1 | | |
| 1153 区域2 SD174 | 土師質土器 | 环 | 在地 | (13.2) | 9.0 | 3.4 | | |
| 1154 区域2 SD174 | 瓦質土器 | 火鉢 | 在地 | (32.3) | | | | |
| 1155 区域2 SD174 | 瓦質土器 | 鉢 | 不明 | (28.2) | (11.0) | 10.6 | | |
| 171 | 1158 区域2 SD220 | 陶器 | 天目碗 | 中国 | | 4.2 | | |
| | 1159 区域2 SD220 | 土師質土器 | 环 | 在地 | (11.5) | 6.5 | 2.1 | |
| | 1160 区域2 SD220 | 土師質土器 | 环 | 在地 | | | | |
| | 1161 区域2 SD220 | 土師質土器 | 鉢 | 在地 | | | | |
| | 1162 区域2 SD220 | 土師質土器 | 鉢 | 在地 | | | | |
| | 1163 区域2 SD220 | 土師器 | 环 | 在地 | (12.1) | (6.5) | 3.6 | |
| | 1164 区域2 SD220 | 土師器 | 碗 | 在地 | (15.3) | (7.4) | 5.1 | |
| 1165 区域2 SD220 | 縄文土器 | 浅鉢 | 在地 | | | | 縄文晩期突帯文土器 | |
| 174 | 1168 区域2 SK215 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 8.0 | 6.0 | 1.0 | |
| | 1169 区域2 SK215 | 土師質土器 | 环 | 在地 | 12.2 | 5.2 | 3.0 | |
| 176 | 1170 区域2 SK233 | 土師器 | 碗 | 吉備 | (10.0) | 3.5 | 3.6 | |
| | 1171 区域2 SK233 | 土師器 | 碗 | 吉備 | 11.0 | 4.2 | 3.1 | |
| | 1172 区域2 SK233 | 土師器 | 碗 | 吉備 | 11.2 | 3.8 | 3.1 | |
| | 1173 区域2 SK233 | 土師器 | 碗 | 吉備 | (11.2) | 4.2 | 3.0 | |
| | 1174 区域2 SK233 | 土師質土器 | 环 | 在地 | (12.9) | 6.0 | 3.8 | |
| | 1175 区域2 SK233 | 土師質土器 | 环 | 在地 | (12.6) | (6.4) | 3.5 | |
| 178 | 1176 区域2 包含層・整地層 | 青花 | 皿 | 中国(景德鎮) | (10.4) | 5.0 | 2.3 | |
| | 1177 区域2 包含層・整地層 | 青磁 | 碗 | 中国(龍泉窯) | | | | |
| | 1178 区域2 包含層・整地層 | 青磁 | 皿 | 中国(龍泉窯) | (11.4) | 3.8 | 2.5 | |
| | 1179 区域2 包含層・整地層 | 青磁 | 皿 | 中国(龍泉窯) | 12.0 | 4.6 | 2.9 | |
| | 1180 区域2 包含層・整地層 | 陶器 | 壺 | 中国 | | | | |
| | 1181 区域2 包含層・整地層 | 陶器 | 壺 | 中国(磁州窯) | | | | |
| | 1182 区域2 包含層・整地層 | 白磁 | 皿 | 中国 | (15.4) | (7.8) | 3.0 | |
| | 1183 区域2 包含層・整地層 | 青磁 | 瓶 | 中国(龍泉窯) | | | | |
| | 1184 区域2 包含層・整地層 | 青磁 | 碗 | 中国(龍泉窯) | | (6.3) | | |
| | 1185 区域2 包含層・整地層 | 陶器 | 掃鉢 | 備前 | | (14.0) | | |
| | 1186 区域2 包含層・整地層 | 陶器 | 鉢 | 備前 | (20.7) | (11.8) | 4.45 | |
| | 1187 区域2 包含層・整地層 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 5.0 | | 1.7 | |
| | 1188 区域2 包含層・整地層 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.6 | | 2.0 | |
| | 1189 区域2 包含層・整地層 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 13.4 | 4.6 | 2.6 | |
| 1190 区域2 包含層・整地層 | 土師質土器 | 环 | 在地 | 11.6 | 7.6 | 3.1 | | |

中世大友府内町跡第 96 次調査出土遺物一覽 (土器・陶磁器①)

| 図版番号 | 遺構名 | 種類 | 器形 | 生産地 | 法量 (cm) ()は復元径 | | | 備考 | |
|------|----------|---------|---------|-----|-----------------|--------|-------|-------|---------|
| | | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | |
| 178 | 1191 区域2 | 包含層・整地層 | 土師質土器 | 燭台 | 在地 | | 7.0 | | |
| | 1241 区域2 | 包含層・整地層 | 青花 | 皿 | 中国(景德鎮) | 9.0 | 4.5 | 2.4 | |
| | 1242 区域2 | 包含層・整地層 | 青花 | 皿 | 中国(景德鎮) | 9.6 | 4.8 | 2.6 | |
| | 1243 区域2 | 包含層・整地層 | 青花 | 皿 | 中国(景德鎮) | (10.4) | (6.2) | 2.2 | |
| | 1244 区域2 | 包含層・整地層 | 白磁 | 皿 | 中国 | 9.6 | 4.7 | 2.0 | |
| | 1245 区域2 | 包含層・整地層 | 白磁 | 皿 | 中国 | (10.2) | 5.5 | 2.5 | 見込みへラ記号 |
| | 1246 区域2 | 包含層・整地層 | 陶器 | 天目碗 | 中国 | (10.4) | | 4.8 | |
| | 1247 区域2 | 包含層・整地層 | 陶器 | 灯明皿 | 中国 | (10.7) | | | |
| 181 | 1248 区域2 | 包含層・整地層 | 華南三彩 | 香炉? | 中国 | | | | |
| | 1249 区域2 | 包含層・整地層 | 陶器 | 皿 | 瀬戸美濃 | 7.7 | 4.5 | 2.0 | |
| | 1250 区域2 | 包含層・整地層 | 陶器 | 梅瓶 | 瀬戸美濃 | | | | |
| | 1251 区域2 | 包含層・整地層 | 陶器 | 徳利 | 備前 | 5.2 | | | |
| | 1252 区域2 | 包含層・整地層 | 陶器 | 小壺 | 備前 | (4.4) | | | 底部へラ記号 |
| | 1253 区域2 | 包含層・整地層 | 陶器 | 小壺 | 備前 | | (5.7) | | |
| | 1254 区域2 | 包含層・整地層 | 陶器 | 鉢 | 備前 | (24.0) | | | |
| | 1255 区域2 | 包含層・整地層 | 陶器 | 大甕 | 備前 | | | | |
| | 1256 区域2 | 包含層・整地層 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 4.8 | | 1.6 | |
| | 1257 区域2 | 包含層・整地層 | 土師器 | 小皿 | 在地 | 5.3 | | 1.5 | |
| | 1258 区域2 | 包含層・整地層 | 土師器 | 灯明皿 | 在地 | 8.3 | | 1.55 | |
| | 1259 区域2 | 包含層・整地層 | 土師器 | 坏 | 在地 | 8.3 | | 2.1 | |
| | 1260 区域2 | 包含層・整地層 | 土師器 | 灯明皿 | 在地 | 9.0 | | 2.3 | |
| | 1261 区域2 | 包含層・整地層 | 土師器 | 坏 | 在地 | 10.0 | | 2.1 | |
| | 1262 区域2 | 包含層・整地層 | ロクロ目土師器 | 小皿 | 在地 | 4.8 | 3.3 | 1.3 | |
| | 1263 区域2 | 包含層・整地層 | ロクロ目土師器 | 皿 | 在地 | 8.0 | 4.9 | 1.8 | |
| | 1264 区域2 | 包含層・整地層 | 土師質土器 | 皿 | 在地 | (7.6) | 4.2 | 1.9 | |
| | 1265 区域2 | 包含層・整地層 | 土師質土器 | 皿 | 在地 | (9.8) | (5.6) | 1.9 | |
| | 1266 区域2 | 包含層・整地層 | 土師質土器 | 皿 | 在地 | (10.2) | 6.0 | 2.2 | |
| 182 | 1267 区域2 | 包含層・整地層 | 土師質土器 | 坏 | 在地 | (11.6) | 5.9 | 2.8 | |
| | 1268 区域2 | 包含層・整地層 | 土師質土器 | 坏 | 在地 | 12.0 | 6.4 | 2.6 | |
| | 1269 区域2 | 包含層・整地層 | 土師質土器 | 燭台 | 在地 | | (5.9) | 1.9+α | |
| | 1270 区域2 | 包含層・整地層 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 4.4 | 3.5 | 1.7 | |
| | 1271 区域2 | 包含層・整地層 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 8.2 | 6.3 | 1.6 | 金雲母含む |
| | 1272 区域2 | 包含層・整地層 | 土師質土器 | 小皿 | 在地 | 11.8 | 9.0 | 3.15 | |
| | 1273 区域2 | 包含層・整地層 | 土師質土器 | 碗 | 吉備 | (10.1) | 4.0 | 2.8 | |
| | 1274 区域2 | 包含層・整地層 | 土師質土器 | 碗 | 吉備 | (11.2) | 3.8 | 3.1 | |
| | 1275 区域2 | 包含層・整地層 | 土師質土器 | 坏 | 在地 | (12.6) | (7.0) | 3.5 | |
| | 1276 区域2 | 包含層・整地層 | 土師質土器 | 坏 | 在地 | (12.3) | (6.6) | 3.5 | |
| | 1277 区域2 | 包含層・整地層 | 土師質土器 | 坏 | 在地 | 12.6 | 6.6 | 3.6 | |
| | 1278 区域2 | 包含層・整地層 | 土師質土器 | 不明 | 在地 | | | | |
| | 1279 区域2 | 包含層・整地層 | 瓦質土器 | 火鉢 | 在地 | | | | |
| 183 | 1280 区域2 | 包含層・整地層 | 須恵質土器 | 鉢 | 東播磨 | (24.8) | | | |
| | 1281 区域2 | 包含層・整地層 | 須恵質土器 | 鉢 | 東播磨 | | (8.0) | | |
| 187 | 1356 区域2 | 包含層・整地層 | 土師質土器 | 皿 | 在地 | 8.8 | 4.2 | 2.1 | |
| | 1357 区域2 | 包含層・整地層 | 青花 | 皿 | 中国(漳州窯) | (10.2) | (4.9) | 2.65 | |
| | 1358 区域2 | 包含層・整地層 | 陶器 | 四耳壺 | タイ | | | | |
| 188 | 1359 区域2 | 包含層・整地層 | 京都系土師器 | 皿 | 在地 | 8.1 | | 2.35 | |
| | 1360 区域2 | 包含層・整地層 | 青磁 | 碗 | 中国(龍泉窯) | (11.9) | 5.6 | 5.15 | |
| | 1361 区域2 | 包含層・整地層 | 瓦質土器 | 鉢 | 在地 | (19.8) | | | |
| | 1362 区域2 | 包含層・整地層 | 瓦質土器 | 鉢 | 在地 | | | | |

中世大友府内町跡第 96 次調査出土遺物一覽 (土製品①)

| 図版番号 | 遺構名 | 種類 | 材質 | 部位・状態 | 寸法 (cm) | | | | | | 備考 |
|------|---------|-------|----|-------|---------|-----|----|-----|----|-----|----|
| | | | | | 長さ | 幅 | 孔径 | 孔径 | 孔径 | 孔径 | |
| 15 | 1 区域1B | SF530 | 土鍾 | 土師質 | 長さ | 4.9 | 幅 | 1.1 | 孔径 | 0.3 | |
| | 9 区域1B | SD400 | 土鍾 | 土師質 | 長さ | 5.1 | 幅 | 2.0 | 孔径 | 0.5 | |
| 16 | 10 区域1B | SD400 | 土鍾 | 土師質 | 長さ | 5.0 | 幅 | 2.1 | 孔径 | 0.5 | |
| | 11 区域1B | SD400 | 土鍾 | 土師質 | 長さ | 4.9 | 幅 | 1.8 | 孔径 | 0.4 | |
| | 12 区域1B | SD400 | 土鍾 | 土師質 | 長さ | 4.9 | 幅 | 1.9 | 孔径 | 0.5 | |
| | 13 区域1B | SD400 | 土鍾 | 土師質 | 長さ | 5.3 | 幅 | 1.1 | 孔径 | 0.3 | |
| | 14 区域1B | SD400 | 土鍾 | 土師質 | 長さ | 5.3 | 幅 | 2.1 | 孔径 | 0.6 | |
| 17 | 18 区域1B | SX387 | 土鍾 | 土師質 | 長さ | 5.5 | 幅 | 1.2 | 孔径 | 0.4 | |
| 19 | 27 区域1B | SK508 | 土鍾 | 土師質 | 長さ | 5.2 | 幅 | 2.1 | 孔径 | 0.5 | |
| | 28 区域1B | SK508 | 土鍾 | 土師質 | 長さ | 4.7 | 幅 | 1.7 | 孔径 | 0.4 | |
| | 38 区域1B | SK509 | 土鍾 | 土師質 | 長さ | 4.2 | 幅 | 2.0 | 孔径 | 0.6 | |
| | 39 区域1B | SK509 | 土鍾 | 土師質 | 長さ | 4.2 | 幅 | 2.2 | 孔径 | 0.5 | |
| | 40 区域1B | SK509 | 土鍾 | 土師質 | 長さ | 4.4 | 幅 | 1.9 | 孔径 | 0.5 | |
| | 41 区域1B | SK509 | 土鍾 | 土師質 | 長さ | 4.4 | 幅 | 2.1 | 孔径 | 0.5 | |
| | 42 区域1B | SK509 | 土鍾 | 土師質 | 長さ | 4.4 | 幅 | 2.0 | 孔径 | 0.5 | |
| | 43 区域1B | SK509 | 土鍾 | 土師質 | 長さ | 4.8 | 幅 | 2.0 | 孔径 | 0.6 | |
| | 44 区域1B | SK509 | 土鍾 | 土師質 | 長さ | 4.6 | 幅 | 2.0 | 孔径 | 0.6 | |
| | 45 区域1B | SK509 | 土鍾 | 土師質 | 長さ | 4.7 | 幅 | 2.1 | 孔径 | 0.5 | |
| 20 | 46 区域1B | SK509 | 土鍾 | 土師質 | 長さ | 4.8 | 幅 | 2.2 | 孔径 | 0.5 | |
| | 47 区域1B | SK509 | 土鍾 | 土師質 | 長さ | 4.9 | 幅 | 2.0 | 孔径 | 0.6 | |
| | 48 区域1B | SK509 | 土鍾 | 土師質 | 長さ | 4.9 | 幅 | 1.9 | 孔径 | 0.5 | |
| | 49 区域1B | SK509 | 土鍾 | 土師質 | 長さ | 5.1 | 幅 | 1.7 | 孔径 | 0.6 | |
| | 50 区域1B | SK509 | 土鍾 | 土師質 | 長さ | 4.6 | 幅 | 1.2 | 孔径 | 0.6 | |
| | 51 区域1B | SK509 | 土鍾 | 土師質 | 長さ | 5.3 | 幅 | 2.0 | 孔径 | 0.6 | |
| | 52 区域1B | SK509 | 土鍾 | 土師質 | 長さ | 5.4 | 幅 | 2.0 | 孔径 | 0.6 | |
| | 53 区域1B | SK509 | 土鍾 | 土師質 | 長さ | 5.3 | 幅 | 2.2 | 孔径 | 0.6 | |
| | 54 区域1B | SK509 | 土鍾 | 土師質 | 長さ | 5.3 | 幅 | 2.2 | 孔径 | 0.7 | |

中世大友府内町跡第 96 次調査出土遺物一覧（土製品②）

| 図版番号 | 遺構名 | | | 種類 | 材質 | 寸法(cm) | | | | | | 備考 |
|------|--------|---------|---------|------------|-----|--------|------|-----|------|-----|-------|----|
| | | | | | | 部位・状態 | 長さ | 幅 | 厚さ | 孔径 | 重量(g) | |
| 20 | 55 | 区域 1 B | SK509 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 5.3 | 幅 | 2.1 | 孔径 | 0.5 | |
| | 56 | 区域 1 B | SK509 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 5.4 | 幅 | 1.9 | 孔径 | 0.5 | |
| 36 | 91 | 区域 1 B | SK567 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 5.2 | 幅 | 2.0 | 孔径 | 0.5 | |
| | 92 | 区域 1 B | SK567 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 5.2 | 幅 | 2.1 | 孔径 | 0.5 | |
| | 93 | 区域 1 B | SK567 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 4.4 | 幅 | 2.3 | 孔径 | 0.5 | |
| 40 | 97 | 区域 1 A | SK253 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 4.1 | 幅 | 1.0 | 孔径 | 0.5 | |
| 43 | 100 | 区域 1 A | SK314 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 4.8 | 幅 | 1.1 | 孔径 | 0.5 | |
| 48 | 102 | 区域 1 B | SK399 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 5.0 | 幅 | 2.0 | 孔径 | 0.5 | |
| 84 | 623 | 区域 1 A | SP294 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 3.5 | 幅 | 0.9 | 孔径 | 0.3 | |
| | 624 | 区域 1 A | SP338 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 3.8 | 幅 | 1.6 | 孔径 | 0.3 | |
| 88 | 664 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 4.8 | 幅 | 1.2 | 孔径 | 0.3 | |
| | 665 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 土錘 | 土師質 | 長さ | | 幅 | 1.35 | 孔径 | 0.3 | |
| | 666 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 土錘 | 土師質 | 長さ | | 幅 | 1.9 | 孔径 | 0.3 | |
| | 667 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 土錘 | 土師質 | 長さ | | 幅 | 1.2 | 孔径 | 0.3 | |
| | 668 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 土錘 | 土師質 | 長さ | | 幅 | 1.0 | 孔径 | 0.2 | |
| | 669 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 4.7 | 幅 | 2.1 | 孔径 | 0.2 | |
| | 670 | 区域 1 A | 包含層・整地層 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 5.2 | 幅 | 1.1 | 孔径 | 0.4 | |
| | 671 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 3.6 | 幅 | 1.6 | 孔径 | 0.3 | |
| | 672 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 4.4 | 幅 | 1.1 | 孔径 | 0.3 | |
| | 673 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 5.4 | 幅 | 0.9 | 孔径 | 0.2 | |
| | 674 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 4.6 | 幅 | 2.0 | 孔径 | 0.2 | |
| | 675 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 5.6 | 幅 | 2.0 | 孔径 | 0.2 | |
| | 676 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 4.6 | 幅 | 2.0 | 孔径 | 0.3 | |
| | 677 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 4.6 | 幅 | 1.9 | 孔径 | 0.3 | |
| | 678 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 4.8 | 幅 | 1.9 | 孔径 | 0.3 | |
| | 679 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 4.7 | 幅 | 2.1 | 孔径 | 0.2 | |
| | 680 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 5.0 | 幅 | 2.0 | 孔径 | 0.2 | |
| | 681 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 5.0 | 幅 | 2.2 | 孔径 | 0.3 | |
| | 682 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 5.7 | 幅 | 1.3 | 孔径 | 0.3 | |
| | 683 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 5.3 | 幅 | 2.0 | 孔径 | 0.2 | |
| 684 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 5.1 | 幅 | 2.1 | 孔径 | 0.3 | | |
| 685 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 4.3 | 幅 | 1.3 | 孔径 | 0.2 | | |
| 98 | 724 | 区域 2 | SF070 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 2.5 | 幅 | 0.7 | 孔径 | 0.3 | |
| | 725 | 区域 2 | SF070 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 3.3 | 幅 | 1.0 | 孔径 | 0.5 | |
| | 726 | 区域 2 | SF070 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 5.8 | 幅 | 1.5 | 孔径 | 0.3 | |
| | 745 | 区域 2 | SX001 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 3.2 | 幅 | 1.1 | 孔径 | 0.4 | |
| 121 | 943 | 区域 2 | SD209 | 土錘 | 土師質 | 長さ | | 幅 | 1.1 | 孔径 | 0.3 | |
| 131 | 962 | 区域 2 | SK049 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 3.8 | 幅 | 1.2 | 孔径 | 0.4 | |
| 140 | 1005 | 区域 2 | SK184 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 5.8 | 幅 | 1.4 | 孔径 | 0.5 | |
| 147 | 1021 | 区域 2 | SK213 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 2.3 | 幅 | 1.0 | 孔径 | 0.5 | |
| | 1022 | 区域 2 | SK213 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 4.0 | 幅 | 1.7 | 孔径 | 0.5 | |
| 158 | 1044 | 区域 2 | SP199 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 2.9 | 幅 | 0.7 | 孔径 | 0.3 | |
| | 1052 | 区域 2 | SP156 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 4.5 | 幅 | 1.1 | 孔径 | 0.5 | |
| | 1053 | 区域 2 | SP161 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 5.2 | 幅 | 1.5 | 孔径 | 0.5 | |
| 161 | 1063 | 区域 2 | SD590 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 4.3 | 幅 | 1.1 | 孔径 | 0.3 | |
| | 1064 | 区域 2 | SD590 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 3.8 | 幅 | 1.4 | 孔径 | 0.7 | |
| | 1065 | 区域 2 | SD590 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 5.9 | 幅 | 1.1 | 孔径 | 0.2 | |
| 166 | 1097 | 区域 2 | SD119 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 6.0 | 幅 | 1.8 | 孔径 | 0.3 | |
| 173 | 1166 | 区域 2 | SD220 | 土錘 | 土師質 | 長さ | | 幅 | 2.7 | 孔径 | 0.9 | |
| 178 | 1195 | 区域 2 | 包含層・整地層 | 土錘 | 土師質 | 長さ | | 幅 | 0.9 | 孔径 | 0.2 | |
| | 1196 | 区域 2 | 包含層・整地層 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 4.6 | 幅 | 1.5 | 孔径 | 0.6 | |
| 183 | 1284 | 区域 2 | 包含層・整地層 | 土錘 | 土師質 | 長さ | | 幅 | 0.8 | 孔径 | 0.3 | |
| | 1285 | 区域 2 | 包含層・整地層 | 土錘 | 土師質 | 長さ | | 幅 | 1.3 | 孔径 | 0.3 | |
| | 1286 | 区域 2 | 包含層・整地層 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 3.6 | 幅 | 1.2 | 孔径 | 0.3 | |
| | 1287 | 区域 2 | 包含層・整地層 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 4.9 | 幅 | 1.1 | 孔径 | 0.3 | |
| | 1287 | 区域 2 | 包含層・整地層 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 3.1 | 幅 | 1.95 | 孔径 | 0.5 | |
| 187 | 1355 | 区域 2 | 包含層・整地層 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 3.1 | 幅 | 1.95 | 孔径 | 0.5 | |
| 188 | 1363 | 区域 2 | 包含層・整地層 | 土錘 | 土師質 | 長さ | 3.9 | 幅 | 1.6 | 孔径 | 0.4 | |
| 88 | 686 | 区域 1 A | 包含層・整地層 | 人形 | 土師質 | 長さ | 2.1 | 幅 | 2.8 | 厚さ | 1.6 | |
| | 687 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 人形 | 土師質 | 長さ | 3.1 | 幅 | 4.0 | 厚さ | | |
| 54 | 115 | 区域 1 A | SE240 | 加工品 | 陶器 | 長さ | 4.8 | 幅 | 4.8 | 厚さ | 0.5 | |
| 88 | 688 | 区域 1 A | 包含層・整地層 | 加工品 | 瓦質 | 長さ | 3.5 | 幅 | 3.6 | 厚さ | 0.7 | |
| | 689 | 区域 1 A | 包含層・整地層 | 加工品 | 土師質 | 長さ | 3.95 | 幅 | 3.9 | 厚さ | 1.0 | |
| 107 | 796 | 区域 2 | SK005 | 加工品 | 瓦質 | 長さ | 4.9 | 幅 | 5.0 | 厚さ | 0.7 | |
| 88 | 691 | 区域 1 A | 包含層・整地層 | 独楽 | 土師質 | 長さ | 2.8 | 幅 | 2.8 | 高さ | 1.5 | |
| 124 | 949 | 区域 2 | SK020 | 土玉 (土鈴の玉?) | 土師質 | 長さ | 1.5 | 幅 | 1.55 | 厚さ | 1.5 | |
| 98 | 737 | 区域 2 | SF070周辺 | 土鈴 | 土師質 | | | | | | | |
| 178 | 1193 | 区域 2 | 包含層・整地層 | 土鈴 | 土師質 | 長さ | 4.1 | 幅 | 3.0 | | | |
| | 1194 | 区域 2 | 包含層・整地層 | 土鈴 | 土師質 | 長さ | 3.1 | | | | | |
| 183 | 1283 | 区域 2 | 包含層・整地層 | 土鈴 | 土師質 | 長さ | 4.2 | 幅 | 4.0 | | | |
| 178 | 1192 | 区域 2 | 包含層・整地層 | 灯芯押さえ | 土師質 | 径 | 2.3 | 厚さ | 0.3 | 孔径 | 0.6 | |
| 183 | 1282 | 区域 2 | 包含層・整地層 | 灯芯押さえ | 土師質 | 径 | | 厚さ | 0.3 | 孔径 | | |

中世大友府内町跡第 96 次調査出土遺物一覧（石製品①）

| 図版番号 | 遺構名 | | | 種類 | 材質 | 寸法(cm) | | | | | | 備考 | |
|------|-----|--------|-------|----|-----|--------|----|--------|----|-------|----|------|-----|
| | | | | | | 部位・状態 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量(g) | | | |
| 16 | 8 | 区域 1 B | SF400 | 茶臼 | 砂岩 | 下臼 | 長さ | | 幅 | | 厚さ | | |
| 17 | 19 | 区域 1 B | SX387 | 石臼 | 安山岩 | | 長さ | | 幅 | | 厚さ | | |
| 20 | 36 | 区域 1 B | SK509 | 茶臼 | 砂岩 | 上臼 | 径 | (20.0) | 高さ | 19.4 | 厚さ | 13.3 | |
| | 37 | 区域 1 B | SK509 | 茶臼 | 砂岩 | 上臼 | 径 | | 高さ | 4.1 | 厚さ | | |
| 31 | 82 | 区域 1 A | SK369 | 砥石 | 砂岩 | | 長さ | 10.3 | 幅 | 5.0 | 厚さ | 8.0 | 730 |

中世大友府内町跡第 96 次調査出土遺物一覽 (石製品②)

| 図版番号 | 遺構名 | | 種類 | 材質 | 寸法 (cm) | | | | | | | 備考 |
|------|------|---------------|------------|-------|---------|----|--------|----|------|--------|------|--------|
| | | | | | 部位・状態 | 長さ | 幅 | 高さ | 厚さ | 重量 (g) | | |
| 31 | 83 | 区域 1A SK369 | 茶臼 | 安山岩 | 上白 | 径 | (28.0) | 高さ | 8.9 | 厚さ | 8.9 | |
| 33 | 87 | 区域 1B SK404 | 砥石 | 結晶片岩 | | 長さ | 12.2 | 幅 | 4.5 | 厚さ | 2.0 | 143 |
| | 88 | 区域 1B SK404 | 砥石 | 結晶片岩 | | 長さ | 10.0 | 幅 | 5.9 | 厚さ | 2.0 | 201 |
| 54 | 116 | 区域 1A SE240 | 砥石 | 砂岩 | | 長さ | 7.8 | 幅 | 5.6 | 厚さ | 3.8 | 224 |
| | 117 | 区域 1A SE240 | 茶臼 | 安山岩 | 上白 | 径 | (19.5) | 高さ | | 高さ | 12.5 | 2005 |
| | 118 | 区域 1A SE240 | 茶臼 | 安山岩 | 上白 | 径 | | 高さ | | 高さ | | 1400 |
| | 119 | 区域 1A SE240 | 不明 | 凝灰岩 | | 径 | 10.0 | 高さ | 14.3 | 厚さ | 9.5 | 267 |
| | 120 | 区域 1A SE240 | 茶臼 | 安山岩 | 下白 | 径 | (38.2) | 高さ | | 高さ | | 1400 |
| 78 | 543 | 区域 1A SX310 | 硯 | 輝緑凝灰岩 | | 長さ | 6.8 | 幅 | 4.8 | 厚さ | 0.8 | |
| | 544 | 区域 1A SX310 | 硯 | 輝緑凝灰岩 | | 長さ | 2.1 | 幅 | 1.8 | 厚さ | 0.8 | 4.0 |
| | 545 | 区域 1A SX310 | 沈子 | 軽石 | | 長さ | 4.0 | 幅 | 4.3 | 厚さ | 1.7 | 7.0 |
| | 546 | 区域 1A SX310 | 沈子 | 軽石 | | 長さ | 4.5 | 幅 | 4.5 | 厚さ | 1.5 | 21.0 |
| | 547 | 区域 1A SX310 | 不明 (容器?) | 軽石 | | 長さ | 12.8 | 幅 | 13.4 | 厚さ | 4.1 | 270 |
| | 548 | 区域 1A SX310 | 砥石 | 砂岩 | | 長さ | 5.5 | 幅 | 2.4 | 厚さ | 0.6 | 10 |
| | 549 | 区域 1A SX310 | 砥石 | 砂岩 | | 長さ | 13.4 | 幅 | 2.9 | 厚さ | 0.2 | 3.0 |
| | 550 | 区域 1A SX310 | 軽石 | 砂岩 | | 長さ | 9.6 | 幅 | 5.4 | 厚さ | 0.8 | 26.0 |
| | 551 | 区域 1A SX310 | 砥石 | 砂岩 | | 長さ | 8.1 | 幅 | 4.8 | 厚さ | 1.6 | 135.0 |
| | 552 | 区域 1A SX310 | 不明 | 凝灰岩 | | 長さ | 10.6 | 幅 | 6.3 | 厚さ | 5.3 | |
| | 553 | 区域 1A SX310 | 鞆羽口 | 花崗岩 | | 長さ | 5.0 | 幅 | 10.8 | 厚さ | 5.0 | |
| | 554 | 区域 1A SX310 | 鞆羽口 | 花崗岩 | | 長さ | 14.4 | 幅 | 11.0 | 厚さ | 3.5 | |
| | 555 | 区域 1A SX310 | 軽石製品 | 軽石 | | 長さ | 9.6 | 幅 | 5.4 | 厚さ | 1.5 | |
| | 556 | 区域 1A SX310 | 軽石製品 | 軽石 | | 長さ | 5.9 | 幅 | 7.9 | 厚さ | 3.6 | 34.0 |
| 79 | 557 | 区域 1A SX310 | 軽石製品 | 軽石 | | 長さ | 6.8 | 幅 | 6.2 | 厚さ | 3.2 | 39.0 |
| | 558 | 区域 1A SX310 | 石臼 | 安山岩 | | 長さ | 32.4 | 幅 | 33.6 | 厚さ | 6.8 | 6950 |
| 84 | 627 | 区域 1B S473 | 砥石 | 砂岩 | | 長さ | 4.0 | 幅 | 3.0 | 厚さ | 1.9 | 25.0 |
| 89 | 700 | 区域 1A 包含層・整地層 | 砥石 | 砂岩 | | 長さ | 5.8 | 幅 | 2.2 | 厚さ | 0.9 | 15.0 |
| | 701 | 区域 1B 包含層・整地層 | 砥石 | 砂岩 | | 長さ | 6.9 | 幅 | 2.2 | 厚さ | 1.5 | 582.0 |
| | 702 | 区域 1B 包含層・整地層 | 茶臼 | 和泉砂岩 | 下白 | 長さ | | 幅 | | 高さ | | 332.0 |
| | 703 | 区域 1A 包含層・整地層 | 石鍋 | 滑石 | | 長さ | 4.3 | 幅 | 5.1 | 高さ | | |
| | 704 | 区域 1A 包含層・整地層 | 不明 (容器?) | 軽石 | | 長さ | 12.4 | 幅 | 11.3 | 高さ | 5.4 | 187.0 |
| | 705 | 区域 1A 包含層・整地層 | 管玉 | 碧玉? | | 長さ | 1.2 | 幅 | 3.0 | 孔径 | 2.5 | 0.5 |
| 98 | 727 | 区域 2 SF070 | 砥石 | 結晶片岩 | | 長さ | 10.6 | 幅 | 3.1 | 厚さ | 2.7 | 79.7 |
| | 728 | 区域 2 SF070 | 沈子 | 軽石 | | 長さ | 5.1 | 幅 | 6.0 | 厚さ | 2.5 | 17.5 |
| 107 | 798 | 区域 2 SK005 | 砥石 | 砂岩 | | 長さ | 4.35 | 幅 | 4.2 | 厚さ | 0.8 | 17.7 |
| | 799 | 区域 2 SK005 | 砥石 | 砂岩 | | 長さ | 7.3 | 幅 | 5.0 | 厚さ | 0.5 | 23.5 |
| | 800 | 区域 2 SK005 | 砥石 | 砂岩 | | 長さ | 11.3 | 幅 | 5.2 | 厚さ | 1.25 | 137.3 |
| 110 | 814 | 区域 2 SK013 | 手水鉢 | 凝灰岩 | | 長さ | 19.5 | 幅 | 14.6 | 厚さ | 10.8 | 2170.0 |
| 116 | 819 | 区域 2 SK022 | 石臼 | 安山岩 | | 径 | 32.9 | 幅 | 16.0 | 厚さ | 7.9 | 2740.0 |
| 125 | 952 | 区域 2 SK021 | 軽石 | 不明 | | 長さ | 3.7 | 幅 | 3.7 | 厚さ | 1.6 | 13.7 |
| 130 | 961 | 区域 2 SK047 | 砥石 | 結晶片岩 | | 縦 | 12.1 | 横 | 2.5 | 厚さ | 3.3 | 81.1 |
| 137 | 998 | 区域 2 SK183 | 茶臼 | 砂岩 | 上白 | 径 | 17.9 | 幅 | | 厚さ | 7.8 | 1500.0 |
| | 999 | 区域 2 SK183 | 茶臼 | 砂岩 | 下白 | 長さ | | 幅 | | 厚さ | | 341.0 |
| 138 | 1000 | 区域 2 SK183 | 茶臼 | 安山岩 | 下白 | 長さ | (39.6) | 幅 | | 厚さ | | 345.0 |
| | 1001 | 区域 2 SK183 | 砥石 | 砂岩 | | 長さ | 10.3 | 幅 | 6.2 | 厚さ | 2.8 | 230.0 |
| | 1002 | 区域 2 SK183 | 砥石 | 結晶片岩 | | 長さ | 4.7 | 幅 | 5.2 | 厚さ | 2.7 | 158.0 |
| | 1003 | 区域 2 SK183 | 砥石 | 砂岩 | | 長さ | 6.9 | 幅 | 3.4 | 厚さ | 3.5 | 139.0 |
| | 1016 | 区域 2 SK206 | 不明 (スタンプ?) | 滑石 | | 長さ | 6.2 | 幅 | 2.1 | 厚さ | 0.8 | |
| 153 | 1030 | 区域 2 SX025 | 砥石 | 砂岩 | | 縦 | 5.4 | 横 | 4.3 | 厚さ | 3.1 | 75.2 |
| | 1031 | 区域 2 SX025 | 砥石 | 結晶片岩 | | 縦 | 17.9 | 横 | 4.5 | 厚さ | 4.5 | 298.7 |
| 158 | 1045 | 区域 2 SP199 | 砥石 | 砂岩 | | 長さ | 4.6 | 幅 | 2.8 | 厚さ | 2.2 | 37.0 |
| 162 | 1073 | 区域 2 SD095 | 砥石 | 砂岩 | | 長さ | 6.0 | 幅 | 3.0 | 厚さ | 0.8 | |
| 166 | 1098 | 区域 2 SD119 | 砥石 | 砂岩 | | 長さ | 5.2 | 幅 | 3.5 | 厚さ | 1.0 | 34.0 |
| | 1099 | 区域 2 SD119 | 砥石 | 砂岩 | | 長さ | 4.0 | 幅 | 3.2 | 厚さ | 0.7 | 17.0 |
| 171 | 1156 | 区域 2 SD174 | 石鍋 | 滑石 | | 長さ | | 幅 | | 高さ | | |
| 173 | 1167 | 区域 2 SD220 | 砥石 | 結晶片岩 | | 長さ | 10.8 | 幅 | 2.7 | 厚さ | 1.7 | 79.0 |
| 179 | 1205 | 区域 2 包含層・整地層 | 石鍋 | 滑石 | | 長さ | 5.7 | 幅 | | 厚さ | 1.8 | |
| | 1206 | 区域 2 包含層・整地層 | 沈子 | 軽石 | | 長さ | 5.9 | 幅 | 6.3 | 厚さ | 2.9 | 46.2 |
| | 1207 | 区域 2 包含層・整地層 | 茶臼 | 輝緑凝灰岩 | 下白 | 長さ | | 幅 | | 高さ | | 182.5 |
| | 1208 | 区域 2 包含層・整地層 | 砥石 | 砂岩 | | 長さ | 6.4 | 幅 | 3.3 | 厚さ | 1.0 | 36.2 |
| | 1209 | 区域 2 包含層・整地層 | 砥石 | 砂岩 | | 長さ | 8.6 | 幅 | 5.3 | 厚さ | 2.0 | 213.1 |
| | 1210 | 区域 2 包含層・整地層 | 砥石 | 砂岩 | | 長さ | 12.0 | 幅 | 3.7 | 厚さ | 1.5 | 104.9 |
| | 1288 | 区域 2 包含層・整地層 | 硯 | 輝緑凝灰岩 | | 長さ | 4.8 | 幅 | 6.5 | 厚さ | 1.5 | 71.8 |
| | 1289 | 区域 2 包含層・整地層 | 砥石 | 砂岩 | | 長さ | 7.4 | 幅 | 2.3 | 厚さ | 2.1 | 84.1 |
| 183 | 1290 | 区域 2 包含層・整地層 | 茶臼 | 砂岩 | 下白 | 長さ | | 幅 | | 厚さ | | |
| | 1291 | 区域 2 包含層・整地層 | 砥石 | 砂岩 | | 長さ | 12.2 | 幅 | 6.9 | 厚さ | 2.2 | |
| | 1366 | 区域 2 包含層・整地層 | 砥石 | 砂岩 | | 径 | 4.25 | 径 | 3.55 | 厚さ | 1.7 | 28.8 |
| 188 | 1367 | 区域 2 包含層・整地層 | 砥石 | 砂岩 | | 径 | 6.95 | 径 | 3.95 | 厚さ | 1.7 | 55.7 |

中世大友府内町跡第 96 次調査出土遺物一覽 (金属製品)

| 図版番号 | 遺構名 | | 種類 | 材質 | 寸法 (cm) | | | | | | | 備考 |
|------|-----|-------------|------|----|---------|-----|----|------|--------|-----|-------|------|
| | | | | | 長さ | 幅 | 高さ | 厚さ | 重量 (g) | | | |
| 78 | 533 | 区域 1A SX310 | 飾金具 | 銅 | 長さ | 1.3 | 幅 | 1.7 | 厚さ | 1.5 | 1.1 g | |
| | 534 | 区域 1A SX310 | 不明 | 銅 | 長さ | 3.1 | 幅 | 0.65 | 厚さ | 0.6 | 6.2 | |
| | 535 | 区域 1A SX310 | 釘? | 銅 | 長さ | 3.0 | 幅 | 0.3 | 厚さ | 0.4 | 1.4 | |
| | 536 | 区域 1A SX310 | 毛抜き | 鉄 | 長さ | 9.8 | 幅 | 2.0 | 厚さ | 0.3 | 18.7 | |
| | 537 | 区域 1A SX310 | 掛仏 | 銅 | 長さ | 6.0 | 幅 | 2.9 | 厚さ | 1.3 | 20.7 | 千手観音 |
| | 538 | 区域 1A SX310 | 目貫金具 | 銅 | 長さ | 2.5 | 幅 | 0.9 | 厚さ | 1.5 | 1.4 | |
| | 539 | 区域 1A SX310 | 目貫金具 | 銅 | 長さ | 1.3 | 幅 | 2.7 | 厚さ | 0.6 | 3.3 | |
| | 540 | 区域 1B SX310 | 小柄 | 銅 | 長さ | 5.0 | 幅 | 1.3 | 厚さ | 0.3 | | |
| 82 | 611 | 区域 1A SX370 | 不明 | 銅 | 長さ | 3.4 | 幅 | 2.8 | 厚さ | 0.3 | 7.7 | |

中世大友府内町跡第 96 次調査出土遺物一覧（金属製品）

| 図版番号 | 遺構名 | | | 種類 | 材質 | 寸法(cm) | | | | | 備考 | | |
|------|------|--------|-------------|------|----|--------|-------|----|------|-----|------|-------|-------------|
| | | | | | | 重量(g) | | | | | | | |
| 84 | 628 | 区域 1 B | SP386 | 分銅 | 銅 | 径 | 1.6 | | 厚さ | 0.9 | 10.7 | 太鼓形分銅 | |
| | 629 | 区域 1 B | SP409 | 分銅 | 銅 | 長さ | 3.0 | 幅 | 2.0 | 厚さ | 1.4 | 38.5 | 齒形分銅・「壹両」刻字 |
| 88 | 692 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 錠前 | 銅 | 長さ | 2.9 | 幅 | 8.1 | 厚さ | 0.7 | 21.3 | |
| | 693 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 把手? | 銅 | 長さ | 3.9 | 幅 | 0.65 | 厚さ | 0.1 | 1.2 | |
| | 694 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 鍔金具 | 銅 | 長さ | 3.15 | 幅 | 2.7 | 厚さ | 0.3 | 8.6 | |
| | 695 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 不明 | 銅 | 長さ | 3.5 | 幅 | 0.3 | 厚さ | 0.2 | 0.9 | |
| | 696 | 区域 1 B | 包含層・整地層 | 目貫金具 | 銅 | 長さ | 1.3 | 幅 | 2.8 | 厚さ | 0.2 | 2.6 | |
| 98 | 729 | 区域 2 | SF070 | 紅皿 | 銅 | 口径 | (5.6) | 底径 | 1.7 | 器高 | 2.0 | 10.0 | |
| 107 | 801 | 区域 2 | SK005 | 釘 | 鉄 | 長さ | 9.7 | 幅 | 1.1 | 厚さ | 0.5 | | |
| | 802 | 区域 2 | SK005 | 火箸 | 鉄 | 長さ | 22.2 | 幅 | 0.5 | 厚さ | 0.3 | | |
| 120 | 942 | 区域 2 | SD110・SD018 | 小柄 | 銅 | 長さ | 8.4 | 幅 | 1.2 | 厚さ | 0.4 | 18.4 | |
| 179 | 1202 | 区域 2 | 包含層・整地層 | 不明 | 銅 | 長さ | 4.1 | 幅 | 0.6 | 厚さ | 0.2 | 2.1 | |
| | 1203 | 区域 2 | 包含層・整地層 | 小柄 | 銅 | 長さ | 7.0 | 幅 | 1.4 | 厚さ | 0.3 | 7.0 | |
| | 1204 | 区域 2 | 包含層・整地層 | 分銅 | 銅 | 長さ | 2.8 | 幅 | 2.0 | 厚さ | 1.2 | 37.0 | 齒形分銅・「壹両」刻字 |
| | 1293 | 区域 2 | 包含層・整地層 | 筭 | 銅 | 長さ | 15.1 | 幅 | 1.3 | 厚さ | 0.3 | | |
| | 1294 | 区域 2 | 包含層・整地層 | 飾金具 | 銅 | 径 | 1.0 | | | 厚さ | 0.3 | 0.5 | |
| 183 | 1295 | 区域 2 | 包含層・整地層 | 鉾 | 銅 | 径 | 1.2 | 長さ | 1.6 | 厚さ | 1.0 | 1.7 | |
| | 1296 | 区域 2 | 包含層・整地層 | 不明 | 銅 | 長さ | 3.2 | 幅 | 0.4 | 厚さ | 0.3 | 1.9 | |
| | 1297 | 区域 2 | 包含層・整地層 | 青銅製品 | 銅 | 長さ | 2.6 | 幅 | 0.4 | 厚さ | 0.2 | 0.8 | |

中世大友府内町跡第 96 次調査出土遺物一覧（ガラス製品①）

| 図版番号 | 遺構名 | | | 種類 | 寸法(cm) | | | | | 備考 | | |
|------|------|----------|----------|-------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--|
| | | | | | 重量(g) | | | | | | | |
| 118 | 820 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 821 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 822 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.5 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 823 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 824 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 825 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.2 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 826 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.2 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 827 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 828 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 829 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 830 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 831 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 832 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 833 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 834 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 835 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 836 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.5 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 837 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 838 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 839 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.5 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 840 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.1 | 0.1 | |
| | 841 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.2 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 842 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.5 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 843 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.2 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 844 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 1.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 845 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 2.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 846 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 3.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 847 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.5 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 848 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 849 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 850 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.2 | |
| | 851 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 852 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 853 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 854 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.2 | |
| | 855 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 856 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 857 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 858 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.5 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 859 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 860 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 861 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.2 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 862 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 863 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.2 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 864 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 865 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| | 866 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 867 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | | |
| 868 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.2 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | | |
| 869 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | | |
| 870 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | | |
| 871 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.4 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | | |
| 872 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.5 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | | |
| 873 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | | |
| 874 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.5 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | | |
| 875 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.5 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | | |
| 876 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | | |

中世大友府内町跡第 96 次調査出土遺物一覧 (ガラス製品②)

| 図版番号 | 遺構名 | | 種類 | 寸法 (cm) | | | | | | | 備考 |
|----------|--------|----------|-------|---------|-----|----|--------|----|-----|------|----|
| | | | | 長さ | 幅 | 孔径 | 重量 (g) | | | | |
| 877 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 878 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.2 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 879 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.5 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 880 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.2 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 881 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 882 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.2 | 幅 | 0.5 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 883 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.5 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 884 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.5 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 885 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.2 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.1 | 0.1 | |
| 886 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.5 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 887 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.5 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 888 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.4 | 幅 | 0.5 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 889 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.5 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 890 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.5 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 891 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 892 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 893 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 894 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 895 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.45 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 896 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 897 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 898 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.3 | 孔径 | 0.1 | 0.1 | |
| 899 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 900 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 901 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.4 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 902 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 903 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.3 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 118 904 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.2 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 905 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.2 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 906 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 907 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.4 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 908 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.4 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 909 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.2 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 910 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 911 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.4 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 912 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.2 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 913 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 914 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 915 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.2 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 916 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.2 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 917 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 918 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.4 | 幅 | 0.5 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 919 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 1.5 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 920 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.2 | 幅 | 2.5 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 921 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 3.5 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 922 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 923 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.1 | 0.1 | |
| 924 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.4 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 925 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.5 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 926 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.2 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 927 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.2 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 928 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 929 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 930 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.1 | 0.1 | |
| 931 | 区域 2 | L 46区整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 88 697 | 区域 1 A | 包含層・整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.2 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 698 | 区域 1 A | 包含層・整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 699 | 区域 1 A | 包含層・整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.3 | 孔径 | 0.2 | 0.1 | |
| 1197 | 区域 2 | 包含層・整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.3 | 厚さ | 0.3 | 0.1 | |
| 1198 | 区域 2 | 包含層・整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.4 | 幅 | 0.4 | 孔径 | 0.1 | 0.1 | |
| 1199 | 区域 2 | 包含層・整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 厚さ | 0.2 | 0.1 | |
| 1200 | 区域 2 | 包含層・整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.5 | 幅 | 0.3 | 厚さ | 0.2 | 0.1 | |
| 1201 | 区域 2 | 包含層・整地層 | ガラス小玉 | 長さ | 0.3 | 幅 | 0.4 | 厚さ | 0.3 | 0.1 | |
| 183 1292 | 区域 2 | 包含層・整地層 | 水晶玉 | 径 | 2.3 | | | | | 14.6 | |

中世大友府内町跡第 96 次調査出土遺物一覧 (銅銭①)

| 図版番号 | 遺構名 | 銭貨名 | 国・王朝名 | 初鑄年 | 重さ (g) | 直径 (cm) | 書体 | 備考 | |
|------|--------|--------|-------|------|--------|---------|-----|-----|----|
| 38 | 96 | 区域 1 A | SK241 | 皇宋通寶 | 北宋 | 1038 | 2.2 | 2.5 | 篆書 |
| 40 | 99 | 区域 1 A | SK253 | 政和通寶 | 北宋 | 1111 | 1.6 | 2.5 | 真書 |
| 55 | 121 | 区域 1 A | SK240 | 元豊通寶 | 北宋 | 1078 | 1.8 | 2.4 | 篆書 |
| 57 | 128 | 区域 1 A | SE359 | 至道元寶 | 北宋 | 995 | 2.9 | 2.5 | 草書 |
| 129 | 区域 1 A | SE359 | 政和通寶 | 北宋 | 1111 | 2.3 | 2.4 | 篆書 | |
| 559 | 区域 1 A | SX310 | 開元通寶 | 唐 | 621 | 1.6 | 2.5 | | |
| 560 | 区域 1 A | SX310 | 至道元寶 | 北宋 | 995 | 3.7 | 2.5 | 行書 | |
| 561 | 区域 1 A | SX310 | 至道元寶 | 北宋 | 995 | 0.8 | | 行書 | |
| 562 | 区域 1 A | SX310 | 至道元寶 | 北宋 | 995 | 2.4 | 2.5 | 草書 | |
| 563 | 区域 1 A | SX310 | 天聖元寶 | 北宋 | 1023 | 2.1 | 2.4 | 真書 | |
| 564 | 区域 1 A | SX310 | 治平元寶 | 北宋 | 1064 | 1.3 | 2.3 | 真書 | |
| 565 | 区域 1 A | SX310 | 熙寧元寶 | 北宋 | 1068 | 2.7 | 2.5 | 真書 | |
| 566 | 区域 1 A | SX310 | 熙寧元寶 | 北宋 | 1068 | 2.6 | 2.4 | 篆書 | |

中世大友府内町跡第 96 次調査出土遺物一覽 (銅錢②)

| 図版番号 | 遺構名 | 錢貨名 | 国・王朝名 | 初鑄年 | 重さ(g) | 直径(cm) | 書体 | 備考 |
|---------------|-----------|-----------|-------|------|-------|--------|-----|-----|
| 64 | 567 区域 1A | SX310 | 熙寧元寶 | 北宋 | 1068 | 4.0 | 2.5 | 篆書 |
| | 568 区域 1A | SX310 | 元祐通寶 | 北宋 | 1086 | 2.5 | 2.4 | 篆書 |
| | 569 区域 1A | SX310 | 元祐通寶 | 北宋 | 1086 | 2.8 | 2.5 | 行書 |
| | 570 区域 1A | SX310 | 聖宋元寶 | 北宋 | 1101 | 1.1 | 2.3 | 篆書 |
| | 571 区域 1A | SX310 | 聖宋元寶 | 北宋 | 1101 | 1.8 | 2.4 | 篆書 |
| | 572 区域 1A | SX310 | 宣和通寶 | 北宋 | 1119 | 3.1 | 2.4 | 真書 |
| | 573 区域 1A | SX310 | 洪武通寶 | 明 | 1368 | 2.3 | 2.4 | |
| | 574 区域 1A | SX310 | | | | 2.3 | 2.3 | |
| | 575 区域 1A | SX310 | | | | 2.6 | 2.4 | |
| | 576 区域 1A | SX310 | | | | 1.1 | | |
| | 577 区域 1A | SX310 | | | | 2.8 | 2.4 | |
| | 578 区域 1A | SX310 | | | | 0.6 | | |
| | 579 区域 1A | SX310 | | | | 0.9 | | |
| | 580 区域 1A | SX310 | | | | 1.8 | 2.3 | |
| 81 | 581 区域 1A | SX310 | | | 3.1 | 2.4 | | |
| | 582 区域 1A | SX310 | | | 0.5 | | | |
| | 583 区域 1A | SX310 | | | 1.3 | | 篆書 | |
| | 706 区域 1B | H33 1B | 景祐元寶 | 北宋 | 1034 | 2.9 | 2.5 | 篆書 |
| | 707 区域 1B | I35 攪乱 1B | 熙寧元寶 | 北宋 | 1068 | 2.9 | 2.5 | 真書 |
| 89 | 708 区域 1A | H32 1A | 元豐通寶 | 北宋 | 1078 | 2.8 | 2.5 | 篆書 |
| | 709 区域 1A | I36 1A | 元祐通寶 | 北宋 | 1086 | 3.1 | 2.5 | 行書 |
| | 710 区域 1A | H31 1A | 大定通寶 | 金 | 1178 | 0.5 | | |
| | 711 区域 1B | I34 1B | 朝鮮通寶 | 李氏朝鮮 | 1423 | 2.3 | 2.4 | |
| | 712 区域 1A | H31 1A | | | | 2.6 | 2.4 | |
| | 713 区域 1A | H34 1A | | | | 0.6 | | |
| | 714 区域 1A | H31 1A | 寬永通寶 | 日本 | 1636 | 1.0 | | |
| | 715 区域 1B | I35 1B | 寬永通寶 | 日本 | 1639 | 2.3 | 2.4 | |
| | 716 区域 1A | I34 1A | 寬永通寶 | 日本 | 1639 | 1.4 | 2.6 | |
| | 99 | 738 区域 2 | SF070 | 淳化元寶 | 北宋 | 990 | 2.4 | 2.4 |
| 739 区域 2 | | SF070 | 景德元寶 | 北宋 | 1004 | 2.9 | 2.5 | |
| 740 区域 2 | | SF070 | 至和元寶 | 北宋 | 1054 | 2.3 | 2.4 | 真書 |
| 741 区域 2 | | SF070 | 元祐通寶 | 北宋 | 1086 | 1.8 | 2.5 | 篆書 |
| 742 区域 2 | | SF070 | | | | 0.8 | | |
| 743 区域 2 | | SF070 | | | | 1.5 | | |
| 107 | | 803 区域 2 | SK005 | 開元通寶 | 唐 | 621 | 2.8 | 2.4 |
| | 804 区域 2 | SK005 | 咸平元寶 | 北宋 | 998 | 2.6 | 2.5 | |
| | 805 区域 2 | SK005 | 景德元寶 | 北宋 | 1004 | 3.1 | 2.5 | |
| | 806 区域 2 | SK005 | 至和通寶 | 北宋 | 1054 | 3.1 | 2.4 | 篆書 |
| | 807 区域 2 | SK005 | | | | 4.4 | 2.5 | |
| | 808 区域 2 | SK005 | | | | 2.5 | 2.4 | |
| | 118 | 932 区域 2 | SK027 | 開元通寶 | 唐 | 621 | 2.0 | 2.4 |
| 933 区域 2 | | SK027 | 祥符元寶 | 北宋 | 1009 | 2.8 | 2.5 | |
| 934 区域 2 | | SK027 | 天聖元寶 | 北宋 | 1023 | 4.0 | 2.5 | 真書 |
| 935 区域 2 | | SK027 | 嘉祐元寶 | 北宋 | 1056 | 2.7 | 2.5 | 真書 |
| 936 区域 2 | | SK027 | 元豐通寶 | 北宋 | 1078 | 3.5 | 2.4 | 篆書 |
| 937 区域 2 | | SK027 | 聖宋元寶 | 北宋 | 1101 | 2.9 | 2.5 | 行書 |
| 938 区域 2 | | SK027 | | | | 2.3 | 2.5 | |
| 124 951 区域 2 | SK020 | 嘉祐通寶 | 北宋 | 1056 | 3.5 | 2.5 | 篆書 | |
| 131 965 区域 2 | SK049 | | | | 1.1 | | | |
| 139 1004 区域 2 | SK183 | | | | 3.0 | 2.5 | | |
| 153 1032 区域 2 | SK025 | 紹聖元寶 | 北宋 | 1094 | 3.0 | 2.3 | 篆書 | |
| 155 | 1040 区域 2 | SK015 | 開元通寶 | 唐 | 621 | 1.9 | 2.3 | |
| | 1041 区域 2 | SK015 | 熙寧元寶 | 北宋 | 1068 | 4.0 | 2.5 | 篆書 |
| | 1042 区域 2 | SK015 | 元祐通寶 | 北宋 | 1086 | 3.5 | 2.4 | 行書 |
| | 1054 区域 2 | SP073 | 聖宋元寶 | 北宋 | 1101 | 2.1 | 2.5 | 篆書 |
| | 1055 区域 2 | SP104 | 天禧通寶 | 北宋 | 1017 | 3.0 | 2.5 | |
| | 1056 区域 2 | SP177 | | | | 3.6 | 2.4 | |
| 163 | 1074 区域 2 | S091 | 永樂通寶 | 明 | 1408 | 2.1 | 2.4 | |
| | 1100 区域 2 | SD119 | 景德元寶 | 北宋 | 1004 | 3.2 | 2.5 | |
| | 1101 区域 2 | SD119 | 熙寧元寶 | 北宋 | 1068 | 3.2 | 2.3 | 真書 |
| | 1102 区域 2 | SD119 | | | | 1.7 | | |
| 171 1157 区域 2 | S174 | 紹聖元寶 | 北宋 | 1094 | 2.5 | 2.5 | 行書 | |
| 179 | 1211 区域 2 | 包含層・整地層 | 咸平元寶 | 北宋 | 998 | 3.0 | 2.5 | |
| | 1212 区域 2 | 包含層・整地層 | 明道元寶 | 北宋 | 1032 | 2.1 | 2.5 | 真書 |
| | 1213 区域 2 | 包含層・整地層 | 皇宋通寶 | 北宋 | 1038 | 2.8 | 2.5 | 篆書 |
| | 1214 区域 2 | 包含層・整地層 | 皇宋通寶 | 北宋 | 1038 | 1.4 | 2.4 | 篆書 |
| | 1215 区域 2 | 包含層・整地層 | 皇宋通寶 | 北宋 | 1038 | 2.4 | 2.5 | 真書 |
| | 1216 区域 2 | 包含層・整地層 | 皇宋通寶 | 北宋 | 1038 | 2.4 | 2.5 | 篆書 |
| | 1217 区域 2 | 包含層・整地層 | 皇宋通寶 | 北宋 | 1038 | 2.4 | 2.5 | 真書 |
| | 1218 区域 2 | 包含層・整地層 | 皇宋通寶 | 北宋 | 1038 | 2.6 | 2.4 | 真書 |
| | 1219 区域 2 | 包含層・整地層 | 皇宋通寶 | 北宋 | 1038 | 2.1 | 2.4 | 真書 |
| | 1220 区域 2 | 包含層・整地層 | 嘉祐通寶 | 北宋 | 1056 | 2.8 | 2.5 | 真書 |
| | 1221 区域 2 | 包含層・整地層 | 熙寧元寶 | 北宋 | 1068 | 2.9 | 2.4 | 真書 |
| | 1222 区域 2 | 包含層・整地層 | 熙寧元寶 | 北宋 | 1068 | 3.5 | 2.5 | 篆書 |
| | 1223 区域 2 | 包含層・整地層 | 元豐通寶 | 北宋 | 1078 | 2.7 | 2.5 | 篆書 |
| | 1224 区域 2 | 包含層・整地層 | 元豐通寶 | 北宋 | 1078 | 2.4 | 2.4 | 真書 |
| | 1225 区域 2 | 包含層・整地層 | 元豐通寶 | 北宋 | 1078 | 2.6 | 2.4 | 行書 |
| | 1226 区域 2 | 包含層・整地層 | 元豐通寶 | 北宋 | 1078 | 2.2 | 2.4 | 行書 |
| | 1227 区域 2 | 包含層・整地層 | 聖宋元寶 | 北宋 | 1101 | 3.0 | 2.5 | 行書 |
| | 1228 区域 2 | 包含層・整地層 | 聖宋元寶 | 北宋 | 1101 | 3.3 | 2.5 | 行書 |
| | 1229 区域 2 | 包含層・整地層 | 聖宋元寶 | 北宋 | 1101 | 3.0 | 2.4 | 行書 |
| | 1230 区域 2 | 包含層・整地層 | 政和通寶 | 北宋 | 1111 | 3.2 | 2.5 | 真書 |
| | 1231 区域 2 | 包含層・整地層 | 政和通寶 | 北宋 | 1111 | 2.5 | 2.4 | 篆書 |

中世大友府内町跡第 96 次調査出土遺物一覽 (銅銭③)

| 図版番号 | 遺構名 | | 銭貨名 | 国・王朝名 | 初鑄年 | 重さ(g) | 直径(cm) | 書体 | 備考 |
|------|------|---------|---------|-------|------|-------|--------|-----|----|
| 179 | 1232 | 区域2 | 包含層・整地層 | 洪武通寶 | 明 | 1368 | 2.5 | 2.3 | |
| | 1233 | 区域2 | 包含層・整地層 | 洪武通寶 | 明 | 1368 | 1.3 | | |
| | 1234 | 区域2 | 包含層・整地層 | 無文銭 | | | 1.2 | 2.1 | |
| | 1235 | 区域2 | 包含層・整地層 | | | | 1.7 | 2.3 | |
| | 1236 | 区域2 | 包含層・整地層 | | | | 2.6 | 2.4 | 篆書 |
| | 1237 | 区域2 | 包含層・整地層 | | | | 2.5 | 2.3 | |
| | 1238 | 区域2 | 包含層・整地層 | | | | 3.1 | 2.4 | |
| | 1239 | 区域2 | 包含層・整地層 | | | | 2.8 | 2.5 | |
| 1240 | 区域2 | 包含層・整地層 | | | | 2.0 | 2.5 | | |
| 183 | 1298 | 区域2 | 包含層・整地層 | 開元通寶 | 唐 | 621 | 3.1 | 2.4 | |
| | 1299 | 区域2 | 包含層・整地層 | 淳化元寶 | 北宋 | 990 | 2.2 | 2.4 | 草書 |
| | 1300 | 区域2 | 包含層・整地層 | 景德元寶 | 北宋 | 1004 | 2.4 | 2.5 | |
| | 1301 | 区域2 | 包含層・整地層 | 景德元寶 | 北宋 | 1004 | 2.6 | 2.4 | |
| | 1302 | 区域2 | 包含層・整地層 | 祥符元寶 | 北宋 | 1009 | 2.6 | 2.5 | |
| | 1303 | 区域2 | 包含層・整地層 | 祥符通寶 | 北宋 | 1009 | 3.3 | 2.5 | |
| | 1304 | 区域2 | 包含層・整地層 | 祥符通寶 | 北宋 | 1009 | 3.0 | 2.5 | |
| 184 | 1305 | 区域2 | 包含層・整地層 | 天聖元寶 | 北宋 | 1023 | 4.0 | 2.5 | 真書 |
| | 1306 | 区域2 | 包含層・整地層 | 天聖元寶 | 北宋 | 1023 | 2.5 | 2.5 | 真書 |
| | 1307 | 区域2 | 包含層・整地層 | 天聖元寶 | 北宋 | 1023 | 3.2 | 2.5 | 真書 |
| | 1308 | 区域2 | 包含層・整地層 | 天聖元寶 | 北宋 | 1023 | 3.1 | 2.5 | 真書 |
| | 1309 | 区域2 | 包含層・整地層 | 天聖元寶 | 北宋 | 1023 | 2.6 | 2.4 | 真書 |
| | 1310 | 区域2 | 包含層・整地層 | 天聖元寶 | 北宋 | 1023 | 3.4 | 2.5 | 真書 |
| | 1311 | 区域2 | 包含層・整地層 | 天聖元寶 | 北宋 | 1023 | 2.5 | 2.5 | 真書 |
| | 1312 | 区域2 | 包含層・整地層 | 皇宋通寶 | 北宋 | 1038 | 2.4 | 2.5 | 篆書 |
| | 1313 | 区域2 | 包含層・整地層 | 皇宋通寶 | 北宋 | 1038 | 2.9 | 2.5 | 真書 |
| | 1314 | 区域2 | 包含層・整地層 | 皇宋通寶 | 北宋 | 1038 | 2.6 | 2.4 | 真書 |
| | 1315 | 区域2 | 包含層・整地層 | 至和元寶 | 北宋 | 1054 | 2.5 | 2.4 | 真書 |
| | 1316 | 区域2 | 包含層・整地層 | 至和元寶 | 北宋 | 1054 | 2.6 | 2.4 | 真書 |
| | 1317 | 区域2 | 包含層・整地層 | 嘉祐通寶 | 北宋 | 1056 | 3.2 | 2.4 | 真書 |
| | 1318 | 区域2 | 包含層・整地層 | 治平元寶 | 北宋 | 1064 | 2.7 | 2.5 | 真書 |
| | 1319 | 区域2 | 包含層・整地層 | 治平元寶 | 北宋 | 1064 | 3.4 | 2.4 | 篆書 |
| | 1320 | 区域2 | 包含層・整地層 | 熙寧元寶 | 北宋 | 1068 | 1.7 | 2.4 | 篆書 |
| | 1321 | 区域2 | 包含層・整地層 | 熙寧元寶 | 北宋 | 1068 | 2.6 | 2.5 | 篆書 |
| | 1322 | 区域2 | 包含層・整地層 | 熙寧元寶 | 北宋 | 1068 | 2.9 | 2.4 | 篆書 |
| | 1323 | 区域2 | 包含層・整地層 | 元豐通寶 | 北宋 | 1078 | 2.6 | 2.4 | 行書 |
| | 1324 | 区域2 | 包含層・整地層 | 元豐通寶 | 北宋 | 1078 | 2.2 | 2.3 | 篆書 |
| | 1325 | 区域2 | 包含層・整地層 | 元豐通寶 | 北宋 | 1078 | 2.8 | 2.5 | 行書 |
| | 1326 | 区域2 | 包含層・整地層 | 元豐通寶 | 北宋 | 1078 | 3.4 | 2.5 | 行書 |
| | 1327 | 区域2 | 包含層・整地層 | 元豐通寶 | 北宋 | 1078 | 2.9 | 2.4 | 篆書 |
| 1328 | 区域2 | 包含層・整地層 | 元祐通寶 | 北宋 | 1086 | 3.1 | 2.5 | 行書 | |
| 1329 | 区域2 | 包含層・整地層 | 元祐通寶 | 北宋 | 1086 | 3.3 | 2.5 | 行書 | |
| 1330 | 区域2 | 包含層・整地層 | 元祐通寶 | 北宋 | 1086 | 2.4 | 2.4 | 行書 | |
| 1331 | 区域2 | 包含層・整地層 | 元祐通寶 | 北宋 | 1086 | 3.0 | 2.5 | 篆書 | |
| 1332 | 区域2 | 包含層・整地層 | 元祐通寶 | 北宋 | 1086 | 2.5 | 2.4 | 篆書 | |
| 1333 | 区域2 | 包含層・整地層 | 紹聖元寶 | 北宋 | 1094 | 2.6 | 2.4 | 篆書 | |
| 1334 | 区域2 | 包含層・整地層 | 紹聖元寶 | 北宋 | 1094 | 3.4 | 2.4 | 行書 | |
| 185 | 1335 | 区域2 | 包含層・整地層 | 紹聖元寶 | 北宋 | 1094 | 2.6 | 2.5 | 篆書 |
| | 1336 | 区域2 | 包含層・整地層 | 元符通寶 | 北宋 | 1098 | 1.7 | 2.2 | 行書 |
| | 1337 | 区域2 | 包含層・整地層 | 聖宋元寶 | 北宋 | 1101 | 3.0 | 2.5 | 行書 |
| | 1338 | 区域2 | 包含層・整地層 | 政和通寶 | 北宋 | 1111 | 3.1 | 2.5 | 篆書 |
| | 1339 | 区域2 | 包含層・整地層 | 洪武通寶 | 明 | 1368 | 2.9 | 2.4 | |
| | 1340 | 区域2 | 包含層・整地層 | 洪武通寶 | 明 | 1368 | 2.7 | 2.3 | |
| | 1341 | 区域2 | 包含層・整地層 | 洪武通寶 | 明 | 1368 | 2.8 | 2.4 | |
| | 1342 | 区域2 | 包含層・整地層 | 永樂通寶 | 明 | 1408 | 3.7 | 2.5 | |
| | 1343 | 区域2 | 包含層・整地層 | 無文銭? | | | 2.1 | 2.4 | |
| | 1344 | 区域2 | 包含層・整地層 | 無文銭 | | | 2.0 | 2.2 | |
| | 1345 | 区域2 | 包含層・整地層 | 無文銭 | | | 2.8 | 2.4 | |
| 186 | 1346 | 区域2 | 包含層・整地層 | 無文銭 | | | 2.8 | 2.4 | |
| | 1347 | 区域2 | 包含層・整地層 | | | | 1.4 | 2.4 | |
| | 1348 | 区域2 | 包含層・整地層 | | | | 1.5 | 2.2 | |
| | 1349 | 区域2 | 包含層・整地層 | | | | 2.3 | 2.4 | |
| | 1350 | 区域2 | 包含層・整地層 | | | | 1.8 | 2.4 | |
| | 1351 | 区域2 | 包含層・整地層 | | | | 2.4 | 2.5 | |
| | 1352 | 区域2 | 包含層・整地層 | | | | 3.9 | 2.4 | |
| | 1353 | 区域2 | 包含層・整地層 | | | | 3.0 | 2.5 | |
| | 1354 | 区域2 | 包含層・整地層 | | | | 1.8 | 2.5 | |

中世大友府内町跡第 96 次調査出土遺物一覽 (木製品)

| 図版番号 | 遺構名 | | 種類 | 寸法(cm) | | | | | 備考 | | |
|------|-----|------|---------|--------|----|------|---|-----|----|-----|--|
| | | | | 重量(g) | | | | | | | |
| 78 | 541 | 区域1A | S310最下層 | 曲物底板 | 径 | 13.6 | 幅 | | 厚さ | 0.5 | |
| | 542 | 区域1A | S310最下層 | 曲物底板 | 長さ | 7.8 | 幅 | 3.7 | 厚さ | 0.7 | |

中世大友府内町跡第 96 次調査出土遺物一覽 (瓦)

| 図版番号 | 遺構名 | | 種類 | 寸法(cm) | | | | | 備考 | | |
|------|------|------|-------|--------|----|-----|---|------|----|-----|--|
| | | | | 重量(g) | | | | | | | |
| 57 | 127 | 区域1A | SE359 | 軒平瓦 | 長さ | 2.5 | 幅 | 6 | 厚さ | 3 | |
| 116 | 818 | 区域2 | SX022 | 軒平瓦 | 長さ | 4.3 | 幅 | 5.0 | 厚さ | 4.1 | |
| 161 | 1069 | 区域2 | SD590 | 軒丸瓦 | 長さ | 9.2 | 幅 | 5.0 | 厚さ | 1.8 | |
| | 1070 | 区域2 | SD590 | 塼 | 長さ | 8.3 | 幅 | 8.1 | 厚さ | 2.2 | |
| 163 | 1075 | 区域2 | SD146 | 軒平瓦 | 長さ | 4.4 | 幅 | 16.2 | 厚さ | 8.3 | |

中世大友府内町跡第 99 次調査出土遺物一覽 (土器・陶磁器①)

| 挿図 番号 | 遺物 番号 | 器 種 | 生産地 | 法量 (cm) ()は復元値 | | | 遺構名 | 備考 | 図版 番号 | |
|----------|----------|--------|------|-----------------|--------|---------------|---------------|-------|----------|--|
| | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | | |
| 197 | 1 | 陶器 | 土瓶蓋 | 6.5 | 4.1 | 1.8 | SD001 | 関西系陶器 | | |
| | 2 | 陶器 | 土瓶蓋 | 7.4 | 2.2 | 1.2 | SD001 | 関西系陶器 | | |
| | 3 | 陶器 | 鉢 | | | | SD001 | 唐津系陶器 | | |
| 200 | 4 | 京都系土師器 | 皿 | | | | SX005 | 水田耕作土 | | |
| | 5 | 土師質土器 | 埴塼 | | | | SX005 | 水田耕作土 | | |
| | 6 | 土師質土器 | 埴塼 | | | | SX005 | 水田耕作土 | | |
| | 7 | 土師質土器 | 埴塼 | | | | SX005 | 水田耕作土 | | |
| | 8 | 土師質土器 | 埴塼 | | | | SX005 | 水田耕作土 | | |
| | 9 | 土師質土器 | 埴塼 | | | | SX005 | 水田耕作土 | | |
| | 10 | 陶器 | 碗 | | (4.9) | 2.1+ α | SX005 | 水田耕作土 | 唐津系陶器 | |
| | 11 | 陶器 | 溝縁皿 | | | | SX005 | 水田耕作土 | | |
| | 12 | 瓦質土器 | 火鉢 | | | | SX005 | 水田耕作土 | | |
| | 13 | 瓦質土器 | 甕 | | | | SX005 | 水田耕作土 | | |
| | 14 | 陶器 | 鉢 | 備前 | | | SX005 | 水田耕作土 | | |
| | 15 | 陶器 | 皿 | 備前 | | | SX005 | 水田耕作土 | | |
| | 201 | 17 | 磁器 | 白磁紅皿 | (4.4) | | 1.2+ α | SD004 | | |
| | | 18 | 瓦質土器 | こね鉢 | | | | SD004 | | |
| | | 19 | 陶器 | 甕 | | | | SD004 | 唐津系陶器 | |
| 204 | 22 | 磁器 | 染付碗 | 伊万里 | (11.6) | 4.0+ α | SD007 | | | |
| | 23 | 磁器 | 白磁碗 | | | (4.8) | 2.0+ α | SD007 | | |
| 205 | 25 | 磁器 | 染付皿 | 肥前 | | (5.6) | 2.1+ α | SD006 | | |
| | 26 | 陶器 | 壺 | 備前 | | | SD006 | | | |
| | 27 | 陶器 | すり鉢 | | | | SD006 | 唐津系陶器 | | |
| 210 | 29 | 土師器 | 皿 | 在地 | (8.6) | 1.7 | SK026 | | | |
| | 30 | 京都系土師器 | 皿 | | (10.4) | 2.1+ α | SK026 | | | |
| | 31 | 磁器 | 青花皿 | 肥前 | | | SK026 | | | |
| | 32 | 磁器 | 青磁碗 | | (12.0) | 1.7+ α | SK026 | | | |
| | 33 | 陶器 | 碗 | | | 4.5 | 5.2+ α | SK026 | | |
| | 34 | 瓦質土器 | 火鉢 | | | | SK026 | | | |
| 211 | 35 | 陶器 | すり鉢 | 備前 | | | SK026 | | | |
| | 36 | 陶器 | 大甕 | 備前 | — | (46.0) | — | SK026 | | |
| | 37 | 土師質土器 | 坏 | | (17.8) | (9.8) | 3.2 | SD008 | | |
| | 38 | 京都系土師器 | 埴塼 | | (60.4) | | 1.7+ α | SD008 | | |
| | 39 | 京都系土師器 | 皿 | | (10.2) | | 108+ α | SD008 | | |
| | 40 | 京都系土師器 | 皿 | | (11.8) | | 3.0 | SD008 | | |
| | 41 | 京都系土師器 | 皿 | | (16.0) | | 3.1+ α | SD008 | | |
| | 42 | 磁器 | 青花碗 | | | | | SD008 | | |
| | 43 | 磁器 | 青磁碗 | | | | | SD008 | | |
| | 44 | 陶器 | 碗 | | | 5.0 | 3.2+ α | SD008 | | |
| | 45 | 須恵器 | 甕 | | | | | SD008 | | |
| 215 | 46 | 陶器 | すり鉢 | 備前 | | | | SD008 | | |
| | 47 | 磁器 | 青磁碗 | | | | | SF024 | | |
| | 48 | 磁器 | 青磁碗 | | | (5.4) | 1.5+ α | SF024 | | |
| | 49 | 磁気 | 白磁 | ベトナム | | (6.8) | 1.3+ α | SF024 | | |
| | 50 | 瓦質土器 | 土鍋 | | | | | SF024 | | |
| | 51 | 陶器 | 甕 | | | | | SF024 | | |
| | 52 | 陶器 | すり鉢 | 備前 | | | | SF024 | | |
| | 53 | 陶器 | すり鉢 | 備前 | | | | SF024 | | |
| | 54 | 陶器 | 鉢 | 備前 | | (18.2) | 3.0+ α | SF024 | | |
| | 55 | 陶器 | 甕 | 備前 | | (28.0) | 6.0+ α | SF024 | | |
| 219 | 58 | 土師質土器 | 坏 | 在地 | 7.7 | 5.0 | 2.5 | SD023 | 40 | |
| | 59 | 京都系土師器 | 皿 | | (10.0) | | 2.1+ α | SD023 | | |
| | 60 | 京都系土師器 | 取瓶 | | 8.6 | | 107+ α | SD023 | | |
| | 61 | 磁器 | 青花碗 | 漳州窯 | | | | SD023 | | |
| | 62 | 磁器 | 碗 | | | | | SD023 | | |
| | 63 | 磁器 | 青花碗 | 漳州窯 | | | | SD023 | | |
| | 64 | 磁器 | 青花碗 | 漳州窯 | | | | SD023 | | |
| | 65 | 磁器 | 碗 | 景德鎮 | | | | SD023 | | |
| | 66 | 磁器 | 青花皿 | | | (5.8) | 1.5+ α | SD023 | 40 | |
| | 67 | 磁器 | 青磁碗 | | | 5.6 | 2.5+ α | SD023 | | |
| | 68 | 磁器 | 白磁碗 | | | | | SD023 | | |
| | 69 | 磁器 | 白磁皿 | | | 6.0 | 1.4+ α | SD023 | | |
| | 70 | 陶器 | 天目碗 | 瀬戸美濃 | (11.6) | | 3.4+ α | SD023 | | |
| | 71 | 須恵器 | こね鉢 | | (26.9) | | 3.2+ α | SD023 | 東播系 | |
| | 72 | 瓦質土器 | 鉢 | | (35.2) | | 6.2+ α | SD023 | | |
| | 73 | 陶器 | 壺 | 備前 | (12.0) | | 6.3+ α | SD023 | | |
| 74 | 陶器 | すり鉢 | 備前 | | | | SD023 | | | |
| 75 | 陶器 | 甕 | 備前 | | | | SD023 | | | |
| 76 | 陶器 | 壺 | 備前 | | (15.0) | 5.5+ α | SD023 | | | |

中世大友府内町跡第99次調査出土遺物一覽 (土器・陶磁器②)

| 挿図 番号 | 遺物 番号 | 器 種 | 生産地 | 法量 (cm) ()は復元値 | | | 遺構名 | 備考 | 図版 番号 |
|----------|----------|--------|--------|-----------------|--------|----------------|---------------|-----------|----------|
| | | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | |
| 222 | 78 | 土師質土器 | 坏 | | (14.4) | | SD025 | | |
| | 79 | 京都系土師器 | 小皿 | | 4.6 | 107 | 3.0 | SD025 | |
| | 80 | 京都系土師器 | 皿 | | (8.2) | | | SD025 | |
| | 81 | 京都系土師器 | 皿 | | (8.7) | | | SD025 | |
| | 82 | 京都系土師器 | 皿 | | | | | SD025 | |
| | 83 | 陶磁器 | 碗 | | | | | SD025 | |
| | 84 | 磁器 | 青花皿 | | | | | SD025 | |
| | 85 | 磁器 | 青花皿 | | (10.4) | | 1.5+ α | SD025 | |
| | 86 | 磁器 | 青花碗 | | | (4.8) | 1.5+ α | SD025 | 40 |
| | 87 | 瓦質土器 | 火鉢 | | | | | SD025 | |
| | 88 | 瓦質土器 | 火鉢 | | | | | SD025 | |
| | 89 | 瓦質土器 | 火鉢 | | | (37.6) | | SD025 | |
| | 90 | 陶器 | 甕 | 備前 | | | | SD025 | |
| | 91 | 陶器 | すり鉢 | 備前 | (27.4) | | | SD025 | |
| 92 | 陶器 | すり鉢 | 備前 | | | | SD025 | | |
| 93 | 陶器 | すり鉢 | 備前 | | (11.4) | | SD025 | | |
| 94 | 陶器 | すり鉢 | 備前 | | | | SD025 | | |
| 227 | 98 | 須恵器 | 坏 | | | | E4-d Ⅲ層 | | |
| | 99 | 須恵器 | 高台付坏 | | (9.7) | 3.4+ α | E3-c Ⅲ層 | | 40 |
| | 100 | 須恵器 | 坏 | | (9.6) | 1.4+ α | E4-d Ⅲ層 | | |
| | 101 | 須恵器 | 長頸壺 | | | | 4.1+ α | E4-c Ⅲ層 | |
| | 102 | 土師器 | 坏 | | | (4.8) | 2.4+ α | E4-d Ⅲ層ほか | |
| | 103 | 土師器 | 坏 | | (14.6) | | 3.8+ α | E4-c Ⅲ層 | |
| | 104 | 土師器 | 坏 | | (14.1) | 9.0 | 2.9 | E3-b Ⅲ層 | |
| | 105 | 土師器 | 坏 | | (15.4) | 10.0 | 3.8 | E4-c Ⅲ層 | |
| | 106 | 土師器 | 坏 | | | (8.6) | 1.6+ α | E4-d Ⅲ層 | |
| | 107 | 土師器 | 坏 | | | | | E4-d Ⅲ層 | |
| | 108 | 土師器 | 蓋 | | | (17.0) | 1.1+ α | E4-c d Ⅲ層 | |
| | 109 | 土師器 | 蓋 | | | (17.4) | 1.5 | F0-c Ⅲ層 | |
| | 110 | 須恵器 | 長頸壺 | | | | | E4-c Ⅲ層 | |
| | 112 | 土師器 | 壺 | | | (6.1) | 6.0+ α | E3-b Ⅲ層 | 40 |
| | 113 | 土師器 | 甕 | | (15.5) | | 6.0+ α | E3-d Ⅲ層 | |
| 114 | 土師器 | 甕 | | (16.0) | | 7.7+ α | E3-c Ⅲ層 | 40 | |
| 115 | 土師器 | 甗 | | (32.6) | | 20.5+ α | E4-c Ⅲ層 | | |
| 229 | 117 | 土師器 | 高坏 | 15.5 | 12.8 | 12.2 | SK037 | | 40 |
| | 118 | 土師器 | 高坏 | (14.0) | | 3.8+ α | SK037 | | |
| | 119 | 土師器 | 碗 | 14.1 | | 5.8 | SK037 | | 40 |
| 231 | 120 | 須恵器 | 坏蓋 | (14.0) | | 2.8+ α | SK038 | | |
| | 121 | 須恵器 | 提瓶 | | | | SK038 | | |
| | 122 | 土師器 | カマド | (23.4) | | 10.6+ α | SK038 | | |
| | 123 | 土師器 | カマド | | (40.) | 15.7+ α | SK038 | | |
| 232 | 124 | 弥生土器 | 甕 | | | | SD023 | | |
| | 125 | 須恵器 | 蓋 | (12.7) | | 1.1+ α | SF024 | | |
| | 126 | 土師器 | 坏 | (13.2) | | 3.4+ α | 北壁E3-a | | |
| | 127 | 土師器 | 坏 | | | | E4-d | 内側スス付着 | |
| | 128 | 古代土器 | 坏 | (16.8) | | 3.8+ α | SK026 | | |
| | 129 | 土師器 | 坏 | | (8.5) | 1.6+ α | E4-c 水田耕作土 | | |
| | 130 | 土師器 | 坏 | | (8.9) | 1.8+ α | E4-c 水田耕作土 | | |
| | 131 | 古代土器 | 坏 | | 6.4 | 1.5+ α | E3-c Ⅱ層 | | |
| | 132 | 土師器 | 甕 | (22.2) | | 8.9+ α | SD023ほか | | |
| | 233 | 133 | 京都系土師器 | 皿 | (5.1) | | 1.8 | E2-c中世包含層 | |
| 134 | | 京都系土師器 | 皿 | (7.8) | | 1.5+ α | E2-b水田耕作土 | スス付着 | |
| 135 | | 磁器 | 青花碗 | 肥前 | (10.7) | | 3.5+ α | F0-a Ⅲ層 | |
| 136 | | 磁器 | 青花皿 | 肥前 | | | 1.9+ α | E1-b Ⅱ層 | |
| 137 | | 磁器 | 青花皿 | 景德鎮 | (5.3) | | 1.2+ α | F1-d Ⅱ層 | |
| 138 | | 磁器 | 青花皿 | 肥前 | (8.7) | | 1.8+ α | F1-d Ⅱ層 | |
| 139 | | 磁器 | 青花皿 | 景德鎮 | | | 1.3+ α | E2-b水田耕作土 | |
| 140 | | 磁器 | 白磁碗 | | (15.8) | | 4.7+ α | F1-d Ⅲ層 | |
| 141 | | 磁器 | 白磁皿 | | (12.0) | 6.8 | 1.8 | F2-a中世包含層 | |
| 142 | | 磁器 | 青磁碗 | 龍泉窯 | | | 5.2+ α | E2-b中世包含層 | |
| 143 | | 陶器 | 華南三彩 | | | | | E4-c Ⅲ層 | 40 |
| 144 | | 陶器 | 翡翠釉皿 | | | | 0.7+ α | E2-b水田耕作土 | |
| 145 | | 陶器 | 天目碗 | | | | 4.2+ α | F0-d水田耕作土 | |
| 146 | | 陶器 | 天目碗 | 瀬戸美濃 | | | 4.6+ α | E1-b中世包含層 | |
| 147 | | 陶器 | 甕 | 備前 | | | 5.0+ α | F2-b水田耕作土 | |
| 148 | | 陶器 | 甕 | 備前 | | | 5.0+ α | E3-a Ⅱ層 | |
| 149 | | 陶器 | 甕 | 備前 | | | 4.8+ α | F2-bc | |
| 150 | | 陶器 | すり鉢 | 備前 | | | 5.1+ α | E4-d Ⅱ層 | |
| 151 | | 陶器 | すり鉢 | 備前 | | | 4.2+ α | E2-b水田耕作土 | |

中世大友府内町跡第 99 次調査出土遺物一覧（土錘）

| 挿図番号 | 遺物番号 | 種類 | 寸法 (cm) ()は復元値 | | | 重量 (g) | 遺構名 | 備考 | 図版番号 |
|------|------|----|-----------------|------|-----|--------|-----------|----|------|
| | | | 長さ | 幅 | 孔径 | | | | |
| 219 | 77 | 土錘 | 2.6+ α | 1.2 | 0.4 | 3.8 | SD023 | | |
| 227 | 116 | 土錘 | 6.3 | 2.1 | 0.5 | 29.5 | E3-c Ⅲ層 | | |
| 233 | 154 | 土錘 | 6.5+ α | 2.3 | 0.5 | 33.5 | F0-c中世包含層 | | |
| | 155 | 土錘 | 4.7 | 2.1 | 0.6 | 19.7 | E4-a Ⅲ層 | | |
| | 156 | 土錘 | 5.1 | 1.35 | 0.6 | 9.7 | E4-c Ⅱ層 | | |
| | 157 | 土錘 | 5.0 | 1.2 | 0.3 | 5.1 | E1-b Ⅱ層 | | |
| | 158 | 土錘 | 4.5 | 1.2 | 0.3 | 6.6 | E4-c Ⅱ層 | | |
| | 159 | 土錘 | 4.1 | 1.6 | 0.5 | 12.0 | F1-d水田耕作土 | | |

中世大友府内町跡第 99 次調査出土遺物一覧（土製品）

| 挿図番号 | 遺物番号 | 種類 | 寸法 (cm) ()は復元値 | | | 遺構名 | 備考 | 図版番号 |
|------|------|----|-----------------|-----|-----|--------|---------|------|
| | | | 長さ | 幅 | 厚さ | | | |
| 206 | 28 | 人形 | 4.7 | 5.0 | 1.7 | S D006 | 魚に乗った人物 | |
| 233 | 153 | 人形 | 4.6 | 4.5 | 1.8 | 水田耕作土 | 牛に乗った人物 | |

中世大友府内町跡第 99 次調査出土遺物一覧（石製品）

| 挿図番号 | 遺物番号 | 種類 | 材質 | 寸法 (cm) ()は復元値 | | | 重量 (g) | 遺構名 | 備考 | 図版番号 |
|------|------|----|------|-----------------|-----|-----|--------|-------|----|------|
| | | | | 長さ | 幅 | 厚さ | | | | |
| 201 | 21 | 砥石 | | 4.8 | 3.2 | 2.8 | 66.5 | SD004 | | |
| 223 | 95 | 砥石 | 結晶片岩 | 10.2 | 3.0 | 0.9 | 53.1 | SD025 | | |

中世大友府内町跡第 99 次調査出土遺物一覧（ガラス製品）

| 挿図番号 | 遺物番号 | 種類 | 材質 | 寸法 (cm) ()は復元値 | | | 遺構名 | 備考 | 図版番号 |
|------|------|----|-----|-----------------|-----|-----|-------|-------|------|
| | | | | 長さ | 幅 | 厚さ | | | |
| 223 | 96 | 不明 | ガラス | 2.0 | 1.8 | 1.0 | SD025 | No.10 | |

中世大友府内町跡第 99 次調査出土遺物一覧（金属製品）

| 挿図番号 | 遺物番号 | 種類 | 材質 | 寸法 (cm) ()は復元値 | | | 重量 (g) | 遺構名 | 備考 | 図版番号 |
|------|------|-----|----|-----------------|-----|-----|--------|--------------|----|------|
| | | | | 長さ | 幅 | 厚さ | | | | |
| 200 | 16 | 鉄砲玉 | | 0.9 | 0.9 | 0.6 | 1.7 | S X005 水田耕作土 | | |
| 234 | 160 | 鉄砲玉 | | 1.3 | 1.2 | 1.3 | 11.5 | F 1- c 水田耕作土 | | |
| | 161 | 鉄砲玉 | | | 1.2 | | 10.1 | | | |
| | 162 | 鉄砲玉 | | | 1.2 | | 10.0 | | | |

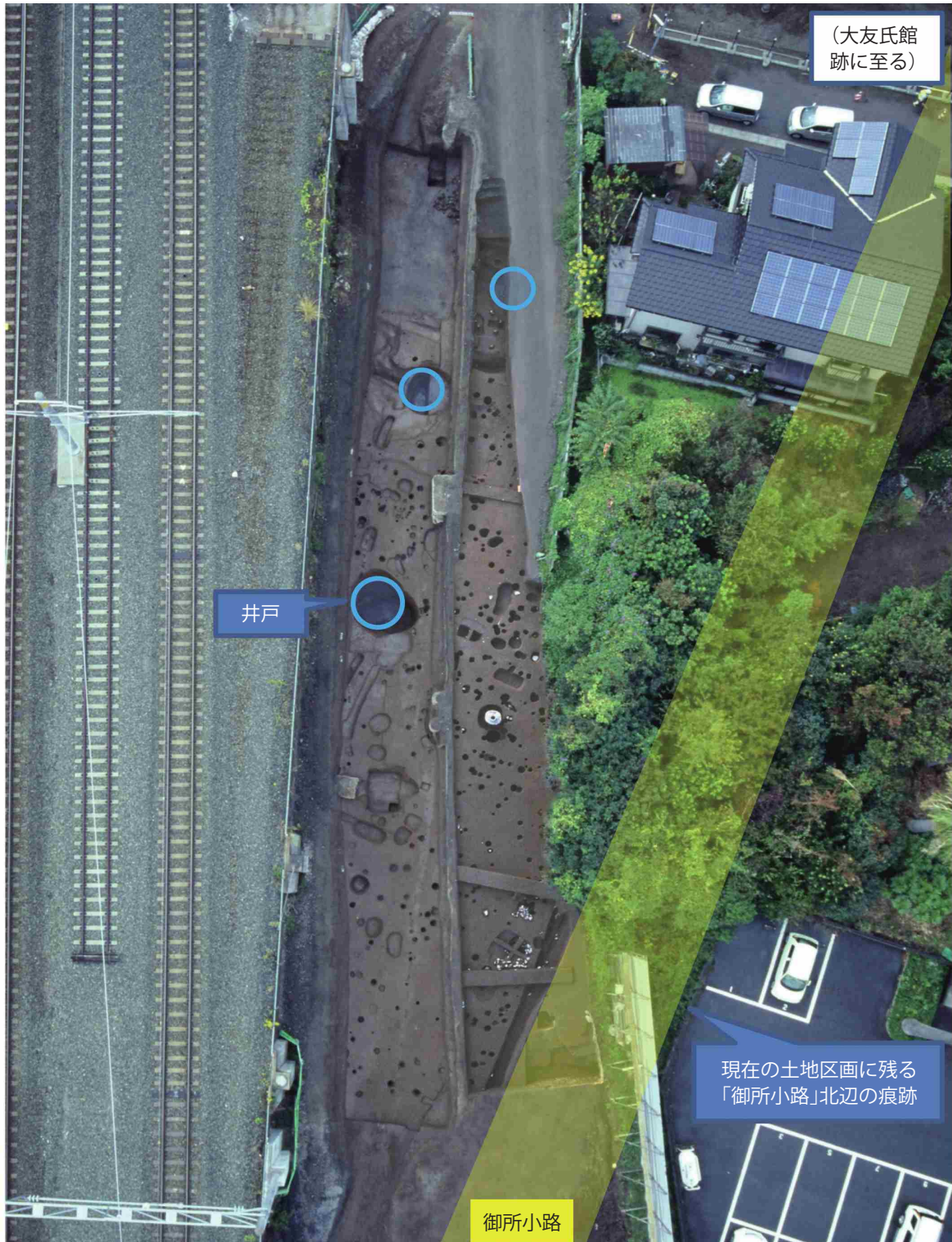
中世大友府内町跡第 99 次調査出土遺物一覧（瓦）

| 挿図番号 | 遺物番号 | 種類 | 寸法 (cm) ()は復元値 | | | 遺構名 | 備考 | 図版番号 |
|------|------|-----|-----------------|---------------|-----|--------|-----|------|
| | | | 長さ | 幅 | 厚さ | | | |
| 201 | 20 | 軒平瓦 | | | 3.7 | S D004 | | |
| 204 | 24 | 軒平瓦 | 2.2+ α | 5.6+ α | 3.6 | S D007 | | |
| 216 | 56 | 丸瓦 | 6.9+ α | 7.2+ α | 2.2 | SD024 | | |
| | 57 | 丸瓦 | 12.6 | 9.7 | 1.8 | SD024 | | |
| 233 | 152 | 平瓦 | 9.0+ α | 7.5+ α | 2.2 | 水田耕作土 | 古代瓦 | |

中世大友府内町跡第 99 次調査出土遺物一覧（銭貨）

| 挿図番号 | 遺物番号 | 銭貨名 | 国・王朝名 | 初鑄年 | 重さ (g) | 直径 (cm) | 書体 | 遺構名 | 備考 | 図版番号 |
|------|------|------|-------|------|--------|---------|----|-------|----|------|
| 224 | 97 | 聖宋元寶 | 北宋 | 1101 | 2.4 | 24.0 | | SD025 | | |

写 真 图 版



区域 1 全景 (合成写真・右が北)

上層遺構群の中で、16 世紀末葉に比定される遺構群に着目したものが、上の写真である。

現在の土地区画の一部と「御所小路」北辺が重なる部分が認められ、この地点は戦国時代を起源とする境界ラインである可能性が考えられる。

柱穴列 (または掘立柱建物跡) は「御所小路」と推定される道路遺構に対して垂直方向に伸びている。検出された柱穴群は建物跡と推定され、建物跡の背後には井戸 (青い○印) が 3 基検出された。数多くの陶磁器や土師質・瓦質土器とともに、分銅なども出土している。当該時期の遺構のあり方は、典型的な「町屋」の様相を示している。豊後府内「御所小路町」の遺構群であろう。



区域1A全景(西から)



区域1B全景(西から)



SF530(御所小路)とSD400(側溝)



SF530(御所小路)・SD400(側溝)土層



SF530(御所小路)・SD400(側溝)土層近景



SX387(天正14年焼土層)



SX387(天正14年焼土層)中の土壁



SK388



SK508・SK509検出状況



SK508遺物出土状況



SK508土層



SK509(西から)



SK509(北から)



SK529



SK529遺物出土状況(骨・貝)



SK297



SK300



SK347



SK369



SK404



SK524



SK525



SK567



SK241土層



SK241完掘状況



SK253



SK275



SK311



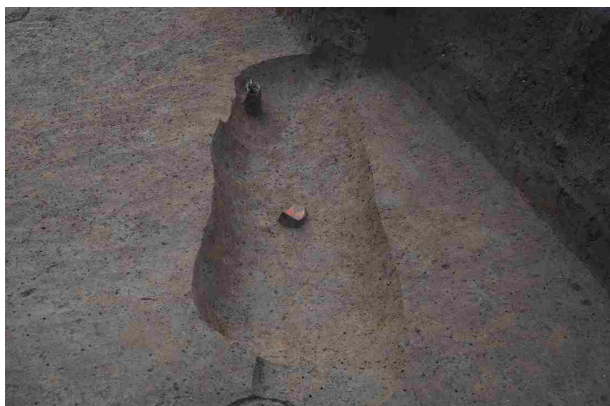
SK314



SK315



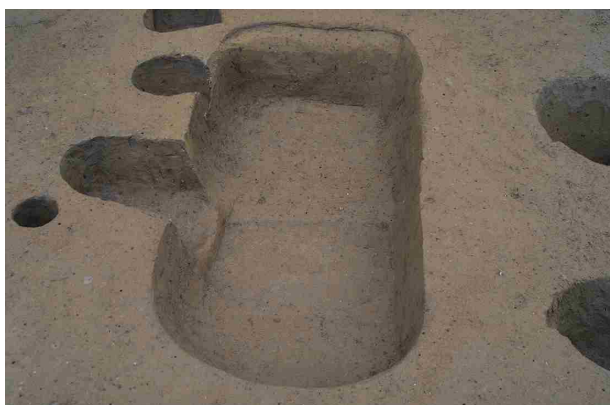
SK356



SK371



SK399



SK405



SK406



SE240•SE353



SE507



SE359



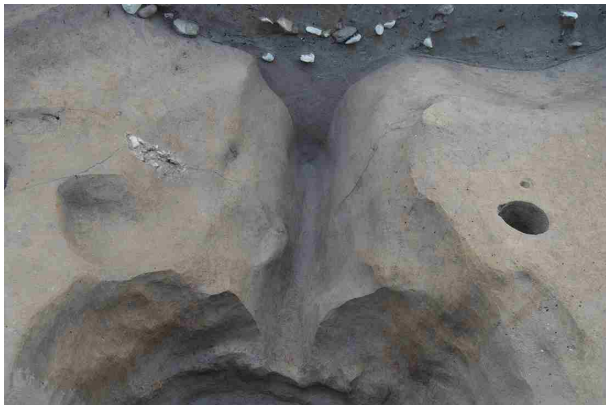
SE359土層



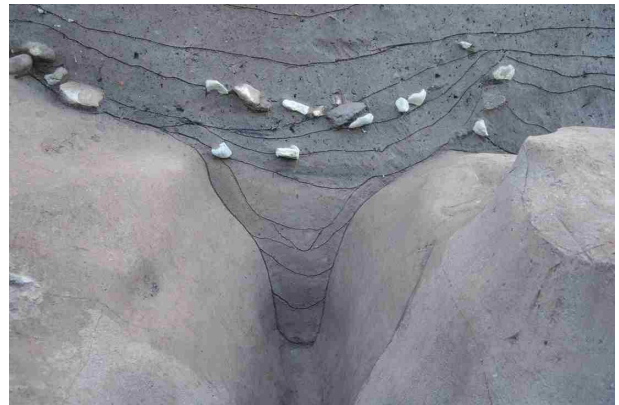
SD236



SD357動物遺存体出土状況



SD360完掘状況



SD360土層



SD361・SD362



SD361遺物出土状況



SX237 (SD362の遺物集中地点)



SX390 (方形竪穴遺構)



SX310遺物出土状況(東から)



SX310遺物出土状況(西から、中央の穴は攪乱〔テストピット〕)



SX310遺物出土状況(南西から)



SX310遺物出土状況(南東から)



SX310調査風景(南東から)



SX310調査風景(西から)



SX310掛仏出土状況



SX310遺物出土状況(左:曲物底板 右:柄杓か? 木質は腐食し、取り上げ不能)



SX310遺物出土状況(漆器)



SX370



SP309 (柱痕跡埋土に焼土を多量に含む)



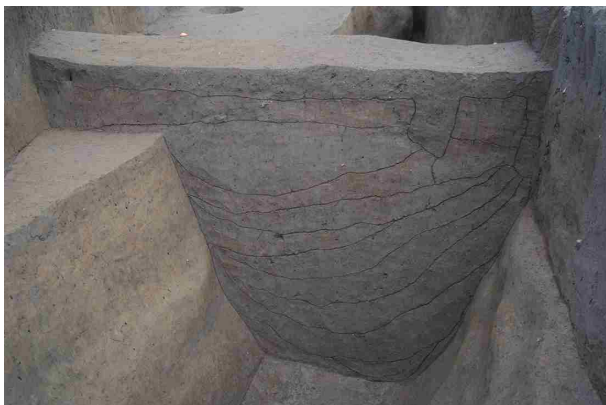
SP386 (埋土に焼土を含む。分銅出土)



SP397 柱穴内礎石



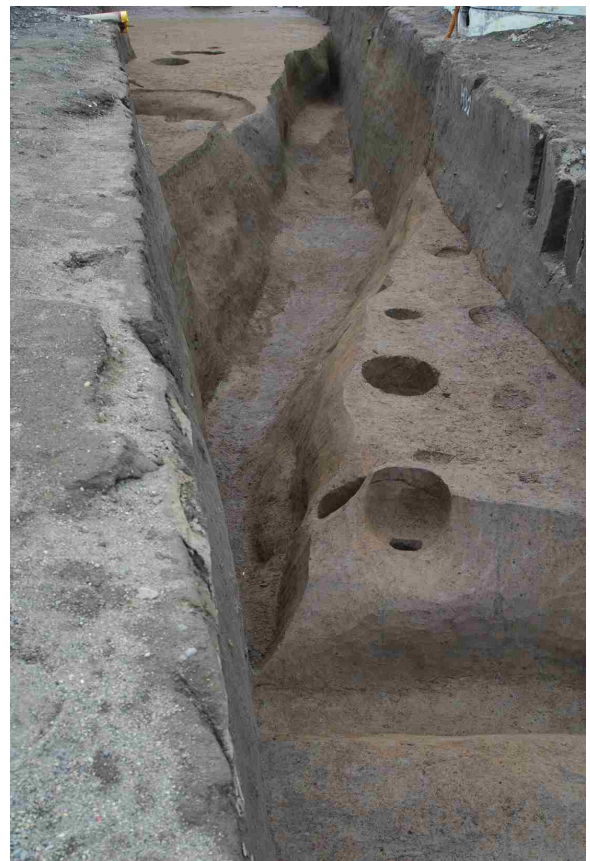
SD372



SD372 土層



SD372 土層 (人物との対比)

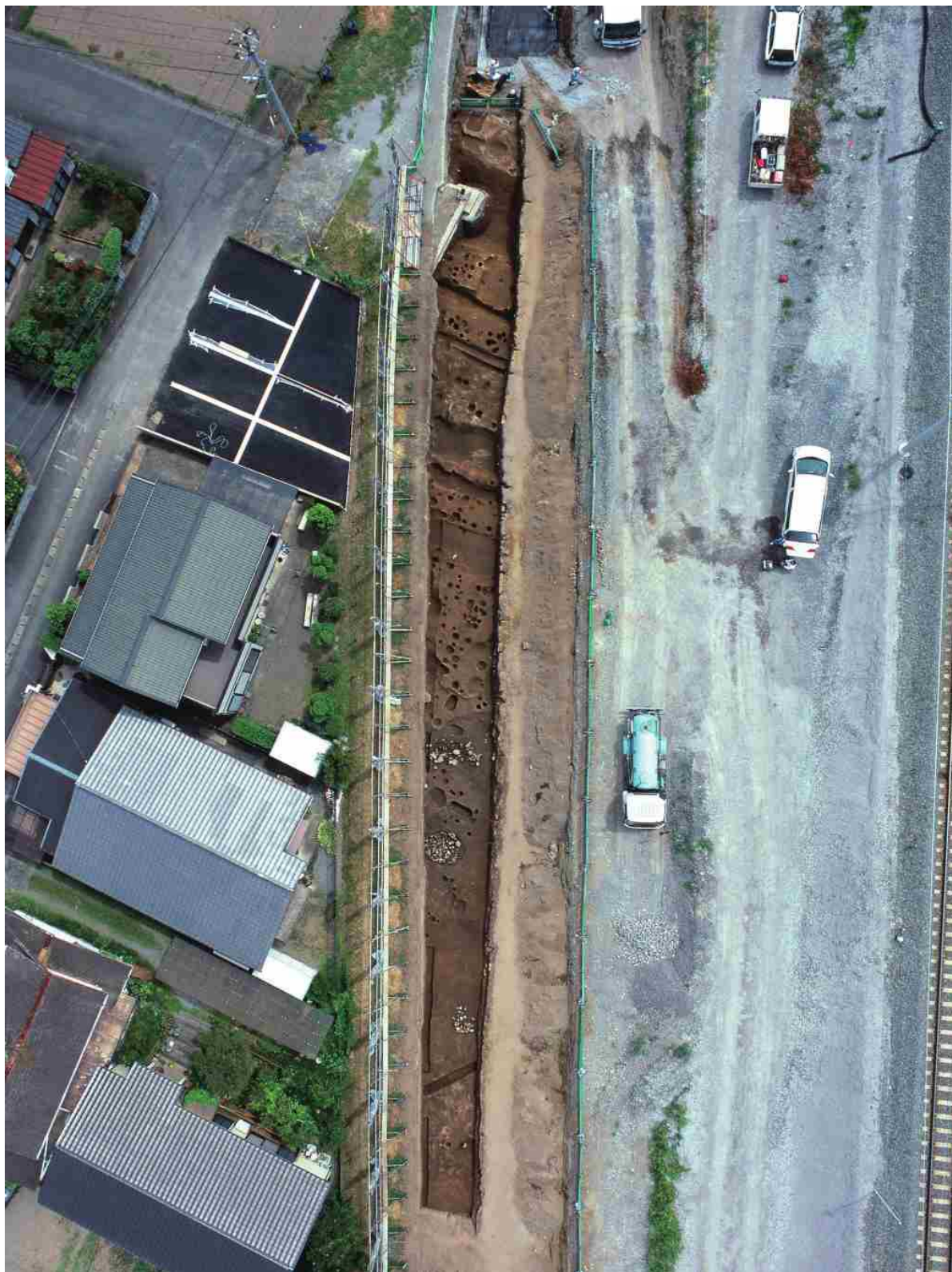


SD372 (下層遺構群の溝)



中世大友府内町跡第96次調査区域 1 東半部(上空西から)

左下隅の調査区(ブルーシートが3枚見える場所)は同時期に行われていた第93次調査区



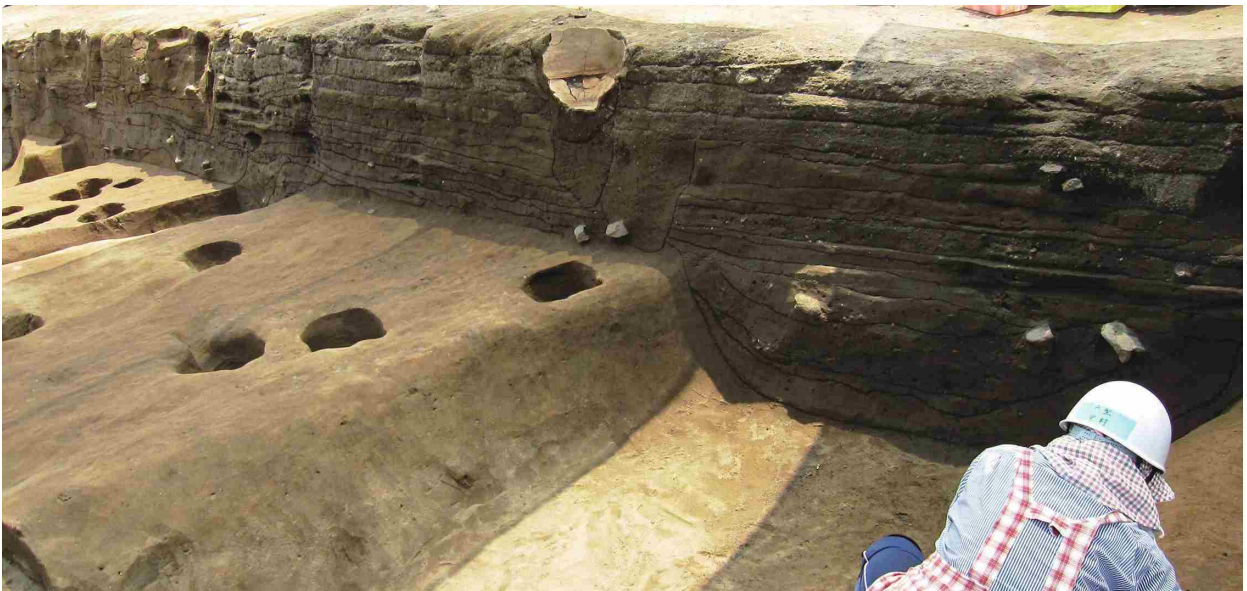
区域 2 東半部(上空から)



第 1 南北街路SF070(南西から) 第 1 面(1590年代～)



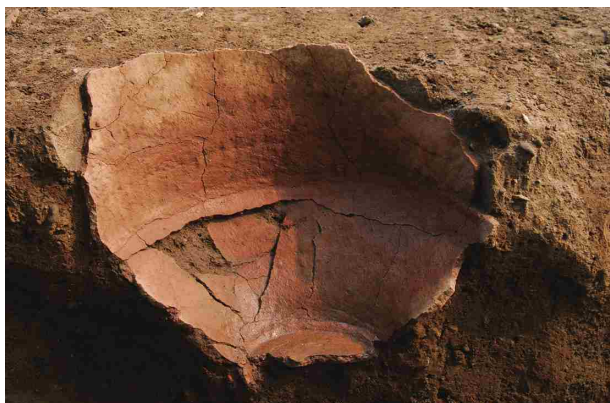
第 1 南北街路(南東から)



第 1 南北街路土層(北西から)



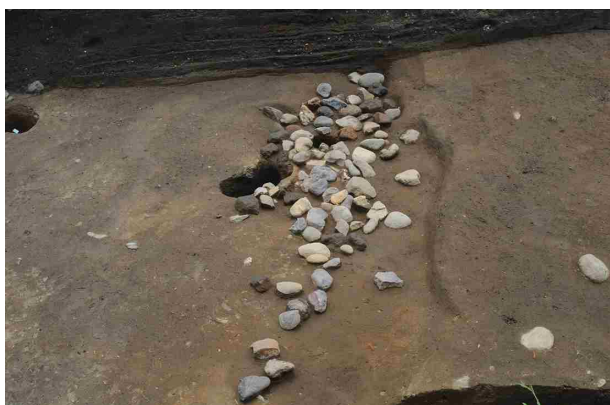
第 1 南北街路土層(北東から)



SX001



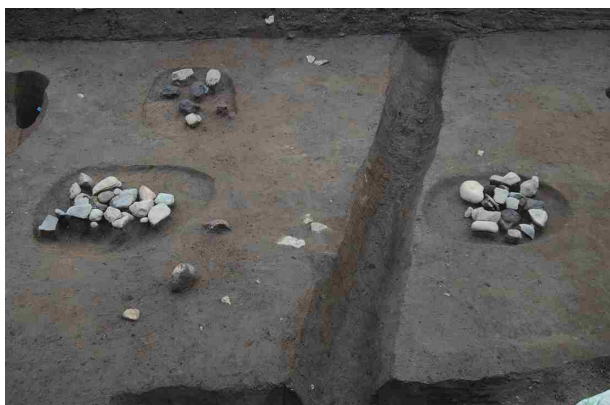
SK003・SK004



SX081



銅製紅皿(遺物番号729)出土状況



SD091とSX092～SX094



SX092



SX093



SX094



SK002検出状況



SK002完掘状況



SK005遺物出土状況



SK005完掘状況



SK013・SK014



SK013



SK014



SK225



SX007・SX008



SX008



SX017



SK021



SK023



SK046検出状況



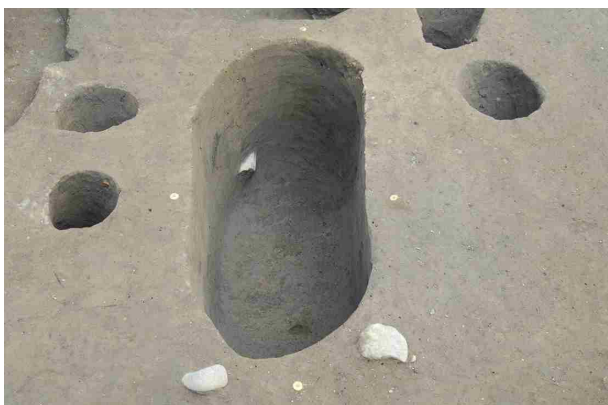
SK046完掘状況



SK047



SK049



SK145



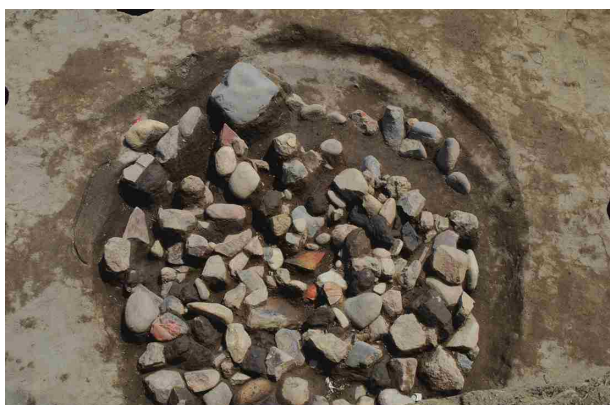
SK145土層写真(中層に多量のキサゴ類の堆積)



SK170



SK170遺物出土状況



SK183磔の出土状況検出状況



SK183下層遺物出土状況



SK202



SK205



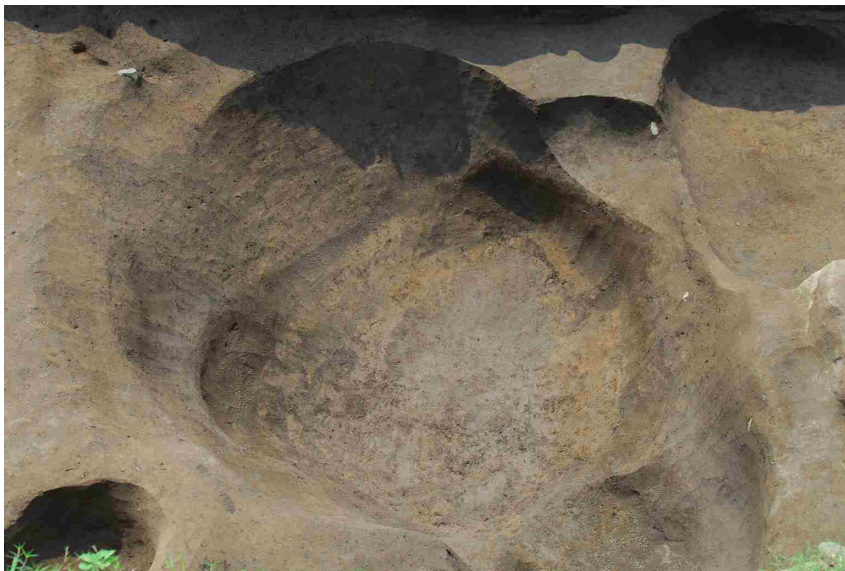
SK206



SK210



SK214



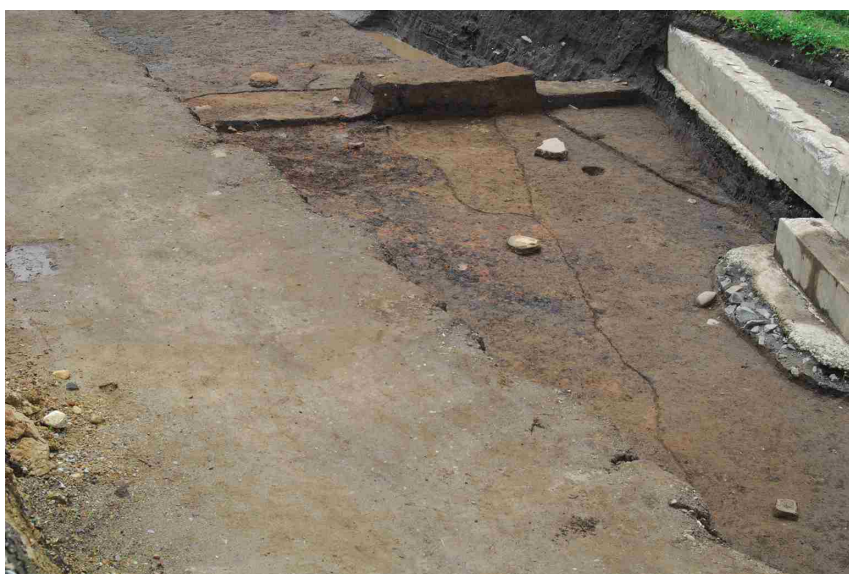
SK218



SX025



焼土層SX027検出状況(西から)



焼土層SX027検出状況(東から)



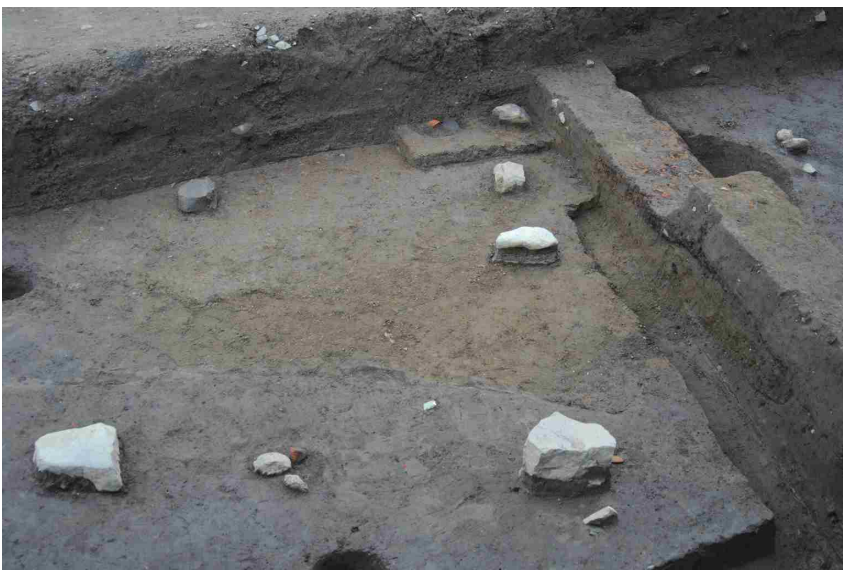
焼土層SX027検出状況(北から)



礎石SX032・掘り込み遺構SX033
検出状況(西から)



礎石SX032検出状況(東から)



礎石SX032検出状況(北から)



第 4 面の溝遺構 (南から)



第 4 面の溝遺構 (東から)



SD0590



SD0590土層



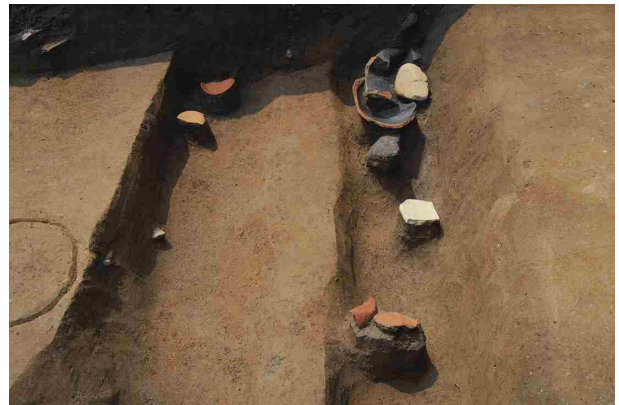
SD095



SD091・SD123



SD146(左)とSD119(右)



SD091・SD123遺物出土状況



SD209



SD209土層



SD220



SD220



SD119



SD119遺物出土状況



SD174遺物出土状況(南から)



SD174遺物出土状況(南東から)



SD174遺物出土状況(近景①)



SD174遺物出土状況(近景②)



SK215



SK233



SB234(西から)



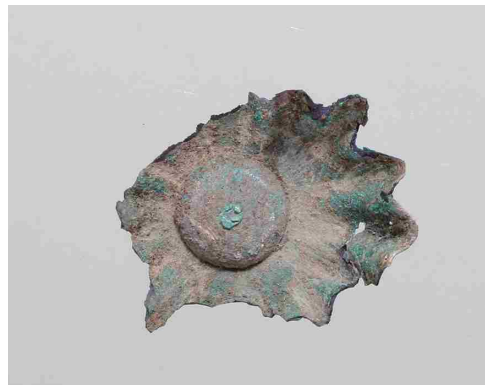
SB234(北から)



龍泉窯系青磁瓶(1008)



懸仏本尊部(千手觀音像 537)



銅製紅皿(729)



水晶玉(1292)



土製独楽(691)



中世大友府内町跡第99次調査区全景(東から)



両側に側溝をもつ道路跡(SF024)



SD001完掘状況(東から)



SD004検出状況(南から)



SX005検出状況(東から)



SD006完掘状況(南西から)



SD007完掘状況(北東から)



SD016完掘状況(西から)



SD023、SF024、SD025
完掘状況(北東から)



DS023、SF024
完掘状況(南西から)



SF024、SK026完掘状況(北から)



SD023、SF024土層断面



道路面(SF024)の状況(南から)



SD023、SF024、SD025完掘状況



SF024、SD025(南から)



礫を除去したSF024(北から)



SD025、SF024完掘状況(西から)



SD025発掘状況(西から)



SD025屈曲部(東から)



SD025土層断面①(東から)



SD025土層断面②(東から)



SD023土層断面(東から)



SD023、SF024、SD025
完掘状況(西から)



SK032完掘状況(北から)



SK037遺物出土状況



SK038完掘状況(東から)

SD023

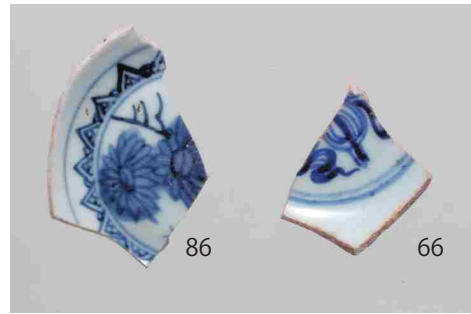


58



143

SD025



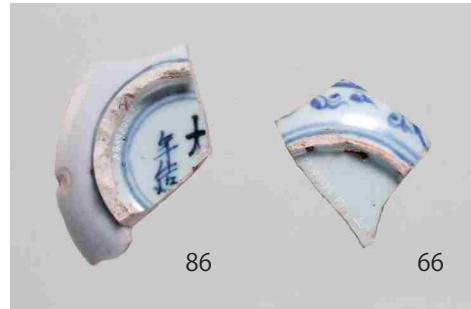
86

SD023



66

内面



86



66

外面

古代包含層



114



112



99

SK037



117



119

報告書抄録

| | |
|--------|--|
| ふりがな | ぶんごふない19 ちゅうせいおおともふないまちあとだい96じ・99じちょうさく |
| 書名 | 豊後府内19 中世大友府内町跡第96・99次調査区 |
| 副書名 | 大分駅付近連続立体交差事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 |
| 巻次 | (10) |
| シリーズ名 | 大分県教育庁埋蔵文化財センター発掘調査報告書 |
| シリーズ番号 | 第83集 |
| 編著者名 | 後藤一重 吉田 寛 丸山真史 |
| 編集機関 | 大分県教育庁埋蔵文化財センター |
| 所在地 | 〒870-1113 大分市大字中判田字ピワノ門1977番地 TEL 097-597-5675 |
| 発行年月日 | 平成27年(2015年)3月27日 |

| ふりがな 所収遺跡名 | ふりがな 所在地 | コード | | 北緯 °' " | 東経 °' " | 調査期間 | 調査面積 m ² | 調査原因 |
|--|---------------------------------------|-----|------|------------|------------|-------------------|------------------------|------|
| | | 市町村 | 遺跡番号 | | | | | |
| ちゅうせいおおともふないまちあと 中世大友府内町跡 第96次調査 | おおいたし 大分市 にしきまち ちようめ 錦町3丁目 | 322 | 51 | 33°13'43" | 131°37'10" | 120511~ 130130 | 927 | 道路建設 |
| ちゅうせいおおともふないまちあと 中世大友府内町跡 第99次調査 | おおいたし 大分市 けんたくまち ちようめ 顕徳町2丁目 | 322 | 51 | 33°13'42" | 131°36'53" | 121016~ 130221 | 385 | 道路建設 |

| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | 特記事項 |
|--------------------|------|----------|---------------------|--------|------|
| 中世大友府内町跡 第96次調査 | 中世都市 | 中世 | 街路、側溝、土坑、 柱穴、土墳墓 | 陶磁器、土器 | |
| 中世大友府内町跡 第99次調査 | 中世都市 | 中世・古代・古墳 | 街路、側溝、土坑 | 陶磁器、土器 | |

| | |
|----|--|
| 要約 | <p>第96次調査のうち、上市町では第1南北街路とされる街路遺構を検出し、出土遺物や遺構の状況から、15世紀末から16世紀初め頃には粘質土と砂質土を交互に積み上げる特徴的な技法で造営されていることが分かった。また、御所小路町では、屋敷の区画と思われる溝や大量に捨てられたカワラケなどが発見され、15世紀代から16世紀中頃までは武家地として利用されていた可能性が高い。16世紀の終わり頃になると、御所小路の南側に柱穴やゴミ坑が造られるようになり、分銅なども出土することから、町屋(商工業者)の居住地となったと思われる。</p> <p>第99次調査では、府内町から町外へ続く道路跡を確認した、道路は両側に側溝を有するものである。これは本調査区の南東に隣接する第10次調査区で確認されていた道路の延伸部と思われる。道路はダイウス堂推定地の南西コーナーに沿うように屈曲し南北方向に走った後、再び屈曲し東西方向に向きを変えて町外へのびる。また、ダイウス堂内部については、遺構が全く検出されなかった。</p> |
|----|--|

豊後府内 19

中世大友府内町跡第 96・99 次調査区

大分駅付近連続立体交差事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書(10)

大分県教育庁埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第 83 集

平成 27 年 3 月 27 日

編集・発行 大分県教育庁埋蔵文化財センター
〒870-1113
大分市大字中判田字ビワノ門 1977
TEL 097-597-5675

印刷 有限会社 中央印刷
〒870-0025
大分市顕徳町 2 丁目 2-38
TEL 097-532-3805
